

I 日本代表関連事業

1 日本代表

①キリンカップサッカー2007

第1戦

期 日：6月1日(金) 19:14 キックオフ
会 場：静岡／エコパスタジアム
対 戦：日本代表 2-0(2-0) モンテネグロ代表
入場者数：28,635人

今年で28回目を迎える「キリンカップサッカー2007 ALL FOR 2010!」。

3連覇のかかる AFC アジアカップ 2007 を1ヶ月後に控えた日本代表は、FIFA 加盟後、初の国際試合となるモンテネグロ代表、FIFA ワールドカップ南米地区予選を9月に控えるコロンビア代表を迎え、静岡、長野、埼玉の3会場にて試合を行った。

試合前日は大雨が降り、天候が危ぶまれたが、試合日は穏やかな天気恵まれた。チケットは、精力的なプロモーション活動を行ったが、来場者は28,635人と伸び悩んだ。

試合は日本代表が2-0でモンテネグロに快勝した。日本は前半23分にDF中沢のゴールで先制、同38分に高原が追加点を決めた。

運営面では、初めての試みとして、最寄り駅からのバナーの掲出、静岡県在住の親子(小学生と父母、2名1組)から選ばれた「親子deコーラス」による君が代斉唱や、センターサークルシートを実施。来場者サービスは、キリンカップ歴史リーボード、及びJFAオリジナルバッグを配布した。

運営全般については、(財)静岡県サッカー協会、エコパスタジアムを中心とする多くの方々からのご尽力もあり、特に大きな問題もなく無事に終えることが出来た。

第2戦

期 日：6月3日(日) 13:15 キックオフ
会 場：長野／松本平広域公園総合球技場 アルウィン
対 戦：モンテネグロ代表 0-1(0-1) コロンビア代表
入場者数：10,070人

キリンカップサッカー2007 第2戦、モンテネグロ代表 対 コロンビア代表の試合を、松本市の総合球技場アルウィンで開催した。試合当日は天候に恵まれた。県内初の国際試合公式戦、及び前座試合として、U-15 日本代表 対 U-16 長野県国体選抜の試合(3-0でU-15 日本代表が勝利)を行ったこともあり、県内のファン及び熱狂的なコロンビアサポーターを含め1万人を超える観客が応援に駆けつけ、会場は大いに盛り上がった。

運営面では、飲食売店で予想以上に長蛇の列が出来たため、販売スタッフの数を増やしたり、仮設で飲料売店を出し臨機応変に対応した。

運営面では、(社)長野県サッカー協会、アルウィンスタッフのご協力により滞りなく実施できた。

第3戦

期 日：6月5日(火) 19:20 キックオフ

会 場：埼玉／埼玉スタジアム 2002
対 戦：日本代表 0－0 コロンビア代表
入場者数：45,091 人

キリンカップサッカー2007 最終戦、日本代表 対 コロンビア代表の試合を、埼玉スタジアム 2002 で開催した。試合当日は天候に恵まれ、素晴らしいピッチコンディションの中での試合となった。

試合は0－0で引き分け、ともに1勝1分けでコロンビアと並んだが、得失点差で3大会ぶりに優勝した。

運営面では、(財)埼玉県サッカー協会、埼玉スタジアム 2002 のスタッフが中心となり、日頃Jリーグの運営で培った経験を十分に発揮していただいたことで、特別大きな問題もなく無事に終わることが出来た。

今後も日本代表のブランド価値を維持、向上すべく、質の高い運営に取り組むことができるよう関係者と協力して進めていくよう努めたい。

②強化合宿

6月24日(日)～27日(水)、千葉にてトレーニングキャンプを行った。

③AFCアジアカップ 2007

期間・会場：7月 1日(月)～31日(火) ベトナム
第 1 戦：7月 9日(月) 17:20K My Dinh National Stadium(ベトナム／ハノイ)
日本代表 1－1(0－0) カタール代表
第 2 戦：7月 13日(金) 20:35K My Dinh National Stadium(ベトナム／ハノイ)
日本代表 3－1(3－0) UAE代表
第 3 戦：7月 16日(月) 17:20K My Dinh National Stadium(ベトナム／ハノイ)
日本代表 4－1(2－1) ベトナム代表
準々決勝：7月 21日(土) 17:20K My Dinh National Stadium(ベトナム／ハノイ)
日本代表 1－1(0－0)PK4-3 オーストラリア代表
準 決 勝：7月 21日(土) 20:20K My Dinh National Stadium(ベトナム／ハノイ)
日本代表 2－3(1－1) サウジアラビア代表
3位決定戦：7月 28日(土) 19:35K Jaka Baring Stadium(インドネシア／パレンバン)
日本代表 0－0(0－0)PK5-6 韓国代表

大会成績

優 勝：イラク
第2位：サウジアラビア
第3位：韓国
第4位：日本
フェアプレー賞：日本
得点王：高原 直泰(日本) 4得点 他2名

大会3連覇をかけて、AFCアジアカップ2007に臨んだ日本代表はグループリーグ初戦のカタール戦を終了間際の失点で引き分けとしたものの、続く第2、3戦を快勝し、グループリーグ1位で準々決勝に進出した。

準々決勝ではアジアカップ初参加のオーストラリアにPK戦の末、勝利したが、続く準決勝のサウジアラビアに2－3で敗れ、次回大会のシード権をかけた3位決定戦においても韓国にPK戦の末、敗れて4位で大会を終えた。

④キリンチャレンジカップサッカー2007

期 日：8月 22日(水) 18:30 キックオフ
会 場：大分／九州石油ドーム
対 戦：日本代表 2－0(1－0) カメルーン代表
入場者数：37,240 人

会場である大分／九州石油ドームは、台風の影響等で芝の状態が心配されたが、スタジア

ム関係者の尽力もあり無事に試合を行うことができた。また、夕方からの雨によりドームの屋根を閉めての試合実施となった。チケットは完売し 37,240 人のファンが来場した。

アジアカップからフォワードを大幅に変えて臨んだ日本代表は、「不屈のライオン」ことアフリカの雄である強豪カメルーン代表を迎え撃った。前半から試合の主導権を握った日本は、25 分闘莉王が頭で合わせて先制点を決めると、終了間際の 89 分には山瀬が追加点をあげ、試合を決定づけた。

来場者サービスとして、「JFA オリジナル扇子」を配布。選手入場時にはスタンドはブルーに染められた。また、試合前には旧中津江村の村民による「花笠音頭」がピッチ上で披露された。試合終了後には、同日行われたオリンピック最終予選、U-22 日本代表 対 U-22 ベトナム代表の試合を大型映像でライブ中継した。運営全般に関しては、(社)大分県サッカー協会を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

⑤ 3 大陸トーナメント

期間・会場：9月2日(日)～13日(木) オーストリア／クラゲンフルト

第 1 戦：9月7日(金) 20:30 キックオフ Wörthersee Stadium

日本代表 0-0 オーストリア代表

PK 3-4

肌寒い中、新しいスタジアムの柿落としのゲームとして行われた。芝生が根付いておらず芝がはがれるピッチコンディションだったが、日本はボールも人もよく動き終始主導権を握るゲームだった。しかし、得点には至らず前半を 0-0 で終える。後半に入っても決定力を欠き、71 分に稲本に代えて中村(憲)、田中(達)に代えて松井を投入し、75 分には矢野に代えて巻を投入したがそのまま 90 分が終了した。

PK 戦に入り、オーストリアは 4 人目までが決め、5 人目で外したが、日本が中村(俊)、遠藤、中村(憲)と 3 人目まで決め、4 人目今野、5 人目中澤が外したため、3-4 で敗れたが、PK 負けで、勝ち点 1 を獲得した。

第 2 戦：9月11日(火) 20:15 キックオフ Wörthersee Stadium

日本代表 4-3 (0-2) スイス代表

日本は立ち上がりスイス代表のスピードとパワーに圧倒され、ペースをにぎられ、11 分、13 分とセットプレーから失点し、前半を 0-2 で終える。

後半に入り、ボールを回し運動量で勝る日本のペースで試合が進み 53 分松井のドリブルから PK を獲得し中村(俊)が決め、1-2。68 分セットプレーから巻、78 分に巻が倒され中村(俊)が PK を決め逆転。その直後 81 分セットプレーから失点し 3-3 に追いつかれるが、終了直前のロスタイムに巻に代わって入った矢野が決めて 4-3 で試合終了。

日本は勝ち点 4 を獲得し、優勝した。

⑥ AFC アジア／アフリカチャレンジカップ 2007

期 日：10月17日(水) 19:33 キックオフ

会 場：大阪／長居スタジアム

対 戦：日本代表 4-1 (2-0) エジプト代表

入場者数：41,901 人

「AFC アジア／アフリカチャレンジカップ 2007」はアジアサッカー連盟(AFC)主催大会で、2004 年 AFC アジアカップ王者である日本が、2006 年アフリカネーションズカップ王者のエジプトと対戦した。試合当日は天候にも恵まれ、41,901 人のファンが来場した。

日本は前半 21 分、大久保の代表初ゴールで先制。42 分には頭で追加点を挙げた。後半に入っても日本が主導権を握る。後半 8 分には前田にも代表初ゴールが生まれ、日本が 3-0 とリードを広げる。14 分にはエジプトに FK から 1 点を返されたが、23 分には加地がダメ押しとなる追加点をあげ、日本が 4-1 で快勝した。

ファンサービスとして、「JFA オリジナルエコバッグ」を来場者全員に配布。また、売店では、ケータリングカーを場内に出店し、初の直営店を設置した。フットボールパークでは、アンバサダーの前園真聖、相馬直樹氏をゲストに迎え「めざせファンタジスタ！」を実施し、

150名を超える子供が参加。いずれも好評を博した。

運営全般に関しては、(社)大阪府サッカー協会、長居スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

⑦強化合宿

12月18日(月)～19日(火)、千葉にてトレーニングキャンプを行った。

⑧強化合宿

2008年1月15日(火)～23日(水)、鹿児島にてトレーニングキャンプを行った。

⑨キリンチャレンジカップ 2008

第1戦

期 日：2008年1月26日(土) 19:13キックオフ

会 場：東京/国立競技場

対 戦：日本代表 0-0(0-0) チリ代表

入場者数：37,261人

「キリンチャレンジカップ 2008 ～ALL FOR2010!～ 日本代表 対 チリ代表」が東京/国立競技場で開催された。天候は快晴であったが、夜間はとても寒く冷え込んだ。

岡田武史新監督の初陣であり、2月6日のワールドカップ(W杯)南アフリカ大会アジア3次予選初戦のタイ戦に向けた大事な強化試合となった。

日本は、4-4-2の布陣を採用。前半は一進一退の展開。しかし、ともに決定機はほとんど作れず、0-0のまま終了した。後半に入り、5選手の交代があり、大久保が立て続けにシュートを放つなど日本代表の攻撃が活発になったが、ゴールには至らず試合は0-0の引き分けに終わった。

来場者サービスは、様々な新しい取り組み、イベントを行った。新ユニフォームをデザインしたブルーカードを配布、試合直前にスタジアムが青く染まり会場に一体感をもたらした。冬場限定サービスのJFAオリジナルカイロや、コンコースのイベント情報が集約されているスタジアムガイドチラシも配布した。演出では、相手国チームの紹介VTRや、対戦国の到着映像、選手紹介映像を刷新するなど大型ビジョンで実施した。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

第2戦

期 日：2008年1月30日(土) 19:20キックオフ

会 場：東京/国立競技場

対 戦：日本代表 3-0(0-0) ボスニア・ヘルツェゴビナ代表

入場者数：26,971人

「キリンチャレンジカップ 2008 ～ALL FOR2010!～ 日本代表 対 ボスニア・ヘルツェゴビナ代表」が東京/国立競技場で開催された。

日本は序盤から主導権を握ったが、前半は相手DFの能力が高く、無得点に終わった。後半23分に遠藤の右CKに山瀬が合わせたボールを中澤が押し込み先制点を決めた。38分には大久保のパスから山瀬が冷静に決めて2点目、43分にもゴールを決め、3-0で快勝した。岡田武史新監督の就任後2戦目で初勝利を挙げ、2月6日のFIFAワールドカップ2010アジア3次予選初戦のタイ戦(埼玉スタジアム)へ弾みをつけた。

来場者サービスは、1月26日の試合同様、様々な新しい取り組みを行い、いずれも好評を博した。

電光掲示板では、同日開催されたハンドボール男子オリンピックアジア予選再試合が代々木体育館で行われていたため、途中経過及び試合結果を報告した。また、日本代表イビチャ・オシム前監督が試合を観戦。ハーフタイムにはオシム前監督からの激励のメッセージを電光掲示板で流すと、サポーターからは温かい拍手が送られた。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご

尽力もあり、無事に終えることが出来た。

⑩ F I F Aワールドカップ南アフリカ 2010 3次予選

期 日：2008年2月6日(水) 19:20キックオフ
会 場：埼玉/埼玉スタジアム 2002
対 戦：日本代表 4-1(1-1) タイ代表
入場者数：35,130人

朝から雪が無い、キックオフ時には気温2℃と非常に厳しい気候の中、35,130人のファン・サポーターが来場した。

FIFAワールドカップ4大会連続出場を目指す日本代表の初戦、開始早々から主導権を握った日本は、前半21分に遠藤の直接FKで先制。しかし、その直後の22分、タイにミドルシュートを決められ、1-1の同点で前半終了。迎えた後半、54分に相手DFのクリアボールを中村(憲)がブロックし、ゴール前にこぼれたボールを大久保がゴールに流し込み決勝点を奪った。66分には、FKから中澤、91分にはCKから交代出場の巻がともにヘディングでゴールを決めて4-1とし、3次予選の大事な初戦を白星で飾った。

来場者サービスは、新ユニフォームのブルーをベースにしたブルーフラッグ、JFAオリジナルカイロ、イベント情報が集約されているスタジアムガイドをキリンチャレンジカップ2008に引き続き配布した。運営全般に関しては、(財)埼玉県サッカー協会、埼玉スタジアム2002を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

⑪ F I F Aワールドカップ南アフリカ 2010 3次予選

期 日：2008年3月26日(水) 17:20キックオフ
会 場：バーレーン/バーレーンナショナルスタジアム
対 戦：日本代表 0-1(0-0) バーレーン代表
入場者数：26,000人

試合は立ち上がり、アフリカ出身でバーレーンに帰化した選手が高い運動能力を見せ、速いドリブルから打開を試みるシーンが目立ったが、日本は中澤と川口の両ベテラン選手を中心としたDF陣が冷静な対応をして凌いだ。一方の日本の攻撃陣は、人数をかけながら攻撃に厚みを持たせ攻め上がったが、カバーリングの速い相手に対し、容易にチャンスメイクすることはできなかった。結局前半は主導権を握るべく、互いに譲らない攻防を見せ、ともに得点を挙げることはできなかった。

後半開始早々、日本は左サイドを突かれてピンチを招いたが、相手のシュートがバーを直撃し、難を逃れた。日本は56分、山瀬に代えて遠藤を投入。さらに72分には、運動量の落ちた安田を下げて山岸を入れて攻撃の活性化を図った。しかし77分、イスマイール・ハサンに左サイドを攻め上がられクロスを入れられる。これに対し、川口は手を伸ばしてボールの軌道が変わったが、ゴール前に詰めていたアラー・フバイルに頭で押し込まれ、日本は先制点を許してしまう。この後、約1年8ヶ月ぶりの出場となる玉田を起用し、攻撃の手を増やしたが、最後までバーレーンの牙城を崩すことができず、結局日本は0-1とし敵地でバーレーンに惜敗し、今予選で初黒星を喫した。

⑫ 第3回東アジアサッカー選手権大会 2008 決勝大会

期間・会場：2008年2月12日(火)~24日(日) 中国/重慶 オリンピックスポーツセンター
第1戦：2月17日(日) 18:15K0 日本代表 1-1 朝鮮民主主義人民共和国代表
第2戦：2月20日(水) 18:15K0 中国代表 0-1 日本代表
第3戦：2月23日(土) 18:15K0 日本代表 1-1 韓国代表

<最終結果>

優 勝：韓国

準優勝：日本

第3位：中国

第4位：朝鮮民主主義人民共和国

<アワード>

得点王(2点)：山瀬 功治(日本)、鄭大世(朝鮮民主主義人民共和国)

：PARK Chu Young、YEOM Ki Hun(韓国) 計4名
最優秀ゴールキーパー：RI Myong Guk(朝鮮民主主義人民共和国)
最優秀ディフェンダー：中澤 佑二(日本)
フェアプレー賞：韓国
MVP：KIM Nam Il(韓国)

2 U-22 (北京オリンピック 2008) 日本代表

①アジア男子サッカー2008 2次予選 (北京オリンピック 2008 2次予選)

期 日：4月18日(水) 15:00 キックオフ
会 場：シリア/ダマスカス
対 戦：U-22 シリア代表 0-2 (0-2) U-22 日本代表

期 日：5月16日(水) 20:10 キックオフ
会 場：香港/香港スタジアム
対 戦：U-22 香港代表 0-4 (0-2) U-22 日本代表

期 日：6月6日(水) 19:14 キックオフ
会 場：東京/国立競技場
対 戦：U-22 日本代表 3-1 (2-0) U-22 マレーシア代表
入場者数：18,020人

北京オリンピック 2008 アジア 2次予選の最終戦が、6月6日に東京/国立競技場で開催された。前日まで天候が心配されていたが、当日は雨が降ることも無く素晴らしいコンディションの中、試合は行われた。既に最終予選進出を決め、また、大幅にメンバーが変わった状況下で18,202人のファンが来場した。

ここまで2次予選を全勝で勝ち進んでいるU-22 日本代表はU-22 マレーシア代表を迎え撃った。開始早々、動きが固かったU-22 日本代表であったが、前半28分、長友が先制点を決めると、その後、33分には鈴木が追加点をあげ、大学生選手の活躍もあり試合の主導権を握った。52分にも萬代がさらに追加点をあげ、試合を決定づけた。2次予選で唯一失点を許したマレーシアを破り、2次予選を全勝で締めくくった。

プロモーションとしては、JFA HP内での特設ページの開設や各種雑誌への広告出稿の他に、新しい試みとして、東京・神奈川・千葉・埼玉の駅売店・主要コンビニエンスストアにて発行されている日本唯一の本格的サッカー専門新聞「エルゴラッソ」のラッピング広告を試合当日に実施した。運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

②4ヶ国トーナメント 2007 中国/瀋陽 (北京オリンピック 2008 プレ大会)

第1戦

期 日：8月1日(水) 17:00 キックオフ
会 場：中国/瀋陽オリンピックスタジアム
対 戦：U-22 日本代表 2-1 U-22 朝鮮民主主義人民共和国代表

第2戦

期 日：8月3日(金) 20:00 キックオフ
会 場：中国/瀋陽オリンピックスタジアム
対 戦：U-22 日本代表 0-0 U-22 中国代表

第3戦

期 日：8月5日(日) 17:00 キックオフ
会 場：中国/瀋陽オリンピックスタジアム
対 戦：U-22 日本代表 0-1 U-22 ボツワナ代表

③アジア男子サッカー2008 最終予選 (北京オリンピック 2008 最終予選)

第1戦

期 日：8月22日(水) 20:35 キックオフ
会 場：東京/国立競技場
対 戦：U-22 日本代表 1-0(1-0) U-22 ベトナム代表
入場者数：22,507人

アジア男子サッカー2008 最終予選の第1戦が、8月22日、東京/国立競技場で開催された。試合当日は天候が崩れ、試合前には遠方で雷が鳴り、小雨が降っていたが、試合には影響がないと判断し、予定通り行われた。

チケットは精力的なプロモーション活動を行い、試合当日は20,000人を越えるサポーターが応援に駆けつけ、U-22 日本代表を応援する声援がピッチに送られた。

試合は、優勢に進めた日本が前半終了間際のロスタイム、青山がCKからヘディングでゴールを決めて先制。後半に入ってもベトナムとの力の差を見せつけた日本だが、追加点を挙げることができず、前半に入れた得点を守りきり、1-0で終了。大事な初戦で勝ち点3を獲得した。

来場者サービスとして、「ブルーフラッグ」を配布。試合直前ではスタジアムが青く染まり会場に一体感をもたらした。またU-22 日本代表応援メッセージ企画として、試合会場やウェブサイトでサポーターからの写真応援メッセージを募集し、好評を博した。

また、試合前には、同日行われたキリンチャレンジカップ2007 日本対カメルーン戦の試合を前半はライブ中継し、後半はダイジェスト版にて大型映像で中継した。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

第2戦

期 日：9月8日(土) 20:30 キックオフ
会 場：サウジアラビア/ダンマン
対 戦：U-22 サウジアラビア代表 0-0 U-22 日本代表

最終予選最初のアウェイゲームとなったサウジアラビア戦に向け、U-22代表はUAEのドバイで事前キャンプを行い、サウジアラビア入りした。

試合はGK山本を中心とした守備陣の健闘で相手を無得点に抑え引き分け、勝ち点1を獲得した。試合終了後はサポーティングカンパニーの日本航空に協力いただき、チャーター機によりサウジアラビアから直接帰国し、第3戦に備えることができた。

第3戦

期 日：9月12日(水) 19:22 キックオフ
会 場：東京/国立競技場
対 戦：U-22 日本代表 1-0(1-0) U-22 カタール代表
入場者数：23,163人

天候が不安定で試合当日の昼まで雨が降り続いたが、夕方にはあがり、北京オリンピック最終予選第3戦は23,163人のファンが来場し国立競技場で行われた。

ここまで1勝1分で勝ち点4を獲得しているU-22 日本代表は、同勝ち点で並ぶU-22 カタール代表を迎え撃った。開始6分、セットプレーから梶山の得点で先制したU-22 日本代表であったが、その後は苦しい展開を強いられた。後半23分に本田が2枚目のイエローカードで退場処分を受けると相手の攻撃は更に勢いを増した。10人となったが劣勢を凌ぎ、試合は1-0で勝利し、勝ち点7でグループ単独首位に立った。

ファンサービスとして、U-22 ベトナム戦に引き続きJFAブルーフラッグを来場者全員に配布。また、コンコース上ではJ's GOALとの共同企画である応援メッセージブースを設置し、約200件もの応援メッセージを集めた。運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

第4戦

期 日：10月17日(水) 19:00 キックオフ

会 場：カタール／ドーハ
対 戦：U-22 カタール代表 2－1（0－1） U-22 日本代表

第2戦のサウジアラビア戦（アウェイ）と同様に、UAEのドバイで事前キャンプを行い、試合前々日にカタール入りした。

試合は、前半終了間際に青山の最終予選2得点目のゴールでリードを奪ったが、後半32分に失点し同点、さらにインジェリertimeに入ってからPKで失点し敗戦。カタールと勝ち点7で並び、残り2戦でオリンピック出場権を争うこととなった。

第5戦

期 日：11月17日（土） 19：15 キックオフ
会 場：ベトナム／ハノイ
対 戦：U-22 ベトナム代表 0－4（0－3） U-22 日本代表

勝点、得失点差で並び、総得点で僅かに劣るカタールを残り2戦で逆転するために負けられない第5戦のベトナム戦であったが、8分の李のゴールを皮切りに前半に3得点を挙げ、後半にも1点を追加し危なげなく勝利を収めた。同日開催のサウジアラビア 対 カタール戦においてサウジアラビアがカタールを2－1で破ったため、最終戦で勝つか引き分ければ北京五輪出場権を獲得できる状況となった。

第6戦

期 日：11月21日（水） 19：20 キックオフ
会 場：東京／国立競技場
対 戦：U-22 日本代表 0－0（0－0） U-22 サウジアラビア代表
入場者数：42,913人

快晴に見舞われたものの気温10℃と非常に寒い気候であった。それにも関わらず、勝ったチームが北京オリンピック出場権を得る最終予選 第6戦には、42,913人もの多くのファンが来場し、国立競技場がブルーで染まった。

アウェイでのベトナム戦に快勝し予選グループ首位に立った U-22 日本代表は、同グループ2位の U-22 サウジアラビア代表を迎え撃った。開始早々から主導権を握られ、前半8分には決定的なチャンスを相手に与えるも青山の体を張ったプレーで猛攻を凌いだ。防戦一方だった日本は、前半を0－0で折り返すと、後半は逆に決定機を幾度も迎えた。試合は0－0のまま終了し、U-22 日本代表は見事北京オリンピック出場権を獲得した。

ファンサービスとして、8/22 ベトナム戦、9/12 カタール戦で国立競技場の特設ブースを中心に集めた写真入りメッセージを基に「U-22 日本代表応援メッセージバナー」を作成した。JFA ハウス1Fエントランス、練習会場、そして、国立競技場回廊にて設置し、多くの方々の好評を博した。運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

④強化合宿

11月6日（火）～7日（水）、千葉にてトレーニングキャンプを行った。

⑤海外遠征

2008年2月13日（水）～24日（日）、アメリカ／ロサンゼルスにてトレーニングキャンプを行った。

⑥国際親善試合

期 日：2008年3月27日（木） 19：15 キックオフ
会 場：東京／国立競技場
対 戦：U-23 日本代表 1－1（0－0） アンゴラ代表
入場者数：12,718人

気温 13℃と穏やかな気候の中、U-23 日本代表の今年初めての国内での試合が、東京／国

立競技場で開催された。

2006FIFA ワールドカップ ドイツ大会にも出場したアンゴラのフル代表という強豪を迎え撃った U-23 日本代表は、開始早々から積極的に攻めるも、アンゴラ代表の壁は崩せず、前半を0-0で折り返した。後半に入っても引き続き仕掛け続ける日本は、53分に長友からのクロスに、豊田がゴール前で上手く合わせ待望の先取点を決めた。

しかし、ワールドカップ出場国としての地力を発揮し始めたアンゴラ代表が、76分、FWジャンジのゴールで同点とした。試合は1-1のまま終了したが、8月のオリンピック本大会に向けた意義のある強化試合となった。

ファンサービスとして、昨年の五輪最終予選で実施した「応援メッセージブース」を回廊に設置し、141枚の写真入りメッセージを集めた。また、来場者サービスとしては「JFA オリジナルクリアファイル」を来場者全員にカイロと共に配布し、多くの方々の好評を博した。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とするたくさんの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

3 U-20 (U-20 ワールドカップ カナダ 2007) 日本代表

①強化合宿

4月22日(日)~25日(水)、広島にてトレーニングキャンプを行った。

②強化合宿

5月13日(日)~16日(水)、千葉にてトレーニングキャンプを行った。

③第35回トゥーロン国際大会

期間・会場：5月27日(日)~6月11日(月) フランス/トゥーロン

第1戦：5月31日(木) 21:00キックオフ Stade Mayol-TOULON
U-20日本代表 2-1(0-1) U-21ドイツ代表

第2戦：6月2日(土) 19:00キックオフ Stade Perruc-HYERES
U-20日本代表 1-5(0-1) U-21フランス代表

第3戦：6月4日(月) 19:00キックオフ Stade Vitria-LA SEYNE
U-20日本代表 0-1(0-0) U-21コートジボアール代表

6月30日から開催されるU-20ワールドカップに向けて、厳しい試合を通してのチームコンセプトの確認、及び個人の育成を図った。U-20ワールドカップ時のグループリーグの戦い方をシュミレーションするまたとない機会であった。

大会参加国は各国ともチーム・選手ともにレベルが高く、非常に厳しい試合ができた。願わくば、チームの連携や自信を深める意味でもグループリーグを突破して準決勝、決勝と勝ち進みたかった。

④FIFA U-20 ワールドカップ カナダ 2007

期間・会場：6月24日(日)~7月24日(火) カナダ/ビクトリア

第1戦：7月1日(日) 14:15キックオフ Royal Athletic Park
U-20日本代表 3-1(1-0) U-20スコットランド代表

第2戦：7月4日(水) 17:00キックオフ Royal Athletic Park
U-20日本代表 1-0(0-0) U-20コスタリカ代表

第3戦：7月7日(土) 17:00キックオフ Royal Athletic Park
U-20日本代表 0-0 U-20ナイジェリア代表

<ステージ2(Round16)>

決勝トーナメント1回戦：7月11日(水) 20:15キックオフ Royal Athletic Park
U-20日本代表 2-2(1-0,1-2,0-0,0-0) U-20チェコ代表
PK 3-4

グループリーグ第1戦は、スコットランドに対して3-1で快勝。第2戦のコスタリカにも勝ち、早々に3大会連続のグループリーグ突破を決める。第3戦のナイジェリア戦は0-

0のスコアレスドローに終わり、総得点がナイジェリアを1点上回り、グループリーグ1位となった。

決勝トーナメント1回戦の対戦相手は、チェコ代表。日本は2点をリードするチェコの反撃から2失点し、延長戦へ突入する。双方退場者を出しつつも得点を奪えず、決着はPK戦となり、3-4で惜しくも敗退した。その後チェコは快進撃を遂げ、準優勝となった。

4 U-18 (U-20 ワールドカップ 2009) 日本代表

①強化合宿

4月16日(月)~20日(金)、静岡/Jステップにてトレーニングキャンプを行った。

②海外遠征

5月6日(日)~16日(水)、ドイツに遠征し、国際親善試合を行った。

- 第1戦：5月8日(火) 18:30KO SV Blau-Weiss Murg e.V. 練習場 in Murg
U-18日本代表 0-3(0-1) U-19南バーデン地域選抜
- 第2戦：5月10日(木) 18:30KO FC Freiburg 練習場 in Freiburg
U-18日本代表 1-2(1-1) U-18フライブルグ
- 第3戦：5月12日(土) 15:00KO Langensteinstadium in Tiengen
U-18日本代表 2-1(1-1) U-18ドイツ代表
- 第4戦：5月14日(月) 18:00KO Waldstadion in Laufenburg
U-18日本代表 1-2(0-1) U-18ルーマニア代表

③強化合宿

6月11日(月)~15日(金)、福岡にてトレーニングキャンプを行った。

④2007 SBSカップ国際ユースサッカー

期間・会場：8月6日(月)~14日(火) 静岡

- 第1戦：8月11日(土) 15:00キックオフ 草薙陸上競技場
U-18日本代表 0-1(0-0) U-18ウクライナ代表
- 第2戦：8月12日(日) 15:00キックオフ 藤枝総合運動公園サッカー場
U-18日本代表 1-2(0-1) 静岡県選抜
- 第3戦：8月14日(火) 14:00キックオフ エコパスタジアム
U-18日本代表 0-1(0-0) U-18アメリカ代表

⑤第5回仙台カップ国際ユースサッカー大会

期間・会場：8月27日(月)~9月2日(日) 宮城/仙台市

- 第1戦：8月29日(水) 13:30キックオフ
U-18日本代表 1-3(1-0) U-18フランス代表
- 第2戦：9月1日(土) 16:00キックオフ
U-18日本代表 1-4(0-2) U-18ブラジル代表
- 第3戦：9月2日(日) 13:30キックオフ
U-18日本代表 1-2(0-1) U-18東北代表
- M V P : ヌヌッス サンカレ(フランス DF3 Paris Saint-Germain FC)
- M I P : 佐々木 絢也(東北 FW9 青森山田高校)
タルタ(ブラジル MF8 Fluminense FC)
比嘉 厚平(日本 MF13 柏レイソルU-18)

参加国のレベルが高く、過去4回参加し日本代表の優勝が一度も無い大会であり、今大会もフランス、ブラジルといった強豪が参加し行なわれた。結果的には東北代表にも破れ3戦全敗で最下位という形で大会を終えることになった。仙台市のバックアップの下に毎年全試合仙台スタジアムで行なわれており、試合環境、練習環境、宿泊環境が非常に整った良い大会といえる。

⑥強化合宿

9月24日(月)～30日(日)、静岡/Jステップにてトレーニングキャンプを行った。

⑦AFC U-19選手権2008予選

期間・会場：11月6日(火)～18日(日) タイ/バンコク

- 第1戦：11月6日(火) 16:00キックオフ Supachalasai Stadium
U-18日本代表 3-1(0-1) U-18チャイニーズタイペイ代表
- 第2戦：11月8日(木) 18:30キックオフ Supachalasai Stadium
U-18日本代表 1-0(1-0) U-18モルジブ代表
- 第3戦：11月12日(月) 18:30キックオフ Supachalasai Stadium
U-18日本代表 8-0(3-0) U-18ミャンマー代表
- 第4戦：11月14日(水) 18:30キックオフ Supachalasai Stadium
U-18日本代表 5-0(2-0) U-18ラオス代表
- 第5戦：11月18日(日) 16:00キックオフ Thai-Japanese Stadium
U-18日本代表 3-2(1-2) U-18タイ代表

一次予選の方式が今大会から6チームリーグに変更になった中、日本代表は相手チームの守備的な戦術に苦しみながらも5戦全勝で、2008年にサウジアラビアで行われるAFC U-19選手権大会進出を決めた。

⑧カタール国際トーナメント

期間・会場：2008年1月20日(日)～30日(水) カタール/ドーハ

- 第1戦：1月21日(月) 18:30キックオフ Arabi SC
U-19日本代表 3-0(2-0) U-19エジプト代表
- 第2戦：1月23日(水) 18:30キックオフ Arabi SC
U-19日本代表 4-2(1-0) U-19ドイツ代表
- 第3戦：1月25日(金) 17:30キックオフ Qatar SC
U-19日本代表 0-1(0-1) U-19ポーランド代表
- 準決勝：1月28日(月) 16:00キックオフ Arabi SC
U-19日本代表 2-1(1-1,0-0,1-0,0-0) U-19中国代表
- 決勝：1月30日(水) 17:30キックオフ Arabi SC
U-19日本代表 6-1(4-0) U-19ポーランド代表

⑨強化合宿

2008年3月9日(日)～12日(水)、熊本/大津町にてトレーニングキャンプを行った。

5 U-17 (U-17ワールドカップ 韓国2007) 日本代表

①強化合宿

4月22日(日)～27日(金)、大阪/高槻市にてトレーニングキャンプを行った。

②強化合宿

5月20日(日)～25日(金)、東京/小平市にてトレーニングキャンプを行った。

③U-17 (U-17ワールドカップ2007) 日本代表 ワールドカッププレ大会

期間・会場：6月13日(水)～24日(日) 韓国

- 第1戦：6月17日(日) 15:00キックオフ Gwangyang
U-17日本代表 1-0(0-0) U-17アメリカ代表
- 第2戦：6月19日(火) 19:00キックオフ Changwon
U-17日本代表 3-0(2-0) U-17ニュージーランド代表
- 第3戦：6月21日(木) 16:00キックオフ Ulsan
U-17日本代表 0-5(0-2) U-17ナイジェリア代表

3位決定戦：6月23日(土) 14:00キックオフ Cheonan
U-17日本代表 1-1(1-0) U-17韓国代表
PK 7-6

8月に開催されるU-17ワールドカップのプレ大会として開催国韓国の運営サイドも含めたシュミレーションの大会でもあった。試合前のパスポートチェック、セレモニー、試合後のメディア対応等本番同様に行われた。

本大会でも同組のナイジェリアには大敗したが、日本の良さを出しながら世界トップとの差を埋めるためのよい題材をもらうことができた。

④第11回国際ユースサッカーIN新潟

期間・会場：7月9日(月)～16日(月・祝) 新潟
第1戦：7月13日(金) 11:00キックオフ 五十公野陸上競技場
U-17日本代表 3-1(1-0) アルビレックス新潟ユース
第2戦：7月15日(日) 11:00キックオフ 新潟市陸上競技場
U-17日本代表 0-1(0-0) U-17ペルー代表
3位決定戦：7月16日(月) 11:00キックオフ 五十公野陸上競技場
U-17日本代表 2-1(2-1) U-17ニュージーランド代表
優勝：U-17ペルー代表
準優勝：U-17ハンガリー代表
第3位：U-17日本代表

⑤強化合宿

7月17日(火)～20日(金)、埼玉にてトレーニングキャンプを行った。

⑥FIFA U-17ワールドカップ 韓国2007

期間・会場：8月18日(土)～9月9日(日) 韓国
第1戦：8月19日(日) 19:00キックオフ Gwangyang Soccer Only Field
U-17日本代表 3-1 U-17ハイチ代表
第2戦：8月22日(水) 20:00キックオフ Gwangyang Soccer Only Field
U-17日本代表 0-3 U-17ナイジェリア代表
第3戦：8月25日(土) 19:00キックオフ Goyang Stadium
U-17フランス代表 2-1 U-17日本代表

アフリカ1位、北中米1位、アジア1位と強豪チームが揃うグループとなったD組において、初戦のハイチ戦では前半に岡本のゴールで先制。その後同点に追いつかれるも途中交代の河野、柿谷のゴールで幸先よく勝利を収めた。

第2戦は、ブラジルとともに優勝候補筆頭に挙げられるナイジェリアに健闘するも、0-3で敗戦。

グループリーグ最終戦のフランス戦では、前半終了間際に柿谷のゴールで先制するも後半に2失点し、グループリーグ3位となった。

他グループの結果により得失点差が1点足りず、決勝トーナメントに進めずに大会を終えることとなった。

6 U-16 (U-20 ワールドカップ 2011) 日本代表

①モンテギュー国際ユースサッカー大会

期間・会場：2007年3月31日(土)～2007年4月11日(水) フランス/モンテギュー
<グループリーグ>

第1戦：4月3日(火) Brétignolles
U-16日本代表 1-2 U-16イタリア代表
第2戦：4月5日(木) Brétignolles
U-16日本代表 1-1 U-16ルーマニア代表
5・8位決定戦：4月7日(土) Mouilleron

U-16 日本代表 0 - 1 U-16 ベルギー代表
7・8 位決定戦：4 月 9 日(月) Vanansault
U-16 日本代表 2 - 5 U-16 アイルランド代表

②パニコフ国際ユース大会 2007

期間・会場：6 月 5 日(火)～14 日(木) ウクライナ
第 1 戦：6 月 8 日(金) 16:30 キックオフ Obukhov municipal Stadium
U-16 日本代表 0 - 4 (0 - 0) U-16 ウクライナ代表
第 2 戦：6 月 9 日(土) 16:30 キックオフ Obolon Stadium
U-16 日本代表 1 - 4 (1 - 1) U-16 セルビア代表
第 3 戦：6 月 11 日(月) 16:30 キックオフ Obolon Stadium
U-16 日本代表 1 - 3 (0 - 0) U-15 アメリカ代表
7・8 位決定戦：6 月 12 日(火) 11:00 キックオフ
U-16 日本代表 2 - 3 (0 - 0) U-16 ポーランド代表

日本はアメリカと共に初出場の大会であった。4 チーム 2 グループで 1 次ラウンドを行い、各グループの同順位同士で順位決定戦を行った。40 分ハーフの 80 分ゲームで、GK を含め 5 名が交代可能というルールで実施された。派手なチーム・選手は少ないが基本に忠実で攻守にわたりハードワークするチームが多く、レベルの高い大会であった。勝利には至らなかったが前回のフランス遠征よりチームとしてのコンセプト理解は深まっている。積極的な守備からボールを奪い、早くボールを動かしてよい攻撃ができる場面が増えている。

③第 8 回豊田国際ユースサッカー大会

期間・会場：8 月 6 日(月)～12 日(日) 愛知／豊田市
第 1 戦：8 月 9 日(木) 16:30 キックオフ 豊田市運動公園球技場
U-16 日本代表 3 - 0 (0 - 0) U-16 オーストラリア代表
第 2 戦：8 月 10 日(金) 18:30 キックオフ 豊田市運動公園球技場
U-16 日本代表 3 - 1 (1 - 0) U-16 アメリカ代表
決 勝：8 月 12 日(日) 17:00 キックオフ 豊田スタジアム
U-16 日本代表 4 - 0 (1 - 0) UAE 代表
3・4 位決定戦：8 月 12 日(日) 14:30 キックオフ 豊田スタジアム
アメリカ代表 2 - 2 (0 - 1) PK5-6 名古屋グランパスエイト・愛知県・豊田市選抜
5・6 位決定戦：8 月 12 日(日) 12:30 キックオフ 豊田スタジアム
オーストラリア代表 3 - 0 (2 - 0) 韓国代表
M V P：宇佐美 貴史(U-16 日本代表)
M I P：三浦 俊希 (U-16 名古屋グランパスエイト・愛知県・豊田市選抜)

U-16 世代の大会であったが、秋の AFC ユース予選を見据えて、韓国とオーストラリアは U-15 を中心にチーム編成を行ってきた。真夏の短期間での 3 連戦の大会であり、各チーム同様に日本代表もコンディション維持には苦勞した。日本代表はチームが良くまとまり、一戦毎に成長してきた。今後も継続的にチーム強化を行い、2 年後の U-18 チームの立ち上げにつなげていくことが重要である。

④2007 北海道国際ユースサッカー大会

期間・会場：8 月 16 日(木)～19 日(日) 北海道／札幌市
第 1 戦：8 月 17 日(金) 12:00 キックオフ 厚別公園競技場
U-16 日本代表 3 - 1 (0 - 0) 北海道選抜
第 2 戦：8 月 18 日(土) 12:00 キックオフ 厚別公園競技場
U-16 日本代表 1 - 0 (0 - 0) サンパウロ FC
決 勝：8 月 19 日(日) 14:30 キックオフ 厚別公園競技場
U-16 日本代表 1 - 2 (0 - 2) U-16 ソウル特別市
3・4 位決定戦：8 月 19 日(日) 12:00 キックオフ 厚別公園競技場
サンパウロ FC 0 - 1 (0 - 1) 1860 ミュンヘン

5・6位決定戦：8月19日(日) 10:00キックオフ 厚別公園競技場
北海道選抜 3-1(0-1) 北海道代表

前週の豊田国際ユースサッカー大会と同様にU-16世代の大会であったが、日本代表はメンバーを総入れ替えして大会に臨んだ。同様の大会スケジュールではあるが北海道の冷涼な気候もあり選手への負担は豊田より少なかった様に思う。北海道国際ユースは単独チームが大会のベースになっており、単独チームはやはり一緒に活動する時間が長く、代表チーム相手とは違った戦い方になった。代表として臨んだ大会であったので優勝を目指したが残念ながら準優勝という結果に終わった。

⑤コパ・チーバス2008

期間・会場：2008年1月23日(水)～2月4日(月) メキシコ/グアダラハラ
<グループリーグ>

- 第1戦：1月26日(土) 9:00キックオフ San Rafael 1
U-17日本代表 1-2 Stabek(ノルウェー)
- 第2戦：1月27日(日) 10:00キックオフ San Rafael 2
U-17日本代表 0-3 Monterrey(メキシコ)
- 第3戦：1月28日(月) 16:00キックオフ C.Rrovidencia
U-17日本代表 1-2 Saprissa(コスタリカ)
- 第4戦：1月29日(火) 10:00キックオフ Verde Valle
U-17日本代表 3-3 U.Catolica(チリ)
- 第5戦：1月30日(水) 12:00キックオフ Estadio Jalisco
U-17日本代表 0-4 Atlas(メキシコ)

7 U-15 (U-17 ワールドカップ 2009) 日本代表

①フランコガッリーニ国際ユースサッカー大会

期間・会場：4月3日(火)～11日(水) イタリア
<グループリーグ>

- 第1戦：4月6日(金) PORCIA POLISPORTIVO, Porcia(Pn)
U-15日本代表 4-0 S.A.Porcia(イタリア)
- 第2戦：4月7日(土) PORCIA POLISPORTIVO, Porcia(Pn)
U-15日本代表 1-0 ディナモ・ザグレブ(クロアチア)
- 第3戦：4月7日(土) PORCIA POLISPORTIVO, Porcia(Pn)
U-15日本代表 1-1 Conegliano TV(イタリア)

<決勝トーナメント>

- 第1戦：4月8日(日) PORCIA POLISPORTIVO, Porcia(Pn)
U-15日本代表 2-0 Liventina Gorghense TV(イタリア)
- 準々決勝：4月8日(日) PORCIA POLISPORTIVO, Porcia(Pn)
U-15日本代表 1-1 ヴェネチア(イタリア)
(PK5-6)

5・8位決定戦：4月9日(月) TORRE DI PORDENONE, Pordenone(Pn)
U-15日本代表 1-0 ディナモ・ザグレブ(クロアチア)

②強化合宿

5月27日(日)～6月3日(日)、静岡、長野にてトレーニングキャンプを行った。

③強化合宿

6月18日(月)～23日(土)、大阪にてトレーニングキャンプを行った。

④強化合宿

9月11日(火)～17日(月)、静岡にてトレーニングキャンプを行った。

⑤海外遠征

7月16日(月)～25日(水)、タイに遠征し、国際親善試合を行った。

試合：7月20日(金) Thai-Japanese Stadium
U-15 日本代表 3-1 U-16 タイ代表

⑥AFC U-16選手権2008予選(グループF)

期間・会場：10月24日(水)～11月5日(月) インドネシア/ジャカルタ

第1戦：10月24日(水) 16:00キックオフ Lebak Bulus Stadium

U-16 日本代表 2-0 U-16 ラオス代表

第2戦：10月26日(水) 18:15キックオフ Lebak Bulus Stadium

U-16 日本代表 7-0 U-16 カンボジア代表

第3戦：10月30日(火) 18:15キックオフ Lebak Bulus Stadium

U-16 日本代表 2-1 U-16 インドネシア代表

第4戦：11月1日(木) 18:15キックオフ Lebak Bulus Stadium

U-16 日本代表 7-0 U-16 香港代表

第5戦：11月5日(月) 16:00キックオフ Lebak Bulus Stadium

U-16 日本代表 4-0 U-16 ベトナム代表

U-16 日本代表は、予選5試合を全勝し、AFC U-16選手権ウズベキスタン2008決勝大会の出場権を獲得した。

8 U-13日本選抜

①AFC Asia Youth U-13 Festival of Football

期間・会場：4月12日(木)～19日(木) 中国/北京

9 全日本大学選抜

①6月14日(木)～21日(木)、タイ/バンコクへ遠征し、強化合宿を行った。

②第24回ユニバーシアード競技大会2007バンコク

期間・会場：7月27日(金)～8月19日(日) タイ/バンコク

参加国：グループA：タイ、カナダ、チェコ、アイルランド

グループB：日本、ウルグアイ、マレーシア、キルギス

グループC：ウクライナ、イタリア、ブラジル

グループD：イギリス、メキシコ、モロッコ、カザフスタン

<グループリーグ>

第1戦：8月7日(水) 18:15キックオフ Bangkok

ユニバーシアード 日本代表 1-0 (0-0) ユニバーシアード マレーシア代表

第2戦：8月9日(金) 15:00キックオフ Nakhonnayok

ユニバーシアード 日本代表 2-0 (1-0) ユニバーシアード ウルグアイ代表

第3戦：8月11日(土) 15:00キックオフ Nakhonnayok

ユニバーシアード 日本代表 2-1 (1-0) ユニバーシアード キルギス代表

準々決勝：8月13日(金) 15:00キックオフ Pathumthani

ユニバーシアード 日本代表 0-0 PK3-4 ユニバーシアード イタリア代表

5・8位決定戦：8月15日(水) 15:00キックオフ Bangkok

ユニバーシアード 日本代表 5-1 (1-0) ユニバーシアード イギリス代表

5・6位決定戦：8月17日(金) 16:00キックオフ Bangkok

ユニバーシアード 日本代表 1-1 (0-1) PK5-4 ユニバーシアード メキシコ代表

結果、ユニバーシアード日本代表は第5位。

10 なでしこジャパン(日本女子代表)

①アジア女子サッカー2008 最終予選（北京オリンピック 2008 最終予選）

第1戦

期 日：4月7日(土) 16:04 キックオフ
会 場：東京／国立競技場
対 戦：なでしこジャパン 2-0(1-0) ベトナム女子代表
入場者数：4,157人

北京オリンピック 2008 アジア最終予選の初戦が、4月7日に東京／国立競技場で開催された。2004年のアテネ大会に続き2大会連続の出場をかけて臨んだベトナム女子代表戦。

穏やかな天候に恵まれた試合当日、スタンドには4,157人の観客が集まり、なでしこジャパンを後押しする声援がピッチへ送られた。また、男女オリンピック予選を通じて来場者全員に配布されるブルークロスを入場時に掲げて貰った。

試合は、日本が36分に澤のボレーシュートで先制すると、73分にもFKのチャンスから酒井が追加点を挙げて2-0で勝利した。引いて守る相手に対し苦戦はしたが、北京オリンピック出場に向けて勝ち点3を獲得し、好スタートを切った。

運営全般については、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

第2戦

期 日：4月15日(日) 19:00 キックオフ
会 場：タイ／バンコク
対 戦：タイ女子代表 0-4(0-2) なでしこジャパン

第3戦

期 日：6月3日(日) 19:03 キックオフ
会 場：東京／国立競技場
対 戦：なでしこジャパン 6-1(4-0) 韓国女子代表
入場者数：8,779人

北京オリンピック 2008 アジア最終予選の第3戦が、6月3日、東京／国立競技場で開催された。初戦のベトナム女子代表戦、第2戦のタイ女子代表戦と2連勝して勢いに乗るなでしこジャパンにとって、最終予選最大の山場と目されていた韓国女子代表戦。天候にも恵まれ、スタンドには8,779人もの観客が集まり、なでしこジャパンにとって大きな後押しとなった。

試合は、9分に宮本の豪快な右足のボレーシュートで先制すると、その後、20分に大野が、24分に荒川が、さらには34分には相手のオウンゴールもあり、前半を4-0で折り返す圧倒的な展開となった。後半に入ってもなでしこジャパンの勢いは止まらず、66分に伊藤が、68分には澤が追加点をあげ試合を決定づけた。終わってみれば6-1の圧勝で、第4戦の結果如何では本戦出場が決まる可能性が出てきた。

来場者サービスとして配布したリーフレットに、なでしこジャパンの選手全員の直筆サイン色紙を掲載し好評を博した。また、JFA HP内での大会特設ページの開設、サッカー専門紙・誌への広告出稿、朝日新聞の折込広告を、国立競技場を中心としたエリアで48万部配布する等のプロモーション活動も精力的に展開された。

運営全般については、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

第4戦

期 日：6月10日(日) 17:00 キックオフ
会 場：韓国／富川スタジアム
対 戦：韓国女子代表 2-2(1-2) なでしこジャパン

オリンピック出場を確実にしたい1戦だったが、試合に入ってから自分たちで修正できず、リアクションになる場面が多かった。韓国のホームという事もあり、前回(6/3 国立競技場 6

ー1勝利)とは違ってボールへの寄せが速く、自分たちの思うように試合が進められなかった。これもホーム&アウェイの難しさなのだと感じた。次回のベトナム戦もアウェイのため今回の反省を活かしオリンピック出場を決めたい。

第5戦

期 日：8月4日(土) 17:00 キックオフ
会 場：ベトナム/ハイボン Lach Tray Stadium
対 戦：ベトナム女子代表 0-8(0-4) なでしこジャパン

厳しい暑さのアウェイ戦となったベトナムとの試合は、立ち上がりから日本が主導権を握り、引いて守るベトナムに対してサイド攻撃を有効に使い8得点を挙げた。結果、北京オリンピック出場権を獲得することができた。

続くタイ戦には控えに回ることの多い選手を先発メンバーに起用して臨み、着実に得点を挙げる事ができた。チーム全体のコンディションを確認する貴重な機会ともなった。

第6戦

期 日：8月12日(日) 19:01 キックオフ
会 場：東京/国立競技場
対 戦：なでしこジャパン 5-0(4-0) タイ女子代表
入場者数：4,119人

北京オリンピック2008アジア最終予選の最終戦が、8月12日、東京/国立競技場で開催された。試合当日は天候にも恵まれ、スタンドには4,000人を超えるサポーターが集まり、なでしこジャパンにとって大きな後押しとなった。

既に北京オリンピック出場を決めているなでしこジャパンだが、ベストメンバーで試合に臨み、キックオフ早々に大野のゴールで先制、その後、追加点をあげ、日本は4点リードでハーフタイムを迎えた。後半もゲームを支配したなでしこジャパンは試合終了間際に途中出場の阪口がコーナーキックをヘディングで合わせ、5-0と快勝。この結果、日本はアジア女子サッカー2008最終予選を5勝1分けという成績で終えた。

来場者サービスとして、「なでしこオリンピック出場記念カード」を配布。また、なでしこリーグディビジョン1の各クラブのPRブースを設置。試合終了後には大橋監督、及び磯崎キャプテンからファン・サポーターに対し、オリンピック出場に向けての抱負が語られた。コンコースでは、初めての試みとして、なでしこジャパン選手全員による直筆サイン入り色紙を展示、来場者から好評を博した。

プロモーション活動をはじめ、運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

②海外遠征

期間・会場：7月24日(火)~29日(日) アメリカ
試 合：7月28日(土) 19:00 キックオフ Spartan Stadium
なでしこジャパン 1-4(0-2) アメリカ女子代表

オリンピック予選とワールドカップに向けた貴重なチーム強化の機会としてアメリカ/サンノゼにて強豪アメリカ女子代表と非公開の練習試合と国際親善試合を行った。

パワープレーのアメリカに対し日本は前向きに攻撃を仕掛けたが、前半を2失点で終了。後半序盤にペースをつかむもののペナルティキックなどでさらに2失点。しかし終盤でMFとFWのワン・ツールのコンビネーションを粘り強く試みて1点を返した。シュート数はアメリカの18本に対し日本も12本を放った。

③キリンチャレンジカップ2007 FIFA女子ワールドカップ中国2007 壮行試合

第1戦

期 日：8月30日(木) 19:03 キックオフ
会 場：東京/国立競技場

対 戦：なでしこジャパン 0-0(0-0) カナダ女子代表
入場者数：1,952人

FIFA女子ワールドカップ中国2007を9月に控えたなでしこジャパンは、本大会に向けてカナダ女子代表を招き、国立競技場にて壮行試合を行った。試合当日は天候にも恵まれたが、来場者は1,952人と伸び悩んだ。

日本は前半、フリーキックやコーナーキックのチャンスから先制点を狙うが、ゴールをなかなか奪えず、同点のままハーフタイムを迎える。後半に入り、日本は高さのあるカナダに対し、サイドから攻めあがりチャンスを演出するが、最後までカナダのディフェンスを崩せず、結局0-0の引き分けで試合は終了した。

来場者サービスとして、「ブルーカード」を配布。また、試合終了後にはFIFA女子ワールドカップ壮行セレモニーを実施し、両チームの監督及び選手に花束が贈られた。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

第2戦

期 日：9月2日(日) 16:00 キックオフ
会 場：千葉/フクダ電子アリーナ
対 戦：なでしこジャパン 2-1(0-1) ブラジル女子代表
入場者数：4,138人

FIFA女子ワールドカップ中国2007に向けた壮行試合の第2戦となるブラジル女子戦は、2008年日伯交流年事業プレイベントとして行われ、千葉/フクダ電子アリーナで実施された。前座試合として第11回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会千葉県予選決勝も行われた。

試合当日、雨が心配されたが、天気にも恵まれ4,138人のファンが来場した。

日本は開始早々から高い個人技を見せるブラジル女子代表に35分、先制を許したものの、59分に宮間のフリーキックを岩清水が押し込み同点に、さらに65分には柳田のフリーキックが相手のオウンゴールを誘い見事2-1でアテネオリンピック銀メダルの強豪ブラジルを下し、10日から始まるFIFA女子ワールドカップ2007中国へ向けて弾みをつけた。

来場者サービスとして、「ブルーカード」を配布。試合終了後には、FIFA女子ワールドカップ壮行セレモニーを実施し、両チームの監督・選手に花束が贈られ、試合会場にて来場者から募集したなでしこジャパンへのメッセージカードも同時に手渡された。また、大橋監督及び磯崎キャプテンからファン・サポーターに対し、ワールドカップ出場に向けての抱負が語られた。プロモーション活動をはじめ、運営全般に関しては、(社)千葉県サッカー協会を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

④FIFA女子ワールドカップ 中国2007

期間・会場：9月3日(月)~10月1日(月) 中国/上海、杭州、等
第1戦：9月11日(火) 20:00 KO Shanghai Hongkou Football Stadium
なでしこジャパン 2-2(0-0) イングランド女子代表
第2戦：9月14日(金) 19:00 KO Shanghai Hongkou Football Stadium
なでしこジャパン 1-0(0-0) アルゼンチン女子代表
第3戦：9月17日(月) 20:00 KO Hangzhou Dragonl Stadium、中国/杭州
なでしこジャパン 0-2(0-1) ドイツ女子代表

第1戦

芝がはがれるピッチコンディションで、日本は思うようなパスワークが活かさない展開が続き、両チームともチャンスをもたず、前半を0-0で終える。後半、近賀に代えて安藤を投入し、右サイドからの崩しを狙った。55分、中央で澤が受けたファールからFKを宮間が決めて先制点を挙げた。71分、宮本に代えて原を投入するが、81分にイングランドのスミスの個人技からシュートを決められ1-1とされてしまい、続けて2分後に再びスミスに決められ逆転を許してしまった。86分に磯崎を永里に代えてパワープレーを仕掛けると、ロスタイムに荒川が受けたファールから中央FKで宮間が決めて2-2で引き分けた。

第2戦

立ち上がりには日本が猛攻を仕掛けるが、なかなか得点を奪うことができず、その後も動きにダイナミックさを欠き、前半を終える。後半、日本の動きの量が増え主導権を握り、50分に矢野に代えて宇津木を投入。さらに57分に大野を荒川に代えて中央に起点を作りだす。79分、安藤に代えて近賀を投入し、右サイド攻撃を仕掛ける。ロスタイムの91分、荒川のサイドチェンジを近賀がシュートし、GKのこぼれを永里が押し込んで1-0で試合終了。貴重な勝ち点3を手にする事が出来た。

第3戦

立ち上がりからドイツの猛攻を受ける。21分、右コーナーキックをドイツのプリンツに決められ先制点を奪われる。攻撃の形は作れるものの、得点できず前半を終える。後半、宮間 に代えて荒川を投入し2トップの布陣で臨み、前半よりラインを上げて攻撃を仕掛けるが、63分に負傷により荒川を大野に交代、76分に永里に代えて宮本を投入し主導権を握るが得点には至らず、87分にペナルティエリアでのファウルからドイツにPKから追加点を許した。最後まで攻め続けたが0-2で試合を終えた。

3試合の結果、残念ながらトーナメントステージに進出できなかった。2003年にアメリカで開催された前回大会から、各国の競技力そして世界の女子サッカー全体のレベルが非常に上がり、今後の糧としていくべき日本の課題も多々浮き彫りにされた。

⑤東アジア女子サッカー選手権 2008 決勝大会

期間・会場：2008年2月18日(月)～24日(日) 中国/重慶市・永川スタジアム

第1戦：2月18日(月) 17:00 キックオフ

朝鮮民主主義人民共和国女子代表 2-3(1-1) なでしこジャパン

第2戦：2月21日(木) 17:00 キックオフ

なでしこジャパン 2-0(1-0) 韓国女子代表

第3戦：2月24日(日) 16:30 キックオフ

中国女子代表 0-3(0-2) なでしこジャパン

<最終結果>

優勝 日本

準優勝 朝鮮民主主義人民共和国

第3位 中国

第4位 韓国

<アワード>

得点王(3点) 大野 忍(日本)

最優秀ゴールキーパー ZHANG Yanru(中国)

最優秀ディフェンダー HONG Myong Gum(朝鮮民主主義人民共和国)

フェアプレー賞 日本

MVP (Most Valuable Player) 澤 穂希(日本)

11 U-19 (U-20 女子ワールドカップ 2008) 日本女子代表

①強化合宿

4月17日(火)～21日(土)、福島/Jヴィレッジにてトレーニングキャンプを行った。

②強化合宿

5月14日(月)～18日(土)、福島/Jヴィレッジにてトレーニングキャンプを行った。

③強化合宿

7月2日(月)～6日(金)、福島/Jヴィレッジにてトレーニングキャンプを行った。

④海外遠征

8月14日(火)～22日(水)、スウェーデンに遠征し、国際親善試合を行った。

第1戦：8月15日(水) 18:30 KO スウェーデン/ウプサラ

U-19 日本女子代表 1-0 (1-0) Balinge (スウェーデン女子プレミアリーグクラブ)

第2戦：8月16日(木) 19:00 KO スウェーデン/ストックホルム

U-19 日本女子代表 2-1 (1-1) Djurgarden (スウェーデン女子プレミアリーグクラブ)

第3戦：8月20日(月) 19:00 KO スウェーデン/アロンスバレン

U-19 日本女子代表 2-0 (0-0) Gideorsberg (06 シーズン 女子プレミアリーグクラブ)

10月に開催される AFC 女子 U-19 選手権中国 2007 に向けた国際経験を積むべく、強豪スウェーデンのクラブチームと3試合を行った。フィジカルで優る相手に対し、日本の選手はスキルやグループ戦術などを用いてタフに対応した。期間中の平均気温は約20℃で天候にも恵まれ、天然芝の良い環境で強化活動を行うことができた。また当地の女子プレミアリーグも観戦しユース選手の見聞を広げる良い機会となった。

⑤ AFC U-19 女子選手権中国 2007

期間・会場：10月5日(金)～16日(火) 中国/重慶

第1戦：10月6日(土) 18:15KO Chongqing Olympic Sports Centre Stadium

U-19 日本女子代表 1-0 (1-0) U-19 オーストラリア女子代表

第2戦：10月8日(月) 16:00KO Chongqing Olympic Sports Centre Stadium

U-19 日本女子代表 8-0 (3-0) U-19 ミャンマー女子代表

第3戦：10月10日(水) 16:00KO Chongqing Olympic Sports Centre Stadium

U-19 日本女子代表 1-3 (1-1) U-19 朝鮮民主主義人民共和国女子代表

第1戦のオーストラリア戦は、日本にとって予選リーグを突破するための重要な試合であった。オーストラリアは4-1-4-1のシステムで、守備ラインには女子ワールドカップにも出場している4番 POLKINGHORNE Clare を含め長身の選手を揃えていた。

オーストラリアがリトリートした守備からのカウンターが多かったのに対し、日本は広がりをもったビルドアップで相手を分散させ、優位にボールを動かしながら仕掛けることができた。前線からの積極的なプレッシングでオーストラリアのDFからのロングボールを押さえ、単調な攻撃に対して安定した守備を見せた。オーストラリアの高さとパワーを、日本の技術と組織力で抑えた試合となった。

第2戦のミャンマー戦は、中1日で行われる予選リーグの日程から選手のコンディショニングを考慮し、初戦とスターティングメンバーを8人入れ替えて試合に臨んだ。ミャンマーは身体能力の高いGKと5枚のDFラインを中心としてしっかりと守備を固め、代表経験のある10番 KHIN Marlar Tun のスピードを活かしたカウンターを狙う特徴を持ったチームであった。

日本は、序盤にリズムの悪い時間帯が続いたが、中出(吉備国際大学)のゴールから徐々にミャンマーを圧倒してゴールを重ねることができた。後半はボールを動かしながら相手を揺さぶり、積極的に仕掛けることができ一方的な展開となった。また同日行われた、オーストラリア1-2朝鮮民主主義人民共和国の結果で、日本は準決勝に進むことが決定した。

第3戦の朝鮮民主主義人民共和国戦は、雨の中行われた試合であったが、試合を重ねるごとに調子を上げていた朝鮮民主主義人民共和国は4-4-2で非常に活動性とパワーを活かしたサッカーを展開してきた。朝鮮民主主義人民共和国が終始シンプルなハイボールをトップのターゲットに当てる攻撃を徹底していたのに対し、日本は予測、判断の面で相手に劣り、また相手に臆したプレーが多く見られなかなかペースをつかめなかった。試合の終盤にいい流れの時間帯を作ることができたが、全体を通して戦う意識を持ち続けた朝鮮民主主義人民共和国に軍配は上がった。

攻守共に課題が露呈され、甘えの許されないサッカーを選手やスタッフの全員が学ぶ試合となった。

準決勝：10月13日(土) 16:00KO Chongqing Olympic Sports Centre Stadium

U-19 日本女子代表 0-0 (PK 6-5) U-19 韓国女子代表

決勝：10月16日(火) 19:00KO Chongqing Olympic Sports Centre Stadium

準決勝韓国戦も強い雨が降りしきるスリッピーなピッチコンディションで行われた。韓国は中盤、前線の攻撃陣に非常に個の力を持った選手が多く見られるチームである。日本はそれに対して数的優位な状態でボールを奪う狙いがしっかりと行われ、特に両サイドの仕掛けの面では相手の思うようにはさせなかった。しかし、決定機を幾度か作るも5枚のDFを置く韓国の強固な守備の前に得点できなかった。

後半の早々からGK菅原(吉備国際大学)が相手との接触でプレー続行が不可能となるアクションに見舞われる。交代した小林(日テレ・ベレーザ)が決定的な場面でシュートを防ぐと、自分の調子をつかみ、延長でもPKを止める活躍を見せた。試合の大部分において主導権を持って進めることができたものの、延長後半では押し込まれる時間帯が増えてしまった。最後はPK戦7人目の末にアジアの代表権を獲得することができた。

決勝戦当日はようやく天気が回復し、久々に最高のピッチコンディションで試合を行えることとなった。再び対戦することとなった朝鮮民主主義人民共和国に対し、序盤は自分達のリズムで試合を展開できたが、徐々に朝鮮民主主義人民共和国に押し込まれるようになり、コーナーキックの混戦から失点を喫してしまう。何度も攻め込むもクロスバーとポストに2度ゴールを阻まれ、得点までには至らなかった。

世界王者、朝鮮民主主義人民共和国と一つの競技会内で2度の対戦ができる好機に恵まれ、前回の対戦から修正点は改善されつつ試合を進めることができた。しかし、朝鮮民主主義人民共和国はモダンではないが相対的に質の高い選手が一人一人そつのないパフォーマンスを見せ、非常に完成度の高いサッカーを展開していた。

5試合を終え、アクションするチームのコンセプトの中で、現在朝鮮民主主義人民共和国相手にまだ確実に勝ちきれぬレベルにはないが、今後、個のレベルアップとチームとしての経験を積むことにより、2008年11~12月のチリ大会までには、アジアのトップである朝鮮民主主義人民共和国クラスのチーム力になれるということを期待させる大会となった。

12 U-16 (U-17 女子ワールドカップ 2008) 日本女子代表

①強化合宿

6月12日(火)~16日(土)、静岡にてトレーニングキャンプを行った。

②海外遠征

8月10日(金)~19日(日)、アメリカ/ロサンゼルスに遠征し、トレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

第1戦：8月15日(水) ホームデポセンター
U-16 日本女子代表 1-4 (0-1) U-15 アメリカ女子代表

第2戦：8月17日(金) ホームデポセンター
U-16 日本女子代表 2-2 (0-1) U-15 アメリカ女子代表

③強化合宿

11月23日(金・祝)~28日(水)、静岡/磐田市にてトレーニングキャンプを行った。

④強化合宿

2008年3月18日(火)~22日(水)、福島/Jヴィレッジにてトレーニングキャンプを行った。

13 全日本女子学生選抜

①強化合宿

5月28日(月)~6月3日(日)、埼玉/東松山市にてトレーニングキャンプを行った。

②第24回ユニバーシアード競技大会 2007 バンコク

期間・会場：7月27日(金)~8月19日(日) タイ/バンコク
<グループリーグ>

- 第 1 戦：8月7日(水) Inseechandrasatitya Stadium, Kasetsart University
 エバー-シアード 日本女子代表 0-1 (0-1) エバー-シアード ホーランド 女子代表
- 第 2 戦：8月9日(金) Central Stadium, Bangkok University
 エバー-シアード 日本女子代表 1-2 (1-2) エバー-シアード 韓国女子代表
- 第 3 戦：8月11日(土) Royal Thai Army Stadium
 エバー-シアード 日本女子代表 4-2 (2-1) エバー-シアード フランス女子代表
- 順位決定戦：8月13日(月) Ramkhamhaeng Main Stadium
 エバー-シアード 日本女子代表 1-0 (0-0) エバー-シアード タイ女子代表
- 9-12 位決定戦：8月15日(水) Rajamangala National Stadium
 エバー-シアード 日本女子代表 9-0 (4-0) エバー-シアード 南アフリカ女子代表
- 9-10 位決定戦：8月17日(金) Main Stadium, Srinakharinwirot University Ongkarak
 エバー-シアード 日本女子代表 3-1 (0-1) エバー-シアード カナダ 女子代表

前回大会の3位という結果を上回る順位を目標に臨んだ大会。残念ながらグループリーグで惜敗が続き1勝2敗で予選敗退。順位決定戦に回るがその後は3戦全勝で最高位の9位で大会を終了した。日頃国際経験を積むことの難しい選手たちにとっていい経験となった。

14 フットサル日本代表

①強化合宿

4月13日(金)～15日(日)、神奈川／藤沢市他にてトレーニングキャンプを行った。

②AFCフットサル選手権壮行試合

4月28日(土)～5月6日(日)、兵庫、大阪にてトレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

第1戦

期 日：5月3日(木・祝) 13:00 キックオフ

会 場：兵庫／ワールド記念ホール

対 戦：フットサル日本代表 2-4 (1-1) フットサル アルゼンチン代表

入場者数：2,309人

第2戦

期 日：5月5日(土・祝) 14:00 キックオフ

会 場：大阪／大阪市中央体育館

対 戦：フットサル日本代表 1-0 (0-0) フットサル アルゼンチン代表

入場者数：2,735人

AFCフットサル選手権大会日本2007の壮行試合として、兵庫／神戸市および大阪／大阪市で2試合を行った。

本年のAFCフットサル選手権大会は日本での開催であることから、日本代表チームの強化試合ということだけでなく、(社)大阪府サッカー協会、(社)兵庫県サッカー協会の運営リハーサルという意味合いでも実施した。そのため、会場の床は‘スポーツコート’を敷くなど本番に備えた。

対戦相手のアルゼンチン代表は、3年前、日本代表がFIFAフットサル世界選手権大会(チャイニーズ・タイペイ)に出場した際に、フットサル日本代表が初めて日本国内において国際試合を行って以来の対戦となった。

両会場とも、入場者サービスとして、リーフレットの配布とマッチボールプレゼントを行った。また、今秋開幕する日本フットサルリーグ(Fリーグ)の地元チーム、シュライカー大阪とデウソン神戸のエキシビジョンマッチを行った。

(社)大阪府サッカー協会、(社)兵庫県サッカー協会のご協力により、大会運営はつつがなく終了した。

③AFCフットサル選手権大会 日本2007

期 間：5月13日(日)～19日(土)
 会 場：大阪／大阪市中央体育館、兵庫／尼崎市記念公園総合体育館
 <グループリーグ>
 第 1 戦：5月13日(日) 13：00 キックオフ 大阪市中央体育館
 フットサル日本代表 16－0(7－0) フットサル フィリピン代表
 第 2 戦：5月14日(月) 19：00 キックオフ 大阪市中央体育館
 フットサル日本代表 8－0(5－0) フットサル 香港代表
 第 3 戦：5月15日(火) 19：00 キックオフ 大阪市中央体育館
 フットサル日本代表 6－2(3－1) フットサル タジキスタン代表
 準々決勝：5月17日(木) 19：00 キックオフ 大阪市中央体育館
 フットサル日本代表 9－6(4－2) フットサル タイ代表
 準 決 勝：5月18日(金) 19：00 キックオフ 大阪市中央体育館
 フットサル日本代表 1－0(1－0) フットサル タジキスタン代表
 決 勝：5月19日(土) 19：00 キックオフ 大阪市中央体育館
 フットサル日本代表 1－4(0－1) フットサル イラン代表
 ※入場者数：5,289人

優 勝：イラン代表
 準優勝：日本代表
 第3位：ウズベキスタン代表
 フェアプレー賞：イラン代表
 MVP：シャムサエー・ヴァヒード(イラン代表/No.9)
 得点王：木暮 賢一郎(12得点：日本代表/No.10)

第9回を迎える AFC フットサル選手権大会は、アジア各国から昨年のランキング等によりシードされた12チームと予選大会を勝ち抜いた4チームの合計16チームによってアジアフットサルチャンピオンを決める大会として毎年実施している。

決勝戦は、7度の優勝回数を誇るイラン代表と、前回のウズベキスタン大会で初優勝を遂げ連覇を狙う日本代表との対戦となった。序盤は一進一退の攻防となったが、イラン代表が前半15分に先制すると後半に入っても得点を重ね、4－1で2大会ぶり8回目の優勝を飾った。

1週間にわたって熱戦が繰り広げられた本大会は(社)大阪府サッカー協会、(社)兵庫県サッカー協会の協力により、初めての日本開催を無事に行うことができた。

④中国国際トーナメント

期間・会場：8月21日(火)～8月27日(月) 中国／広州
 第 1 戦：8月24日(金) 17：00キックオフ 暨南大学体育館
 フットサル日本代表 4－2(1－1) フットサル 広州選抜
 第 2 戦：8月25日(土) 15：30キックオフ 暨南大学体育館
 フットサル日本代表 7－0(4－0) フットサル チャイニーズタイペイ代表
 第 3 戦：8月26日(日) 16：30キックオフ 暨南大学体育館
 フットサル日本代表 2－1(2－1) フットサル 中国代表

⑤第2回アジア・インドアゲームス2007 マカオ

期間・会場：10月26日(金)～11月3日(土) マカオ
 <グループリーグ>
 第 1 戦：10月26日(金) 14：00キックオフ Tap Seac Multisports Pavillion
 フットサル日本代表 0－0 フットサル ウズベキスタン代表
 第 2 戦：10月28日(日) 19：00キックオフ IPM Multisport Pavillion
 フットサル日本代表 3－0 フットサル 香港代表
 第 3 戦：10月30日(火) 15：00キックオフ IPM Multisport Pavillion
 フットサル日本代表 2－0 フットサル ベトナム代表
 <準々決勝>：11月1日(木) 22：00キックオフ Tap Seac Multisportpavillion

フットサル日本代表 1-2 フットサル タイ代表

⑥強化合宿

2008年2月19日(火)～21日(木)、東京/多摩市にてトレーニングキャンプを行った。

⑦海外遠征

2008年3月18日(火)～28日(金)、スペイン/マドリードにてトレーニングキャンプ、国際親善試合を行った。

第1戦：3月24日(月) フットサル日本代表 0-5 フットサル スペイン代表

第2戦：3月25日(火) フットサル日本代表 0-3 フットサル スペイン代表

第3戦：3月26日(水) フットサル日本代表 2-4 フットサル U-21 スペイン代表(練習試合)

15 フットサル日本女子代表

①強化合宿

10月13日(土)～14日(日)、山梨/北杜市、昭和町にてトレーニングキャンプを行った。

②第2回アジアインドアゲームス 2007 マカオ

期間・会場：10月26日(金)～11月3日(土) マカオ

<グループリーグ>

第1戦：10月27日(土) 17:00 キックオフ IPM Multisports Pavillion

フットサル日本女子代表 3-2 フットサル タイ女子代表

第2戦：10月28日(日) 10:00 キックオフ IPM Multisport Pavillion

フットサル日本女子代表 7-6 フットサル イラン女子代表

第3戦：10月29日(月) 15:00 キックオフ IPM Multisport Pavillion

フットサル日本女子代表 5-0 フットサル マレーシア女子代表

準決勝：11月2日(金) 13:00 キックオフ Tap Seac Multisportpavillion

フットサル日本女子代表 6-1 フットサル ベトナム女子代表

決勝：11月3日(土) 11:00 キックオフ Tap Seac Multisportpavillion

フットサル日本女子代表 2-2 (PK3-1) フットサル タイ女子代表

結果、フットサル日本女子代表は優勝した。

15 ビーチサッカー日本代表

①ビーチサッカー国際親善大会ポルトガル 2007

期間・会場：7月19日(木)～22日(日) ポルトガル

第1戦：7月19日(木) Portimao

ビーチサッカー日本代表 5-2 ビーチサッカー イングランド代表

第2戦：7月20日(金) Portimao

ビーチサッカー日本代表 6-2 ビーチサッカー オーストリア代表

第3戦：7月21日(土) Portimao

ビーチサッカー日本代表 0-4 ビーチサッカー ブラジル代表

3・4位決定戦：7月22日(日) Portimao

ビーチサッカー日本代表 5-3 ビーチサッカー スイス代表

結果、ビーチサッカー日本代表は第3位。

②海外遠征

8月4日(土)～10日(金)、中国に遠征し、国際親善試合を行った。

第1戦：8月5日(日) 17:00キックオフ Beach Soccer Field, Gulangyu Islet Xiamen

ビーチサッカー日本代表 4-3 ビーチサッカー中国代表

第2戦：8月7日(火) 17:00キックオフ Beach Soccer Field, Gulangyu Islet Xiamen

ビーチサッカー日本代表 4-4 ビーチサッカー中国代表

③ F I F A ビーチサッカーワールドカップ リオ・デ・ジャネイロ 2007 アジア予選

期間・会場：8月14日(火)～8月18日(土) UAE/ドバイ

第1戦：8月15日(水) 21:00キックオフ Al Mamzar Beach

ビーチサッカー日本代表 4-3 ビーチサッカー インド代表

第2戦：8月16日(木) 21:00キックオフ Al Mamzar Beach

ビーチサッカー日本代表 3-6 ビーチサッカー UAE代表

準決勝：8月17日(金) 20:00キックオフ Al Mamzar Beach

ビーチサッカー日本代表 8-6 ビーチサッカー イラン代表

決勝：8月18日(土) 21:00キックオフ Al Mamzar Beach

ビーチサッカー日本代表 3-4 ビーチサッカー UAE代表

11月にリオデジャネイロにて開催されるワールドカップ出場権をかけたアジア予選。参加8カ国(※タイ、フィリピンの棄権により最終6ヶ国)中3ヶ国に出場権が与えられる。

ビーチサッカー日本代表はグループリーグを1勝1敗の2位で通過し、準決勝でイラン代表と対戦。終盤に猛追を受けるも序盤の大量リードと終了直前のゴールでイラン代表を突き放し、この時点でワールドカップ出場権を獲得した。決勝では地元UAE代表と対戦。グループリーグで敗れているだけに気合の入った試合となるが選手の怪我もあり接戦をものにするにはできなかった。結果、大会2位で終了し、UAE、イランとともに11月のワールドカップの出場権を獲得した。

④強化合宿

10月6日(土)～8日(月)、沖縄にてトレーニングキャンプを行った。

⑤ F I F A ビーチサッカーワールドカップ リオ・デ・ジャネイロ 2007

期間・会場：10月24日(水)～11月11日(日) ブラジル/リオデジャネイロ
<グループリーグ>

第1戦：11月3日(土) 14:00キックオフ Copacabana Beach

ビーチサッカー日本代表 1-4 ビーチサッカー セネガル代表

第2戦：11月5日(月) 9:30キックオフ Copacabana Beach

ビーチサッカー日本代表 3-6 ビーチサッカー イタリア代表

第3戦：11月7日(水) 14:00キックオフ Copacabana Beach

ビーチサッカー日本代表 2-3 ビーチサッカー ウルグアイ代表

第1回大会から3大会連続で出場し、第1回大会は4位、第2回大会はベスト8と好成績を残しているビーチサッカー日本代表は、上位進出を狙い大会に臨んだが、強豪の揃ったグループリーグで勝ち点をあげることができず、グループ4位で大会を終えた。

⑥強化合宿

2008年2月15日(金)～17日(日)、沖縄/北谷町にてトレーニングキャンプを行った。

⑦強化合宿

2008年3月14日(金)～16日(日)、沖縄/北谷町にてトレーニングキャンプを行った。

II 競技会開催（派遣）事業

1 国内競技会（主催）

1. 第 87 回天皇杯全日本サッカー選手権大会

開催期間：9月16日(日)～2008年1月1日(火・祝)
会場：東京／国立競技場 他
決勝：2008年1月1日(火・祝) 国立競技場
サンフレッチェ広島 0－2 (0－1) 鹿島アントラーズ
優勝：鹿島アントラーズ (J1)
準優勝：サンフレッチェ広島 (J1)
第3位：川崎フロンターレ (J1)、ガンバ大阪 (J1)
総入場者数：284,367人

第87回を迎えた天皇杯はJ1－18チーム、J2－13チーム、JFL－1チーム、大学－1チームの33チームのシードチームに都道府県代表47チームの合計80チームの参加により開催された。

今大会はアマチュアチームの奮闘が目立った。特に明治大学、順天堂大学は3回戦でJ2チームを破り、4回戦でJ1に果敢に挑み接戦を演じた。またJ2の愛媛FCがアジアチャンピオンの浦和レッズを破り、JFLのHonda FCは柏レイソル、名古屋グランパスを破りベスト8まで駒を進め、大会を盛り上げた。

決勝戦は今季逆転でJ1優勝を成し遂げた鹿島アントラーズとJ2降格が決定してしまったサンフレッチェ広島との対照的なチームの対決となった。

鹿島アントラーズは開始8分でペナルティエリア右側でのワンツーで抜け出した内田が先制点を挙げる。その後はサンフレッチェ広島も反撃を試みるも、試合巧者ぶりを発揮した鹿島アントラーズにうまく押さえ込まれてしまい、試合終了間際に前がかりになったところを逆襲速攻でダニエロが決めて試合終了。鹿島アントラーズは7大会ぶり3回目の優勝を果たした。

鹿島アントラーズは今期Jリーグ優勝に引き続き2冠を達成。Jリーグ開幕後11冠を成し遂げた。またチームを離れると噂されている柳沢へのコールがビクトリーラン後もありやまらずに再度サポーターに挨拶するという一幕もあった。

サンフレッチェ広島は決勝戦に於いては主力の柏木の出場停止が少なからず影響があったが、J2降格の影響を感じさせずに自分達のサッカーを貫き決勝戦まで勝ち上がってきた。決勝観客数は46,357人であった。(※86回大会決勝観客数：46,880人)

2. 2007 Jリーグディビジョン1 (J1)

18チームによる2回戦総当りリーグ戦(ホーム&アウェイ方式)にて、全34節/306試合が行われた。

開催期間：2007年3月3日(土)～12月1日(土)
会場：主に各クラブのホームタウンにおける競技場
総入場者数：5,838,771人

順位	優勝 鹿島アントラーズ	10位	ヴィッセル神戸
	2位 浦和レッズ	11位	名古屋グランパスエイト
	3位 ガンバ大阪	12位	FC東京
	4位 清水エスパルス	13位	ジェフユナイテッド市原・千葉
	5位 川崎フロンターレ	14位	大分トリニータ
	6位 アルビレックス新潟	15位	大宮アルディージャ
	7位 横浜F・マリノス	△16位	サンフレッチェ広島
	8位 柏レイソル	■17位	ヴァンフォーレ甲府
	9位 ジュビロ磐田	■18位	横浜FC

(■：降格、△：入替戦)

上記の結果、17位のヴァンフォーレ甲府、18位の横浜F.C.の、来季Jリーグディビジョン2への降格が決まった。

3. 2007 Jリーグディビジョン2 (J2)

13チームによる2回戦総当りリーグ戦(ホーム&アウェイ方式)にて、全52節/312試合が行われた。

開催期間：2007年3月3日(土)～12月1日(土)

会場：主に各クラブのホームタウンにおける競技場

総入場者数：2,034,543人

順位	○優勝	コンサドーレ札幌	8位	サガン鳥栖
	○2位	東京ヴェルディ1969	9位	モンテディオ山形
	△3位	京都サンガF.C.	10位	愛媛F.C.
	4位	ベガルタ仙台	11位	ザスパ草津
	5位	セレッソ大阪	12位	水戸ホーリーホック
	6位	湘南ベルマーレ	13位	徳島ヴォルティス
	7位	アビスパ福岡		(○：昇格、△：入替戦)

上記の結果、1位のコンサドーレ札幌、2位の東京ヴェルディ1969の、来季Jリーグディビジョン1への昇格が決まった。

4. J1、J2入れ替え戦

第1戦：12月5日(水) 19:06キックオフ 京都/西京極
京都サンガF.C. 2-1(2-0) サンフレッチェ広島
入場者数：12,637人

第2戦：12月8日(土) 16:04キックオフ 広島/広島ビッグアーチ
サンフレッチェ広島 0-0 京都サンガF.C.
入場者数：23,162人

上記の結果、京都サンガF.C.の、来季Jリーグディビジョン1への昇格が、サンフレッチェ広島のJリーグディビジョン2への降格が決まった。

5. 2007 Jリーグヤマザキナビスコカップ

開催期間：2007年3月21日(水・祝)～11月3日(土・祝)

会場：主に各クラブのホームタウンにおける競技場

予選リーグ：2007年3月21日(水・祝)～5月23日(水)

決勝トーナメント：7月7日(土)～11月3日(土・祝)

決勝：11月3日(土・祝) 13:39キックオフ 東京/国立競技場
川崎フロンターレ 0-1(0-0) ガンバ大阪

優勝：ガンバ大阪

準優勝：川崎フロンターレ

第3位：横浜F・マリノス、鹿島アントラーズ

総入場者数：615,149人

6. 2007 JOMOオールスターサッカー

開催日：8月4日(土) 17:03キックオフ 静岡/エコパスタジアム

試合：J-WEST 3-2(1-2) J-EAST

M V P : 大久保 嘉人 (J - W E S T)
敢 闘 賞 : 小野 伸二 (J - E A S T)
M I P : 中山 雅史 (J - W E S T)
入場者数 : 30,941 人

7. 2008 ゼロックススーパーカップ

開 催 日 : 2008 年 3 月 1 日 (土) 13 : 35 キックオフ 東京 / 国立競技場
試 合 : 鹿島アントラーズ 2 - 2 (0 - 0 、 P K 3 - 4) サンフレッチェ広島
入場者数 : 27,245 人

8. 第9回日本フットボールリーグ

開催期間 : 2007 年 3 月 18 日 (日) ~ 12 月 2 日 (日)

会 場 : 全国各地

順 位 : 優勝	佐川急便 S C	10 位	流通経済大学
○ 2 位	ロッソ熊本	11 位	ソニー仙台 F C
○ 3 位	F C 岐阜	12 位	佐川印刷 S C
4 位	アローズ北陸	13 位	T D K S C
5 位	H o n d a F C	14 位	ガイナレ鳥取
6 位	Y K K A P	15 位	三菱水島 F C
7 位	横河武蔵野 F C	■ 16 位	F C 刈谷
8 位	栃木 S C	■ 17 位	F C 琉球
9 位	ジェフリザーブズ	■ 18 位	アルテ高崎

(○ : J 2 昇格、■ : 降格)

第9回は、昨年に続き 18 チームによるホーム&アウェイ方式の2回戦総当たりで行われた。新加盟チームは、東北地域から秋田県の「T D K S C」と岐阜県から J リーグを目指す「F C 岐阜」の2チームが加わり、また今季から佐川急便東京 S C と佐川急便大阪 S C が統合され「佐川急便 S C」として滋賀県に所在地としてスタートした。

18 チームが J F L の頂点を目指し、本年より下位チームは地域リーグとの入れ替え制度も自動入れ替えに変わるなど、これまで以上に厳しい戦いが繰り広げられた。

第9回 J F L の優勝は佐川急便 S C、2 位にロッソ熊本、最終節の結果、3 位 F C 岐阜、4 位アローズ北陸と決定した。この結果によりロッソ熊本、F C 岐阜が 2008 シーズンより J リーグに昇格を果たした。

9. 2007 J サテライトリーグ

J 1 - 18 クラブおよび J 2 - 12 クラブを A ~ F の 6 グループに分け、各グループ内で原則 2 回戦総当りのリーグ戦 (ホーム&アウェイ方式) が行われた。

開催期間 : 2007 年 3 月 4 日 (日) ~ 12 月 8 日 (土)

会 場 : 主に各クラブのホームタウンにおける競技場

10. 第43回全国社会人サッカー選手権大会

開催期間 : 10 月 12 日 (金) ~ 17 日 (水)

会 場 : 大分 / 大分スポーツ公園総合競技場 他

決 勝 : 10 月 17 日 (水) 11 : 00 キックオフ 大分スポーツ公園総合競技場
F C M i - O びわこ Kusatsu 3 - 1 (1 - 1)

矢崎バレンテフットボールクラブ

優 勝 : F C M i - O びわこ Kusatsu (関西 / 滋賀)

第 2 位 : 矢崎バレンテフットボールクラブ (東海 / 静岡)

第 3 位：V・ファーレン長崎 (九州／長崎)
沖繩かりゆしFC (九州／沖繩)
フェアプレー賞：該当なし

全国社会人サッカー選手権大会は 43 回目を迎え、第 63 回国民体育大会サッカー競技リハーサル大会を兼ねて実施された。

前回から優勝チームは全国地域リーグ決勝大会への出場権が与えられることになり、従来に比べ参加 32 チームのモチベーションが高く熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は共に初優勝を狙う FC Mi-O びわこ Kusatsu と 矢崎バレンテフットボールクラブの対戦となった。両チームとも接戦となり前半は 1 対 1 であった。後半でチャンスを活かした FC Mi-O びわこ Kusatsu が追加点を挙げ、優勝を勝ち取った。

尚、第 31 回全国地域リーグ決勝大会への出場権について、優勝の FC Mi-O びわこ Kusatsu に与えられた。

11. 第 31 回全国地域リーグ決勝大会

開催期間：1 次ラウンド 11 月 23 日(金)～25 日(日)
決勝ラウンド 11 月 30 日(金)～12 月 2 日(日)
会 場：1 次ラウンド 広島／広島スタジアム
愛知／ウェーブスタジアム刈谷
長野／松本平広域公園総合球技場
決勝ラウンド 埼玉／熊谷スポーツ文化公園陸上競技場
優 勝：ファジアーノ岡山 FC (中国／岡山)
準 優 勝：ニューウェーブ北九州 (九州／福岡)
第 3 位：FC Mi-O びわこ Kusatsu (社会人大会／滋賀)
第 4 位：バンディオンセ神戸 (関西／兵庫)
フェアプレー賞：該当なし

全国地域リーグ決勝大会は 31 回目を迎え、JFL を目指す 14 チームが参加し熱戦が繰り広げられた。1 次ラウンドは広島県、愛知県、長野県の 3 会場で開催され、各グループは最終戦までもつれ込み混戦となった。

埼玉県で開催された決勝ラウンドも、接戦となり最終試合結果まで順位が確定できなかった。岡山県は、2 戦目で PK 負けをするものの最終戦で勝点 3 を挙げ、みごと優勝を飾った。2 位以下は勝点 4 で並び、得失点差で順位が決められた。ファジアーノ岡山 FC とニューウェーブ北九州は、平成 20 年度 JFL へ自動昇格となり、第 3 位の FC Mi-O びわこ Kusatsu は、JFL から J2 への昇格があった為、自動昇格となった。

12. 第 56 回全日本大学サッカー選手権大会

開催期間：12 月 19 日(水)～2008 年 1 月 13 日(日)
会 場：東京／国立競技場 他
決 勝：2008 年 1 月 13 日(日) 14:00 キックオフ 国立競技場
法政大学 0-2 (0-0) 早稲田大学
優 勝：早稲田大学 (関東 2・東京)
準 優 勝：法政大学 (関東 3・東京)
第 3 位：駒澤大学 (関東 4・東京)、中京大学 (東海 2・愛知)
フェアプレー賞：該当なし
入場者数：7,218 人

平成 17 年度より決勝戦を全日本大学女子選手権大会決勝と同日同会場の国立競技場で開催されている。

決勝戦は、準決勝で中京大学を勝ち抜いた法政大学と駒澤大学に競り勝った早稲田大学との対戦となった。前半から接戦となり両者譲らず、後半 50 分にチャンスを活かした早稲田

が先制点をあげ、その6分後CKから早稲田が点を重ね、13年ぶり11回目の優勝を飾った。

13. 第31回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント

開催期間：7月1日(日)～7日(土)

会場：大阪／長居第2陸上競技場 他

決勝：7月7日(土) 14:00 キックオフ 長居第2陸上競技場
流通経済大学 3-1 (2-1) 静岡産業大学

優勝：流通経済大学 (関東第1代表・茨城県)

準優勝：静岡産業大学 (東海第1代表・静岡県)

第3位：法政大学 (関東第3代表・東京都)
福岡大学 (九州代表・福岡県)

フェアプレー賞：流通経済大学

入場者数：2,000人

各地域予選を勝ち抜いた16チームが参加し熱戦を繰り広げた。

決勝戦は、双方とも初優勝をかけた関東第1代表の流通経済大学と東海第1代表の静岡産業大学の対戦となった。

試合は流通経済大学が押していた。前半10分にチャンスを得た流通経済大学が先制点をあげ、直後のスキをつき11分にも追加点をあげた。22分に静岡産業大学が1点を返したが、流通経済大学は後半54分に得点を重ねて初優勝を飾った。

3年ぶりの関東勢の優勝となった。

流通経済大学は第87回天皇杯と第56回全日本大学選手権大会への出場権を得ることになった。

14. 第22回デンソーカップチャレンジサッカー宮崎大会

開催日時：2008年2月29日(金)～3月2日(日)

会場：宮崎／宮崎市生目の社運動公園 他

決勝：2008年3月2日(日) 12:00 キックオフ 宮崎市生目の社運動公園
東海・北信越 2-0 (0-1、1-0、PK 4-2) 九州

優勝：東海・北信越

準優勝：九州

第3位：関西B

22回を迎える本大会は、宮崎／宮崎市生目の社運動公園他で開催された。

決勝戦は、東海・北信越と九州が対戦となった。前半九州が先制点を挙げたが、後半東海・北信越が得点したが、接戦で決勝点を挙げる事が出来ずPKとなり、東海・北信越が優勝した。

本大会優秀選手30名の中から22名がオランダ(ザイスト)へ遠征し、「デンソーカップサッカー第5回大学日韓定期戦(3/23(日)13:30 キックオフ/国立競技場)で全韓国大学選抜と対戦する。

15. デンソーカップサッカー第5回大学日韓(韓日)定期戦

開催日時：2008年3月23日(日)

会場：東京／国立競技場

決勝：2008年3月23日(日) 13:30 キックオフ 国立競技場
全日本大学選抜 3-1 (1-1) 全韓国大学選抜

優勝：全日本大学選抜

準優勝：全韓国大学選抜

入場者数：2,613人

5回を迎える本大会の全日本大学選抜チームは、第22回デンソーカップチャレンジサッカー宮崎大会の出場選手から選考され、オランダに強化遠征を行った22名が出場した。

好天に恵まれた試合は、開始1分後日本のゴール前のファウルにより韓国がPKで先制点を挙げリードした。前半はほぼ韓国のペースであったが、41分に日本は相手のクリアミスから1点を奪い返した。後半に入って日本のペースとなり、点を重ね勝利を獲得した。

今回から本大会の日韓親善大使として、井原正巳氏とホン・ミョンボ氏が招聘され記者会見やキッズイベントに参加した。

来年度の第6回定期戦は、韓国で対戦する。

16. 高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

開催期間：9月9日(日)～10月8日(月・祝)

会場：埼玉／埼玉スタジアム2002 他首都圏近郊各地

決勝：10月8日(月・祝) 埼玉スタジアム2002

サンフレッチェ広島F.Cユース 0-1 (0-0) 流通経済大学附属柏高校

入場者数：10,409人

優勝：流通経済大学附属柏高校 (関東代表・千葉県)

準優勝：サンフレッチェ広島F.Cユース (中国代表・広島県)

第3位：浦和レッドダイヤモンズユース (関東代表・埼玉県)

名古屋グランパスエイトU-18 (東海代表・愛知県)

フェアプレー賞：該当チーム無し

得点王：大前 元紀 (流通経済大学附属柏高校) 8得点

高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会は、プリンスリーグを勝ち抜いた9地域からの20代表チームと高校総体および日本クラブユース選手権それぞれの優勝・準優勝チームを加えた合計24チームが参加し、高校生年代の日本一を決める大会として熱戦が繰り広げられた。今年度の大会は高校総体、日本クラブユース選手権の優勝・準優勝チーム全てが9地域の代表であったため、繰上げの出場チームが4チームとなった。また、今大会初めてクラブユースチームが高体連チームの数を上回った。

埼玉スタジアム2002で行われた決勝は、第15回大会以来2度目の決勝進出を果たしたサンフレッチェ広島F.Cユースと今年のインターハイベスト4の流通経済大学附属柏高校の対戦となった。

ともにグループリーグから無敗で勝ち進んだチーム同士拮抗した試合展開となった。コンパクトなディフェンスラインを敷き、素早いプレスを仕掛ける流通経済大学附属柏高校が徐々に試合の主導権を握るものの前半は0-0で折り返す。後半7分に今大会得点王の大前選手からの折り返しを小島選手が冷静に押し込み、流通経済大学附属柏高校が先制点をあげる。サンフレッチェ広島F.Cユースも反撃を試みるもののうまく相手DFに押さえ込まれ、そのまま試合終了。流通経済大学附属柏高校が見事初優勝を遂げた。

17. adidas CUP 2007 第31回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

開催期間：7月27日(金)～8月5日(日)

開催会場：福島／Jヴィレッジ、神奈川／横浜市三ツ沢公園球技場

決勝：8月5日(日) 横浜市三ツ沢公園球技場

ガンバ大阪ユース 4-2 (3-0) ジュビロ磐田ユース

優勝：ガンバ大阪ユース (大阪府)

準優勝：ジュビロ磐田ユース (静岡県)

第3位：ジェフユナイテッド市原・千葉U-18(千葉県)

サンフレッチェ広島F.Cユース (広島県)

MVP：安田 晃大(ガンバ大阪ユース)

MIP：山本 康裕(ジュビロ磐田ユース)

得点王：押谷 祐樹(8得点：ジュビロ磐田ユース)

フェアプレー賞：柏レイソルU-18

日本のクラブチーム(U-18)の頂点を争う大会として今年で 31 回目を迎えた日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会は、昨年に引き続きグループリーグから準々決勝までをJヴィレッジにて開催し、準決勝・決勝戦を三ツ沢公園球技場にて行った。

決勝は、前回大会覇者のガンバ大阪と3年ぶりの決勝進出で2度目の優勝を狙うジュビロ磐田ユースの対決となった。前半に3点を挙げたガンバ大阪が、ジュビロ磐田の後半の猛追を凌ぎ、大会2連覇(3回目)を成し遂げた。

18. 第86回全国高等学校サッカー選手権大会

開催期間：12月30日(日)～2008年1月14日(月・祝)

決勝：2008年1月14日(月・祝) 東京/国立競技場
流通経済大柏高校 4-0(1-0、3-0) 藤枝東高校

優勝：流通経済大学付属柏高校(千葉県)

準優勝：静岡県立藤枝東高校(静岡県)

第3位：高川学園高校(山口県)、三重県立津工業高校(三重県)

フェアプレー賞：該当なし

入場者数：48,884人

第86回全国高等学校サッカー選手権大会決勝は、34大会ぶり7回目の優勝を狙う藤枝東高校と本大会2回目の出場で初の決勝進出となった流通経済大付属柏高校の対決となった。

4万8000人を超える観衆が見守る中、前半早々6分に流通経済柏が先制点を挙げたが、前半は一進一退でそのまま1-0で折り返した。後半に入ると両チームともスピードを活かした攻撃を展開したが、藤枝東は流通経済柏の堅い守備を崩すことができず、流通経済柏が追加点を重ね、4-0で初優勝を飾り、全国3,779校の頂点に立った。

流通経済柏高校は本年度の高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会との2冠を達成した。

19. 高円宮杯第19回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会

開催日時：12月9日(日)～29日(土)

会場：1次ラウンド：宮城/石巻市、大阪/高槻市、徳島/鳴門市・徳島市、
鹿児島/南さつま市・鹿児島市

決勝トーナメント：茨城/ひたちなか市、愛知/名古屋市、

東京/国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場・国立競技場

決勝：12月29日(土)

ガンバ大阪ジュニアユース 3-2(0-2、3-0)

東京ヴェルディ1969ジュニアユース

優勝：ガンバ大阪ジュニアユース(関西/大阪)

準優勝：東京ヴェルディ1969ジュニアユース(第22回JCY準優勝/東京)

第3位：京都サンガF.C.U-15(第22回JCY優勝/京都)

FC東京U-15深川(関東/東京)

フェアプレー賞：FC東京U-15深川(関東/東京)

得点王：山崎駿(柏レイソルU-15) 9得点

入場者数：5,052人

高円宮杯第19回全日本ユース(U-15)サッカー選手権は、全32チームを4チームずつ8グループに分け1次ラウンドを行い、各グループ上位2チームが決勝トーナメントに進出する形式で行なわれた。今大会は、27のクラブチームと5の中学校チームが出場した。

1次ラウンドは全中優勝校の日章学園中が3戦全勝を挙げ、初出場のJヴィレッジスポーツクラブ、吹田JFC千里丘などの町クラブが決勝トーナメント進出を果たすなどの活躍を見せた。

決勝戦は昨年優勝チームのガンバ大阪ジュニアユースと東京ヴェルディ1969ジュニアユース

ースとの対戦となり、天皇杯準決勝開催前に国立競技場にて行なわれた。決勝トーナメントではどちらのチームも接戦を制して勝ちあがってきているだけあってタフな試合展開となった。前半はテンポのよかった東京ヴェルディが2得点を挙げて試合を優勢に進めたが、後半に入り立ち上がり早々にガンバ大阪が1点を返すと試合の流れは一転し、すぐさま同点に追いつく。同点に追いついた後も勢いは止まらず50分について3-2と逆転を果たした。東京ヴェルディもなんとか追いつこうと必死に反撃を試みるが実らずそのまま試合終了。ガンバ大阪ジュニアユースは大会2連覇を果たした。

本大会は全日程天候に恵まれ、また、主管7都道府県サッカー協会のご尽力のもと無事に終了した。

20. adidas CUP 2007 第22回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

開催期間：8月10日(金)～19日(日)

会場：福島/Jヴィレッジ

決勝：8月19日(日) Jヴィレッジ

京都サンガ F.C. U-15

延 1-0 (0-0, 0-0, 1-0, 0-0) 東京ヴェルディ 1969 ジュニアユース

優勝：京都サンガ F.C. U-15

準優勝：東京ヴェルディ 1969 ジュニアユース

第3位：柏レイソル U-15、清水エスパルスジュニアユース

MVP：宮吉 拓実(京都サンガ F.C. U-15)

MI P：渋谷 亮(東京ヴェルディ 1969 ジュニアユース)

得点王：宮吉 拓実(9得点：京都サンガ F.C. U-15)

フェアプレー賞：ガンバ大阪ジュニアユース

日本のクラブユース(U-15)の頂点を争う大会として、今年で22回目を迎えたクラブユースサッカー選手権(U-15)大会。決勝戦は、準決勝で昨年度準優勝の清水エスパルスジュニアユースを破った京都サンガ F.C. U-15 と、3大会ぶりの優勝を狙う東京ヴェルディ 1969 ジュニアユースの対決となった。

両チームとも攻守ともに切り替えの早いサッカーを展開し、延長戦にもつれ込む激戦となったが、延長前半に挙げた1点を守りきった京都サンガ F.C. U-15 が東京ヴェルディ 1969 ジュニアユースを破り8年ぶり2度目の優勝を果たした。

21. メニコンカップ 2007 日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)

開催日：9月9日(日)

会場：愛知/名古屋市瑞穂球技場

対戦：オールイースト・東軍 0-2 (0-0, 0-2) オールウエスト・西軍

入場者数：10,566人

MVP：望月 聖矢(WEST/ガンバ大阪ジュニアユース)

敢闘賞：小林 祐希(EAST/東京ヴェルディ 1969 ジュニアユース)

原口 拓人(WEST/ガンバ大阪ジュニアユース)

今回で第13回を迎える「メニコンカップ 2007 日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)」は、adidas CUP2007 第22回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会の優秀選手として選出された選手を一同に集めた大会として実施されている。

本年は、キックオフからU-15年代のオールスター戦らしい拮抗した試合展開となったが、後半30分にオールウエストが先制点を決めると試合終了間際にも追加点を加え、3大会ぶりの勝利を飾った。

本年の結果により、通算成績はオールイースト(東軍)7勝、オールウエスト(西軍)6勝となった。

22. 全国中学校体育大会/第38回全国中学校サッカー大会

開催期間：8月19日(日)～24日(金) 開会式8月19日(日) J ヴィレッジ雨天練習場
会場：福島/J ヴィレッジ
決勝：8月24日(金) J ヴィレッジ スタジアム
日章学園中学校 2-0 (1-0) 青森山田中学校
優勝：日章学園中学校 (宮崎)
準優勝：青森山田中学校 (青森)
第3位：雲仙市立国見中学校 (長崎)
ルーテル学院中学校 (熊本)
フェアプレー賞：ルーテル学院中学校 (熊本)

『みちのくの 緑に映える 華になれ!』のスローガンのもと記念すべきJ ヴィレッジ創立10周年に第38回全国中学校サッカー大会が開催された。開会式にはJFAアンバサダーの福田正博氏が激励に訪れ、自らが出場した第11回大会の経験がその後の日本代表への活躍に繋がったエピソードを披露し本大会に出場した中学生にエールを送った。

大会で活躍したのは昨年同様九州勢。ベスト4のうち3校(ルーテル学院中学校、国見中学校、日章学園中学校)が九州の中学校となり、決勝戦は前年度覇者の日章学園中学校と前年ベスト4の青森山田中学校という大会屈指のカードとなった。

決勝戦は立ち上がり互角の戦いながら、運動量に勝る日章学園中学校が試合を優勢に進め、前半にセットプレーから先取点を奪う。後半、青森山田中学校も同点に追いつくべく反撃をするが、固い日章学園中学校のディフェンスを崩せない。すると青森山田中学校ディフェンスのパスミスを見逃さず日章学園中学校FWが反応し、追加点をあげ2-0として試合終了。日章学園中学校(宮崎県)が昨年度に続き優勝を遂げ二連覇を果たした。

23. JFAプレミアカップ 2007

開催期間：5月3日(木・祝)～5日(土・祝)
会場：福島/J ヴィレッジ
決勝：5月5日(土・祝)
東京ヴェルディ1969ジュニアユース
1-2 (前1-1、後0-0 延長前0-0、延長後0-1) ガンバ大阪ジュニアユース
優勝：ガンバ大阪ジュニアユース (関西・大阪)
準優勝：東京ヴェルディ1969ジュニアユース(関東第1・東京)
第3位：大宮アルディージャジュニアユース (関東第2・埼玉)
名古屋グランパスエイトU15 (東海第1・愛知)
フェアプレー賞：東京ヴェルディ1969ジュニアユース
入場者数：400人(決勝)

本大会は中学1・2年生が参加できる唯一の公式戦で、1次リーグは3グループ12チームによるリーグ戦、決勝トーナメントは各グループ1位と各グループ2位のうち成績上位チーム(1チーム)計4チームにて行なった。

前大会から全チームが同時刻に試合を行えるように6ピッチを使用して行い、1次リーグでは各ピッチに於いて多くの保護者や観戦者の見守り中、熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は東京ヴェルディ1969ジュニアユースとガンバ大阪ジュニアユースの対戦となり、前半早々のペナルティキックでヴェルディが先制したものの、前半ロスタイムにガンバが同点に持ち込む接戦となった。後半は互いに譲らず均衡した総力戦となり、延長戦に突入。最終的に延長後半8分に勝ち越し点を決めて接戦を制したのは1次リーグではグループ2位となって決勝トーナメントに進んできたガンバ大阪ジュニアユース。大会初優勝を遂げた。

優勝したガンバ大阪ジュニアユースは、7月にマレーシア/クアラルンプールで行なわれる世界大会「マンチェスター・ユナイテッド プレミアカップ ワールド ファイナルズ」への出場も決定した。

3日間天候に恵まれ、主管の(財)福島県サッカー協会、協賛社の(株)ナイキジャパン様 他

関係者のご協力のもと大会は無事終了した。

24. 第31回全日本少年サッカー大会

開催期間：8月4日(土)～11日(土)

会場：福島/Jヴィレッジ、東京/国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場

決勝：8月11日(土) 国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場

鹿島アントラーズジュニア 0-2(0-0、0-0、0-2、0-0)

東京ヴェルディ1969ジュニア

優勝：東京ヴェルディ1969ジュニア(東京)

準優勝：鹿島アントラーズジュニア(茨城)

第3位：熊本ユナイテッドSC(U-12)(熊本)

横浜F・マリノスプライマリー追浜(神奈川)

フェアプレー賞：熊本ユナイテッドSC(U-12)

敢闘賞：アントラーズジュニア

努力賞：横浜F・マリノスプライマリー追浜

グッドマナー賞：熊本ユナイテッドSC(U-12)

1次ラウンドは6チーム8グループのリーグ戦を行い、上位2チームがトーナメント方式の決勝トーナメントへ進む。このため、1次ラウンドにて各チーム5試合戦い、最終日まで決勝トーナメントへの進出チームが分からない白熱した展開となった。

東京会場にて行なった準決勝・決勝は関東のチームが3チームと、関東勢・クラブチームの活躍が目立った。

決勝は、3年連続3位であった東京ヴェルディ1969ジュニアと鹿島アントラーズジュニアとの対戦となり、東京ヴェルディが8年ぶりの優勝を勝ち取った。

本大会は、大会を通して晴天に恵まれ、また、福島県・東京都サッカー協会役員、ボランティア学生の協力の下、無事終了した。

25. 第62回国民体育大会(サッカー競技)

開催期間：9月30日(日)～10月4日(木)

会場：秋田/にかほ市、秋田市、由利本荘市

(成年男子)

開催期間：9月30日(日)～10月3日(水)

決勝：10月3日(水) 秋田/秋田市 八橋運動公園陸上競技場

新潟県 2-4(1-2) 千葉県

優勝：千葉県

第2位：新潟県

第3位：京都府

第4位：栃木県

(女子)

開催期間：10月1日(月)～4日(木)

決勝：10月4日(木) 秋田/由利本荘市 西目カントリーパークサッカー場

三重県 1-2(0-0) 兵庫県

優勝：兵庫県

準優勝：三重県

第3位：埼玉県

第4位：岡山県

(少年男子)

開催期間：9月30日(日)～10月4日(木)

決勝：10月4日(木) 秋田/にかほ市 仁賀保運動公園多目的広場

東京都 1-0(0-0) 神奈川県

優勝：東京都

- 第 2 位：神奈川県
- 第 3 位：京都府
- 第 4 位：宮崎県
(男女総合成績)
- 第 1 位：京都府
- 第 2 位：兵庫県、千葉県
- 第 4 位：新潟県
- 第 5 位：埼玉県
- 第 6 位：東京都
- 第 7 位：神奈川県、三重県

第 62 回国民体育大会「秋田わか杉国体」が、第 16 回大会(昭和 36 年)以来 46 年ぶりに秋田県にて開催された。

3 種別全てで、1 回戦より延長戦にもつれこむ接戦が展開された。成年男子では、J F L 所属チームの活躍が目立った。また、女子では、昨年開催県である兵庫県が、昨年準決勝にて敗れた三重県を決勝戦にて破り、見事優勝した。

秋田県サッカー協会役員・開催自治体のご尽力により、競技運営・表彰式等、大会全てが滞りなく終了した。

26. 第 14 回全国クラブチームサッカー選手権大会

開催期間：10 月 26 日(金)～10 月 30 日(火)

開催会場：北海道／札幌厚別公園競技場 他

決勝戦：10 月 30 日(火) 11:00 キックオフ 札幌厚別公園競技場
ガンジュ岩手 6-0 (0-0) 六浦フットボールクラブ

優勝：ガンジュ岩手 (東北／岩手)

準優勝：六浦フットボールクラブ (関東／神奈川)

第 3 位：Dandelion (中国／広島)
N. B. U VALENTE 2007 (九州／大分)

第 14 回を迎えた本大会は、降雪時期直前の北海道での開催となった。

期間中ほぼ好天に恵まれ、地元協会と社会人連盟の競技運営もスムーズに実施された。

決勝戦は 4 年ぶり 2 度目の優勝を狙う六浦 FC と初出場のガンジュ岩手との対戦となった。

前半は接戦で両チームとも無得点であった。

後半に入ってガンジュ岩手のペースとなって先制点を挙げ、さらにチャンスを活かして得点を重ね相手チームを引き離し、初優勝を飾った。

27. 第 28 回全国教員サッカー選手権大会

開催期間：8 月 2 日(木)～6 日(月)

開催会場：兵庫／神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 他

決勝戦：8 月 6 日(月) 10:00 キックオフ 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
ブラックペッカー函館 FC 0-2 (0-0,0-0,0-1,0-1) 神奈川県教員サッカークラブ

優勝：神奈川県教員サッカークラブ (神奈川県代表)

準優勝：ブラックペッカー函館 FC (北海道代表)

第 3 位：FC 岐阜教員 (岐阜県代表)
熊本教員蹴友団 (熊本県代表)

フェアプレー賞：神奈川県教員サッカークラブ

台風 5 号の余波で初日は雨天となったが、その後好天に恵まれた。今回は東北がチームを編成することが出来ず、11 チームで開催された。

決勝戦は陽射しが強く暑さ厳しい日となった。初優勝を狙うブラックペッカー函館 FC と 3 度目の優勝を目指す神奈川県教員サッカークラブとの対戦となった。

試合は接戦となり 90 分では点が入らず延長戦にもつれ込んだ、延長前半にチャンスを活かした神奈川が先制点を挙げ、後半にも点を追加し見事優勝を獲得した。

28. 第 17 回全国専門学校サッカー選手権大会

開催期間：10 月 23 日(火)～28 日(日)

開催会場：岡山／桃太郎スタジアム 他

決 勝：10 月 28 日(日) 13:00 キックオフ 桃太郎スタジアム
履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校 2-1(1-0)

日本ウェルネススポーツ専門学校

優 勝：履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校(関西／大阪)

準 優 勝：日本ウェルネススポーツ専門学校 (関東／東京)

第 3 位：甲賀健康医療専門学校 (関西／滋賀)

第 4 位：福岡リゾート&スポーツ専門学校 (九州／福岡)

今年で 17 回目を迎えた全国専門学校サッカー選手権大会が、桃太郎スタジアムで開催された。

決勝戦は、昨年と同じカードとなり、7 年ぶり 2 度目の優勝を目指す日本ウェルネススポーツ専門学校と、2 連覇を狙う履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校との対戦となった。前半 22 分に先制点を履正社学園が挙げ、後半 20 分で点を重ね、後半 36 分に日本ウェルネススポーツが 1 点を返したが、履正社学園が優勝し 2 連覇を果たした。

29. 第 40 回全国高等専門学校サッカー選手権大会

開催期間：8 月 17 日(金)～21 日(火)

会 場：高知／野市ふれあい広場サッカー場 他

決 勝：8 月 21 日(火) 10:00 キックオフ 野市ふれあい広場サッカー場
近畿大学工業高等専門学校 0-2(0-1) 鹿児島工業高等専門学校

優 勝：鹿児島工業高等専門学校 (鹿児島県)

準 優 勝：近畿大学工業高等専門学校 (三重県)

第 3 位：高松工業高等専門学校 (香川県)

函館工業高等専門学校 (北海道)

フェアプレー賞：高松工業高等専門学校 (香川県)

高等専門学校体育連盟では本年度の大会開催を四国地区が担当し、サッカー競技は高知／高知工業高等専門学校が主催校となって運営された。

決勝は 3 年ぶり 20 回目の優勝を目指す鹿児島工業高等専門学校と本大会 4 回目出場で 3 連覇を目指す近畿大学工業高等専門学校との対戦となった。今大会は晴天続きで猛暑にみまわれ、決勝も快晴で酷暑の中での試合となった。前半とも鹿児島工業高等専門学校のペースで、持ち味の組織力を駆使し、近畿大学工業高等専門学校を破り見事優勝を飾った。

30. 平成 19 年度全国高等学校総合体育大会(サッカー競技)

開催期間：7 月 30 日(月)～8 月 5 日(日)

開催会場：佐賀県／鳥栖市、福岡県／春日市・小郡市・久留米市・うきは市

決 勝：市立船橋高校 4-1(2-1) 星稜高校

優 勝：市立船橋高校 (千葉県)

準 優 勝：星稜高校 (石川県)

第 3 位：流通経済大学付属柏高校(千葉県)、神村学園高等部(鹿児島県)

フェアプレー賞：該当無し

平成 19 年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技は、佐賀県及び福岡県にて行われた。昨年優勝した広島観音高校が 2 回戦で早々に姿を消すなどの波乱もあったが、実力伯仲の

なか、ベスト4には市立船橋高校、神村学園高等部、星稜高校、流通経済大学附属柏高校が残った。その中から前評判の高かった市立船橋高校と逆転で接戦を制した星稜高校が決勝戦へコマを進めた。

決勝戦は17時キックオフで鳥栖スタジアムにて行われた。

市立船橋高校は3年ぶりの決勝戦進出、一方の星稜高校は初めての全国大会での決勝戦進出であった。前半早々に星稜高校が先制したものの、徐々に市立船橋高校が試合の主導権を握り12分には同点に追いつき更に29分に逆転に成功し前半を2-1で終える。後半に入り、星稜高校も同点に追いつくべく猛攻を仕掛けるが、前がかりになったところを逆に62分、69分と追加点を奪われ4-1でタイムアップ。

結果、市立船橋高校が6年ぶりの全国制覇を達成した。

31. Jユースサハラカップ2007 第15回Jリーグユース選手権大会

予選リーグ

開催日時：7月1日(日)～11月18日(日)

会場：主に各クラブのホームタウン内競技場・練習場等

決勝トーナメント

1回戦：12月2日(日) 市原臨海競技場

2回戦：12月8日(土) 江戸川区陸上競技場、NACK5スタジアム大宮、
大分スポーツ公園総合競技場サッカーラグビー場Bコート
12月9日(日) 横浜市三ツ沢公園球技場、トヨタスポーツセンター、
日立柏サッカー場、ヴェルディグラウンド、
南津守さくら公園スポーツ広場

12月9日(日) 横浜 F・マリノス MM21 トレーニングセンター、
名古屋市瑞穂陸上競技場、日立柏サッカー場、
ヴェルディグラウンド
大分スポーツ公園総合競技場サッカーラグビー場、
南津守さくら公園スポーツ広場

準々決勝：12月16日(日) フクダ電子アリーナ、万博記念競技場

準決勝：12月22日(土) 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

決勝：12月24日(月・祝) 大阪長居スタジアム

決勝：FC東京U-18 2-1(1-0) 柏レイソルU-18

優勝：FC東京U-18 (東京)

準優勝：柏レイソルU-18 (千葉)

第3位：ガンバ大阪ユース(大阪)、大宮アルディージャユース(埼玉)

入場者数：1,593人

Jユースサハラカップ2007 第15回Jリーグユース選手権大会は、予選リーグでJ1、J2の31クラブを7グループに分け、各グループ内でホーム&アウェイ方式による2回戦総当りリーグ戦を行なった。

決勝トーナメントは、予選リーグを勝ち抜いたJリーグ下部組織の14チームに、日本クラブユースサッカー連盟代表の4チームをあわせた18チームが出場した。

決勝は大阪長居スタジアムで開催され、柏レイソルU-18とFC東京U-18の対戦となった。FC東京の岡田翔平が40分に均衡を破ると、61分にも追加点を挙げ、昨年準優勝の雪辱を晴らしたFC東京U-18が本大会初優勝を飾った。

32. 第7回全国シニア(60歳以上)サッカー大会

開催期間：5月19日(土)～20日(日)

会場：三木総合防災公園(陸上競技場・第2陸上競技場、球技場①、球技場②)

今年で7回目を迎える全国シニア(60歳以上)サッカー大会と今年試験的に実施すること

となった70歳以上のサッカーフェスティバルが兵庫／三木市の三木総合防災公園にて5/19、20の週末で開催された。

全国各地から選出された24チーム(60歳以上が16チーム、70歳以上が8チーム)が2日間にわたり熱戦を繰り広げた。大会としての優勝チームは決めないものの、第7回全国シニア(60歳以上)サッカー大会の方はリーグ戦を4つのブロックに分けて行い、茨城シニア60、四日市フットボールクラブ、えひめ四十雀フットボールクラブ、埼玉シニア60がそれぞれのブロックで1位となった。(シニア(70歳以上)サッカーフェスティバルの方は順位を決めなかった。)

天候にも恵まれ、(社)兵庫県サッカー協会と北播サッカー協会、また飲料を提供していただいた大塚製薬のご協力のもと、大きな怪我や事故等なく無事に大会は終了した。

33. 第6回全国シニア(50歳以上)サッカー大会

開催期間：6月28日(金)7月1日(日)

開催地：長野／松本市 松本平広域公園総合球技場アルウィン
芝生グラウンド・陸上競技場・球技場

決勝：7月1日(日) 12:30キックオフ

十和田キッカーズシニア 1-6(0-4) 兵庫県シニア選抜(50)

観客数：100名

優勝：兵庫県シニア選抜(50) (関西地域 代表／兵庫)

準優勝：十和田キッカーズシニア (東北地域 第1代表／青森)

第3位：福岡・三宅・D・シニア (九州地域 第1代表／福岡)

室蘭シニアサッカークラブ (北海道地域 代表)

全国シニア(50歳以上)サッカー大会は今年で6回を数え、先にキリンカップを開催した松本平広域公園総合球技場アルウィンをメイン会場として開催した。

各地域の激戦を勝ち抜いてきた強豪16チームだけあってか、1次リーグから白熱した戦いを繰りひろげた。

決勝戦は、どちらも準決勝を1点差という接戦で勝ち抜いた十和田キッカーズシニアと兵庫県シニア選抜(50)の戦いとなり、最後までチーム力が落ちなかった兵庫県シニア選抜(50)が見事優勝を成し遂げた。

梅雨の中、天候に恵まれ、また、主管である(社)長野県サッカー協会の素晴らしい運営により、ケガ人もなく無事大会が終了した。

34. 日本スポーツマスターズ2007(サッカー競技)

開催期間：9月14日(金)～9月18日(火)

開催会場：滋賀／野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)他

決勝戦：9月18日(火) 13:00キックオフ ビッグレイク

FCプリメーロ福島レジェンド 2-1(1-0) 鹿児島SFC

優勝：FCプリメーロ福島レジェンド (福島県代表)

準優勝：鹿児島SFC (鹿児島県代表)

第3位：西湘wings.FC (神奈川県代表)

静岡県シニア選抜 (静岡県代表)

今回で7回目を迎える「日本スポーツマスターズ2007びわこ大会 サッカー競技」は、好天に恵まれ連日30度を越す暑さの中、熱中症を発症させることなく無事終了した。

本大会のシンボルメンバーである北澤 豪氏のサッカー教室には小学校4年生以下180名が参加し会を盛り上げた。

40歳以上のシニア年代とはいえ競技性を重視した大会のため、熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は共に初優勝を目指すFCプリメーロ福島レジェンドと鹿児島SFCの対戦となった。

前半17分に、福島がコーナーキックから先制点を挙げた。後半開始7分後、鹿児島がフ

リーキックから得点し追いついたが、終了3分前に福島が点を重ね見事初優勝を飾った。

35. 第20回全国スポーツ・レクリエーション祭 壮年サッカー

開催期間：10月22日(土)～25日(火)

開催会場：青森／青森市スポーツ広場

決勝：各グループリーグのみ実施(同位の場合は抽選)

結果：優勝：韓国チーム、埼玉シニアFC、十和田キッカーズシニア、駿府フットボールクラブ、宮崎県選抜、小田原シーガルズ五十雀、今治四十雀FC、愛知県選抜

スポレクあおもり2007壮年サッカー大会は、「熱くなれ みんな輪になれ りんごの国で」のスローガンのもと日韓スポーツ交流事業で来日した韓国チームを含め、全国各地から46チームが参加し熱戦が繰り広げられた。会場は青森市会場・弘前市会場に分かれて開催された。好天に恵まれ、青森市会場は八甲田山、弘前市会場は岩木山のそれぞれの山麓にあり景観も素晴らしく、チーム間・大会ボランティアとの交流も盛んに行われた。

36. PUMA CUP2008 第13回全日本フットサル選手権大会

開催期間：2008年2月29日(金)～3月9日(日)

開催会場：1次ラウンド 兵庫／ワールド記念ホール

高知／春野体育館

決勝：3月9日(日) 東京／国立代々木第一体育館

名古屋オーシャンズ 3-4 (1-1, 2-2, 0-1, 0-0) バルドラール浦安

入場者数：2,210人

優勝：バルドラール浦安 (千葉県)

準決勝：名古屋オーシャンズ (愛知県)

第3位：シュライカー大阪 (大阪府)

フェアプレー賞：該当なし

本大会は今年よりFリーグがスタートした事により、昨年よりチーム数が4チーム、また1次ラウンドの開催会場を兵庫と高知の2会場にて開催した。大会期間も昨年より2日長くなった。

決勝戦は、Fリーグ優勝の名古屋オーシャンズ対準優勝のバルドラール浦安の対戦となった。名古屋はリーグとの連覇、浦安はリーグのリベンジをめざし、非常に良いゲームとなった。前後半で決着がつかず、延長戦に突入し、延長前半に1点をもぎ取ったバルドラール浦安が守りきり、見事リーグ戦の雪辱を果たし優勝した。

37. 日本フットサルリーグ(Fリーグ)2007

開催期間：9月23日(日)～2008年2月17日(日)

開催会場：セントラル：東京／国立代々木競技場第一体育館

長野／ホワイトリング

福岡／北九州市立総合体育館

ホーム&アウェイ：全国各地

順位：1位 名古屋オーシャンズ 勝点 53点

2位 バルドラール浦安 勝点 47点

3位 デウソン神戸 勝点 34点

4位 ペスカドーラ町田 勝点 31点

5位 湘南ベルマーレ 勝点 25点

6位 バサジィ大分 勝点 20点

7位 シュライカー大阪 勝点 19点

8位 ステラミーゴいわて花巻 勝点 11点

入場者数：総入場者数 156,841名 (1試合平均 1,867名)

ホーム開催 81,998名 (1試合平均 1,464名)

セントラル開催 74,843名 (1試合平均 2,673名)
 最優秀選手賞：森岡 薫 (名古屋オーシャンズ/F P)
 ベストファイブ：川原 永光 (バルドラール浦安/G K)
 横江 怜 (ペスカドーラ町田/F P)
 ボラ (名古屋オーシャンズ/F P)
 森岡 薫 (名古屋オーシャンズ/F P)
 原田 浩平 (デウソン神戸/F P)
 得点王： 横江 怜 (ペスカドーラ町田/F P)
 優秀審判賞： 潟永 達治
 フェアプレー賞： 湘南ベルマーレ

これまで、全国9地域の地域リーグが事実上のトップリーグとなっていたフットサルに、初の全国リーグ・日本フットサルリーグ(愛称：Fリーグ)が新設され、2007年9月23日に開幕を迎えた。リーグ創設元年となった本年度は、全国から8チームが参加し、3回戦総当り(うち1回戦はセントラル開催)で、全21節84試合のリーグ戦を行った。

シーズン前半は、バルドラール浦安が首位を快走し、2位の名古屋オーシャンズに最大で勝点5の差をつけた。3位には唯一のJクラブ傘下チームである湘南ベルマーレが続いた。

シーズン中盤、長野、北九州で相次いで行われた第12節～第15節のセントラル開催で、上位の順位が変動した。勝点が伸びないバルドラール浦安は、第13節で名古屋オーシャンズに首位の座を明け渡すと、第15節の直接対決でも4-1と敗れ後退。また3位を守っていた湘南ベルマーレは、第15節にデウソン神戸にその座を譲った。

その後シーズン後半に入ると、名古屋オーシャンズは他を寄せつけず独走、2試合を残して優勝を決めた。最後まで白熱した3位争いは、最終節の直接対決で、デウソン神戸がペスカドーラ町田を退け、3位入賞を果たした。

開幕前に目標に掲げていた総入場者数15万人は最終節で達成。初年度のうちに目標の数字に達したことで、Fリーグは成功裡にスタートをすることができた。

38. 全日本大学フットサル大会 2007

開催期間：8月10日(金)～12日(日)
 開催会場：大阪／大阪市中央体育館
 決 勝：同志社大学フットサル部 2-3 (1-2) 流通経済大学サッカー部
 優 勝：流通経済大学サッカー部 (関東地域第3代表／茨城県)
 準 優 勝：同志社大学フットサル部 (関西地域第2代表／京都府)
 第 3 位：札幌大学サッカー部 (北海道地域代表)
 神戸大学フットサル部 FORÇA (関西地域第3代表)

本大会は昨年度までチームを募集し、西日本・東日本の2大会を行っていたが、本年度より地域予選を行い、開催会場も1会場として全国大会を再スタートさせた。

各地域より16チームが出場し、1グループ4チームの4グループにて1次ラウンドを行い、各グループの1位の4チームにて決勝トーナメントを行った。

決勝戦は同志社大学フットサル部と流通経済大学サッカー部の対戦となった。両チームとも点を取っては取り返すという白熱した試合展開となったが、流通経済大学サッカー部が見事初優勝を果たした。

優勝した流通経済大学サッカー部は来年2月に開催される全日本選手権への出場権を獲得した。

39. 第13回全日本ユース(U-15)フットサル大会

開催期間：2008年1月12日(金)～14日(月・祝)
 開催会場：福岡／北九州市立総合体育館
 決 勝：1月14日(月・祝)
 スプレッド・イーグルFC函館 4-3 (2-0, 2-3) 大分トリニータU-15

優勝：スプレッド・イーグルFC函館(北海道)
準優勝：大分トリニータU-15 (大分)
第3位：JUVEN .F.C U-15 (岐阜)
レザーFS Jr. ユース (新潟)
フェアプレー賞：大分トリニータU-15(大分県)

昨年まで10年間大阪にて開催していたが、今年度初めて北九州にて開催した。

準決勝に残った4チームは、実力も拮抗し、面白いゲーム展開となった。

決勝戦は、昨年3位の大分トリニータとスプレッドイーグルFC函館という、対戦となった。前半は函館がリードしていたが、後半に入ると大分が立て続けに得点をし逆転したが、最後は函館が再逆転の後、見事初優勝を飾った。

40. バーモントカップ第17回全日本少年フットサル大会

開催期間：2008年1月4日(金)～6日(日)

開催会場：東京/駒沢体育館

決勝：1月6日(日) 東京/駒沢体育館

東京ヴェルディ1969ジュニア 6-6(3-3,2-2,0-1,1-0) 津ラピドFC

優勝：東京ヴェルディ1969ジュニア(東京都)

準優勝：津ラピドFC(三重県)

第3位：アンフィニMAKI.FC U-12 (北海道)

めぐり西町フットボールクラブ(長崎県)

フェアプレー賞：アンフィニMAKI.FC U-12(北海道)

本年度も全国48チームの代表により本大会が開催された。年々フットサルのレベルが非常に上がってきていることを実感した。

今年も2日目の試合終了後に元フットサル日本代表監督マリーニョ氏、元日本代表小倉隆史氏、フットサル日本代表金山友紀氏によるエキジビションが行なわれ、非常に盛況であった。

決勝戦は、東京ヴェルディ1969ジュニア対津ラピドFCの対戦となった。両チームとも非常に技術力があり、白熱した試合展開となった。両チームとも一歩も譲らず延長戦に突入したが決着がつかず、PK戦までもつれ込み、東京ヴェルディ1969ジュニアが見事優勝した。

41. ティファール・カップ2007 第4回全日本女子フットサル選手権大会

開催期間：11月2日(金)～4日(日)

会場：東京/駒沢体育館

決勝：11月4日(日) 14:30キックオフ

Baldral URAYASU Futbol Sala Las Bonitas 1-3(1-1) FUN Ladies

優勝：FUN Ladies(関東地域第2代表/東京都)

準優勝：Baldral URAYASU Futbol Sala Las Bonitas(関東地域第1代表/千葉県)

第3位：うー魚(関東地域第3代表/東京都)

第4位：室蘭大谷高等学校(北海道地域代表/北海道)

フェアプレー賞：FUN Ladies(関東地域第2代表/東京都)

今年度の大会は、本大会に出場するチームの主力選手が、マカオで行われたインドアゲームズのフットサル女子日本代表のメンバーとして選ばれたため、本大会常連のチームは主力を欠く形での参加となった。

年々女子フットサルの技術力は高まっており、どの試合も非常によいゲームであった。

また、決勝戦は前半1-1と白熱した試合展開となり、息の詰まる接戦となったが、後半2点を追加したFUN Ladiesが、Baldral URAYASU Futbol Sala Las Bonitasに得点を許さず、見事大会3連覇を果たした。

42. 第29回全日本女子サッカー選手権大会

開催日時：12月2日(日)～2008年1月1日(火・祝)
会場：東京/国立競技場 他
決勝：1月1日(火) 10:30 キックオフ 国立競技場
TASAKIペルーレFC 0-2 (0-1) 日テレ・ベレーザ
優勝：日テレ・ベレーザ (ディビジョン1・1位/東京)
準優勝：TASAKIペルーレFC (ディビジョン1・2位/兵庫)
第3位：浦和レッドダイヤモンズレディース (ディビジョン1・3位/埼玉)
INACレオネッサ (ディビジョン1・4位/兵庫)
フェアプレー賞：浦和レッドダイヤモンズレディース
入場者数：11,725人

今回はチーム数が24チームから32チームに拡大して2回目となり、決勝戦を天皇杯決勝戦前に実施することになってから4度目の開催となった。

今回から1・2回戦は地域代表チームとなでしこリーグディビジョン2のチームを合わせて組合せ抽選会を実施し、3回戦よりディビジョン1をシードして2回戦勝ち上がりチームと対戦する形式となった。

決勝戦は、好天に恵まれ暖かく絶好のサッカー日和。2007なでしこリーグ(D1)1位の日テレ・ベレーザと2位のTASAKIペルーレFCとの対戦となった。

前半32分にチャンスを活かして日テレ・ベレーザが先制、勢いを継続した後半86分にも得点を重ねて日テレ・ベレーザは2年ぶり8度目の優勝を飾った。

43. モックなでしこリーグ 2007 ディビジョン1

競技期間：4月28日(土)～12月9日(日)
会場：全国各地
順位：優勝 日テレ・ベレーザ
準優勝 TASAKIペルーレFC
第3位 浦和レッドダイヤモンズレディース
第4位 INACレオネッサ
第5位 岡山湯郷Belle
第6位 アルビレックス新潟レディース
第7位 伊賀フットボールクラブくノ一
第8位 大原学園JASRA女子サッカークラブ
入場者数：77,469人

「モックなでしこリーグ 2007」ディビジョン1は4月28日、ディビジョン2は4月29日にそれぞれ開幕した。

ディビジョン1は8チームによる3回戦総当りリーグ戦を行った。

7月の中断前まではTASAKIが11連勝し2位に勝点8点差をつけ首位に立った。

中断後にTASAKIは、浦和戦で引分けが続き、ベレーザ戦で6-0と大敗を喫すると、第16節にはベレーザが同勝点ながら首位に躍り出てそのまま優勝した。

ベレーザは3年連続の女王となるとともに、スーパーカップ、リーグカップと今季リーグ3冠を達成した。

44. モックなでしこリーグ 2007 ディビジョン2

競技期間：4月29日(日)～11月18日(日)
会場：全国各地
順位：優勝 東京電力女子サッカー部マリーゼ
準優勝 ジェフユナイテッド市原・千葉レディース

- 第3位 福岡J・アンクラス
- 第4位 スペランツァF.C.高槻
- 第5位 ASエルフェン狭山FC
- 第6位 バニーズ京都サッカークラブ
- 第7位 清水第八プレアデス
- 第8位 ルネサンス熊本フットボールクラブ

入場者数：44,781人

ディビジョン2の優勝争いはマリーゼが早い時期で独走、2位以下を寄せ付けず優勝を決め1年でディビジョン1に返り咲いた。2位・市原千葉は伊賀FCとの入替戦に破れ昇格できなかった。

45. モックなでしこリーグ 2007 ディビジョン1・2入れ替え戦

開催日時：12月15日(土)

会場：東京/多摩市立陸上競技場

結果：伊賀フットボールクラブくノ一(ディビジョン1-7位)

2-2(前半2-1/後半0-1/延長0-0) PK 5-4

ジェフユナイテッド市原・千葉レディース(ディビジョン2-2位)

入場者数：559人

ディビジョン1-7位の伊賀FCとディビジョン2-2位の市原千葉が来シーズンのディビジョン1の座をかけて対決した。

試合は伊賀FCが先行し、市原千葉が追いつくという展開。90分を終了し2-2の同点、延長戦に入ったが試合は決せずPK戦となり、5-4で伊賀FCが勝利、ディビジョン1残留が決定した。

すでにディビジョン1-8位となった大原学園 JaSRA 女子サッカークラブが降格、ディビジョン2-1位の東京電力女子サッカー部マリーゼが昇格を決めている。

45. なでしこスーパーカップ 2007

開催日時：4月22日(日) 13:00キックオフ

会場：東京/駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

対戦：日テレ・ベレーザ 2-0(2-0) TASAKIペルーレFC

入場者数：2,016人

3回目となる「なでしこスーパーカップ」は前回と同じカード、日テレ・ベレーザ(2006年リーグ優勝)対TASAKIペルーレFC(第28回全日本女子サッカー選手権大会優勝)の対戦となった。

試合はベレーザが9分に伊藤が得点し先制、17分には澤が追加点をあげそのまま2-0で勝利。昨年の雪辱を果たした。

今回は試合前に「サッカースクール」を開き、年長から小学6年生の少女100人が参加した。

46. なでしこリーグ オールスター2007

開催日時：8月19日(日) 15:00キックオフ

会場：東京/西が丘サッカー場

対戦：なでしこEAST 3-3(1-2) なでしこWEST

個人賞：JAL・MVP賞 宮間 あや(WEST/湯郷ベル)

入場者数：3,648人

昨年に引き続き2回目となったオールスター戦は、会場を西が丘サッカー場に移しての開

催となった。今年は東京都北区の後援により、サッカー場東側駐車場において「なでしこ縁日」を開催した。北区商店街からの16店舗とチームPRブースまた後援である読売新聞社のブースが集まり、夏祭りの雰囲気で開催された。15時からサッカー教室も行なわれた。

試合は8分にWEST・鈴木(TASAKI)がヘディングシュートを決め先制、28分にはEAST・柳田(浦和)が同点とするが、その2分後にWESTが追加点を決めて前半が終了した。後半、さらに試合は動き、開始直後の47分にEASTが同点、64分に阪口(TASAKI)が得点しWESTが逃げ切ろうとするが、2分後にEAST荒川(ベレーザ)が同点とし、結局3-3の引き分けとなった。

魅力的な得点シーン、そしてリーグ戦と同じ真剣勝負を選手たちが披露し観客を楽しませた。

47. なでしこリーグカップ 2007

開催期間：9月2日(日)～24日(月・祝)

会場：全国各地

決勝：9月24日(月・祝) 13:00キックオフ 埼玉スタジアム 2002
日テレ・ベレーザ 2-1 (1-0) 浦和レッドダイヤモンズレディース

優勝：日テレ・ベレーザ

準優勝：浦和レッドダイヤモンズレディース

第3位：INACレオネッサ

東京電力女子サッカー部マリーゼ

入場者数：2,813人

「なでしこジャパン」がFIFA女子ワールドカップ中国2007に出場している期間、ディビジョン1・2の全16チームが参加し「なでしこリーグカップ2007」が開催された。

予選ラウンドは、各グループにおいてディビジョン1の上位チームが勝ち抜いたが、Cグループにおいて東京電力女子サッカー部マリーゼが健闘し、ディビジョン2では唯一決勝ラウンドへコマを進めた。

決勝ラウンドは、なでしこジャパンの選手も加わり、日テレ・ベレーザが優勝し、スーパーカップに続く今季2冠目を手にした。

48. 第16回全日本大学女子サッカー選手権大会

開催日時：12月24日(月)～2008年1月13日(日)

会場：東京/国立競技場 他

決勝：1月13日(日) 11:30キックオフ 国立競技場
大阪体育大学 1-3 (0-1) 日本体育大学

優勝：日本体育大学 (関東2・神奈川)

準優勝：大阪体育大学 (関西1・大阪)

第3位：早稲田大学 (関東1・東京)

武蔵丘短期大学 (プレーオフ・埼玉)

フェアプレー賞：早稲田大学(関東1・東京)

入場者数：4,376人

平成17年度より1次ラウンドを神戸で12月に行い、準決勝を1月11日に駒沢陸上競技場、決勝戦を13日第56回全日本大学選手権大会決勝と同日同会場の国立競技場で、開催された。

準決勝は、大阪体育大学と武蔵丘短期大学、日本体育大学と早稲田大学との対戦でそれぞれ接戦であった。

決勝戦は、昨年と同じカードの連覇を目指す大阪体育大学と決勝戦常連の日本体育大学との対戦となった。前半19分日体大が相手のクリアからシュートを決め先制点を挙げた。後半72分再度相手クリアから得点し、88分更に点を重ねた。日体大もその1分後89分に得点したが、日本体育大学は3年ぶり12度目の優勝を飾った。

表彰式は男子と合同で実施した。

49. 第16回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

開催期間：7月28日(土)～8月5日(日)
会場：静岡／スポーツ交流の里ゆめりあ、ヤマハスタジアム 他
決勝：8月5日(日) 10:00 キックオフ ヤマハスタジアム
鳳凰高等学校 3-1 (0-1) 神村学園高等部
優勝：鳳凰高等学校 (九州／鹿児島県)
準優勝：神村学園高等部 (九州／鹿児島県)
第3位：聖和学園高等学校(東北／宮城県)、常盤木学園高校(東北／宮城県)
フェアプレー賞：鳳凰高等学校
入場者数：1,150人

磐田市での開催が4年目となり、総務省からスポーツ拠点作り開催地として認可されて3回目を迎え、参加チーム数を16から24チームへと拡大して2回目となった。

大会期間中、台風5号の余波で1日のみ雨天となったが、その他は好天による暑さに加え各試合も白熱した内容となった。

熱中症対策として2日おきに休息日を設けたので、熱中症にかかった選手を昨年と比べ減少させる事が出来た。

準決勝は、2試合とも九州対東北との試合となり、両地域のレベルの高さを伺わせた。

決勝戦は、初めて鹿児島県同士となり、4年ぶり2度目の優勝を目指す鳳凰高等学校と、2年ぶり3度目の優勝を狙う神村学園高等部の対戦となった。

前半18分先制点を挙げた神村学園であったが、後半に入ると鳳凰高等学校のペースとなり38分、43分、48分と5分おきに点を重ね、見事優勝を飾った。

50. JOCジュニアオリンピックカップ 第11回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会

開催日時：2008年1月3日(木)～8日(火)
会場：兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場 他
決勝：1月8日(火) 12:00 キックオフ 兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場
常盤木学園高等学校 2-1 (0-1) 日テレ・メニーナ
優勝：常盤木学園高等学校 (東北1・宮城)
準優勝：日テレ・メニーナ (関東1・東京)
第3位：浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース (関東2・埼玉)
神村学園高等部 (高校2位・鹿児島)
フェアプレー賞：日テレ・メニーナ (関東1・東京)
入場者数：100人

国体の後年開催として本年度は兵庫／三木市で実施された。

平成17年度から単独チームの大会となり、都道府県予選の参加選手数は昨年よりも325名増えて6,538名が参加した。

準決勝は、日テレ対神村、常盤木対浦和となり、両試合とも接戦であった。

決勝戦は、2年前と同じカードの常盤木対日テレとなった。日テレが前半に先制点をあげたが、後半71分に常盤木が追いつき、79分に得点を重ね、常盤木学園高等学校が2年連続2度目の優勝を飾った。

51. 第12回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

開催日時：8月24日(金)～29日(水)
会場：福島／Jヴィレッジ
決勝：8月29日(水) 10:00 キックオフ
神村学園中等部 2-0 (1-0) 鳴門ポラリスレディースフットボールクラブ

優勝：神村学園中等部 (鹿児島県代表)
準優勝：鳴門ポラリスレディースフットボールクラブ(徳島県代表)
第3位：常葉学園橘中学校 (静岡県代表)
大和シルフィード'98 (神奈川県代表)
フェアプレー賞：鳴門ポラリスレディースフットボールクラブ
入場者数：113人

単独チームのみが参加できる大会に変更して3回目となる。大会期間中好天に恵まれ接戦が繰り広げられた。

決勝戦は3連覇を目指し鹿児島県選抜の時も含め7年連続決勝戦進出の、神村学園中等部と四国代表の鳴門ポラリスレディースフットボールクラブとの対戦となった。

決勝戦初進出の鳴門ポラリスの攻撃は、神村学園の堅守に阻まれ得点まで至らなかった。神村学園は前半6分に先制点を挙げ、後半で点を重ね3連覇を達成した。

52. 第19回全国レディースサッカー大会

開催日時：11月16日(金)～18日(日)
会場：福島/Jヴィレッジ 他
決勝：11月18日(日) Jステップ
LFC TOYOTA 2-0 (1-0) 東京アルテミスSC
優勝：LFC TOYOTA (愛知)
準優勝：東京アルテミスSC (東京)
第3位：USED FC高槻スペランツァ(大阪)
フェアプレー賞：東京アルテミスSC
MVP：濱野 美奈子(LFC TOYOTA)
入場者数：150人

従来のママさん大会から現在の形式に変わって4回目となり、それぞれ16チームが参加して開催された。レディース大会は元日本代表選手や元Lリーガーが参加し、年々チームのレベルが向上して競技性が高くなっている。

レディース大会の決勝戦は、昨年優勝の愛知FCがチーム名を変えたLFC TOYOTAと東京アルテミスSCの対戦となった。前半TOYOTAが先制し、後半もTOYOTAのペースで追加点を取り、2連覇を達成した。

53. 第19回全国レディースサッカー大会 レディース・エイト(45歳以上)オープン大会

開催日時：11月17日(金)～19日(日)
会場：静岡/Jステップ 他
決勝：11月18日(日)
FC習志野SPARROWS 2-1 (1-0,0-1,1-0,0-0) チーム・羽衣
優勝：FC習志野SPARROWS(千葉)
準優勝：チーム・羽衣(静岡)
第3位：刈谷マドレー(愛知)
フェアプレー賞：FC習志野SPARROWS
入場者数：100人

レディースエイト大会は和やかに行われ、選手達も心地よい汗を流していた。

54. 全国ビーチサッカー大会 2007

開催期間：10月20日(土)～21日(日)
開催会場：沖縄県宜野湾市/トロピカルビーチ
決勝：レキオスFC 2 (1-1、0-0) 1 ソーマプライア

優 勝：レキオスFC (九州地域第1代表/沖縄県)
準 優 勝：ソーマプライア (開催地代表/沖縄県)
第 3 位：エスペランサ熊本 (九州地域第2代表/佐賀県)
Scorpion's (九州地域第4代表/福岡県)

本年が第2回目の大会となり、沖縄県宜野湾市にて大会が開催された。

大会前日より強風に見舞われ、大会初日も風速12mを越える風の中、8地域12チームより熱戦が繰り広げられた。

決勝戦では昨年度と同一カードとなり、連覇を狙うレキオスFCと昨年のリベンジを狙うソーマプライアの対戦となった。日本一を決める試合として白熱した試合展開となり、第1ピリオドを1-1、第2ピリオドを0-0と双方譲らず、第3ピリオドに入ってソーマプライアの猛攻となったものの終了間際にレキオスFCが得点し、レキオスFCが連覇した。

2 国内競技会（後援）

1. 第37回全国自治体職員サッカー選手権大会

開催期間：7月27日(金)～8月2日(木)
開催会場：山形県総合運動公園陸上競技場 他
決勝戦：8月2日(木) 10:00 キックオフ 山形県総合運動公園陸上競技場
藤枝市役所 1-0 (0-0,0-0,0-0,0-0,1-0,0-0) 東京消防庁
優勝：藤枝市役所（静岡県代表）
準優勝：東京消防庁（東京都代表）
第3位：宇部市役所（山口県代表）、所沢市役所（埼玉県代表）

今回は山形市・天童市にて開催された。大会期間中は連日涼しい中で実施できたが、決勝戦当日は猛暑の中での熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は、昨年準優勝に甘んじ、リベンジを狙う東京消防庁と23回優勝経験のある藤枝市役所との強豪同士の対戦となった。

前半は東京消防庁が優勢な展開をし、シュートがバーに当たり得点にならなかった。

両チームとも何度かのチャンスがあるももの得点はできず、再延長の前半に先制点を挙げた藤枝市役所が24回目の優勝を飾った。

来年度は、出雲市の開催となる。

2. 第41回全国自衛隊サッカー大会

開催日時：4月22日(日)～5月3日(木)
会場：西が丘サッカー場 他
決勝：5月3日(木) 13:00 キックオフ 西が丘サッカー場
海自厚木マーカス 0-0 (0-0,0-0,0-0,0-0,PK6-5) 空自FC. 3DEP
優勝：海自厚木マーカス (関東/神奈川)
第2位：空自FC. 3DEP (関東/埼玉)
第3位：海自岩国 (中国/山口)
空自AZZULA MATSUSHIMA F.C (東北/宮城)
入場者数：200人

海上自衛隊厚木基地マーカスが12連覇を達成した。

大会期間中、関東リーグの試合もこなしつつ決勝戦までコマをすすめた。

決勝戦は39回大会と同じカードとなった。空自FC. 3DEPとの試合は接戦となった。

両チームのGKの活躍が目立った。PK戦までもつれ込み、マーカスが勝利を収めた。

3. 第23回全国選抜フットサル大会

開催期間：7月13日(金)～15日(日)
会場：鹿児島/鹿児島アリーナ
決勝：7月15日(日)
静岡県選抜 2-2(2-1)、PK4-1 北海道選抜
優勝：静岡県選抜
準優勝：北海道選抜
第3位：山形県選抜、東京都選抜
入場者数：486人

本年度より、日本フットサル連盟主催の大会は各地での輪番制での開催となり、鹿児島/鹿児島アリーナで行われた。

本大会の出場資格として、Fリーグ所属選手は出場できないことから、各都府県で若手選

手の登用も見られ、フットサル界の活性化にもつながった。

期間中、折りしも台風の接近により、開催には細心の注意を払ったが、事なきを得た。

(社)鹿児島県サッカー協会、鹿児島県フットサル連盟のご協力により、大会は成功裡に終わった。

4. 第8回FUTSAL地域チャンピオンズリーグ

開催期間：2008年3月14日(金)～16日(日)

会場：愛知／豊田市総合体育館(スカイホール豊田)

決勝：3月16日(日)

D.C Asahikawa Futsal Club 5-2(2-2) JOY FUTSAL CLUB/KIMURA SPORTS

優勝：D.C Asahikawa Futsal Club (北海道1位)

準優勝：JOY FUTSAL CLUB/KIMURA SPORTS (関西1位／滋賀)

第3位：FUGA MEGURO (関東1位／東京)、SHARKS (関東2位／東京)

最優秀選手：菅原 和紀 (D.C Asahikawa Futsal Club)

得点王：大谷 純一 (JOY FUTSAL CLUB/KIMURA SPORTS)

第8回を迎えたFUTSAL地域チャンピオンズリーグが、3日間にわたり愛知／豊田市総合体育館で開催された。今までの開催地東京都から離れ、本年度は東海地域での開催となった。Fリーグの影響もあり、白熱した1点を争う試合が多く見られ、選手一人一人の技術や意識が今までよりもはるかに高くなっているのが見受けられた。

決勝戦は、北海道リーグ1位の代表D.C Asahikawa Futsal Clubが、関西リーグ1位(初出場)のJOY FUTSAL CLUB/KIMURA SPORTSとの決勝戦となったが、先制点をD.C Asahikawa Futsal Clubが取り、すぐさまJOY FUTSAL CLUB/KIMURA SPORTSが取り返すなど点の取り合いになった前半が終了した。後半残り5分から着実に得点を重ねたD.C Asahikawa Futsal Clubが勝利し、2年ぶり2度目の優勝を飾った。

5. 第20回全国健康福祉祭 サッカー交流大会(ねんりんピックいばらき2007)

開催期間：11月10日(土)～11月12日(火)

会場：茨城／ひたちなか市総合運動公園 他

競技形式：グループリーグのみ実施

優勝：茨城県ばら、札幌市、大阪市、愛媛県、静岡県、兵庫県、秋田県、さいたま市、愛知県、広島市、栃木県、静岡市、高知県

第20回を迎えた本大会は52チーム参加のもと、茨城県ひたちなか市で開催された。

初日は雨であったが天候は回復し、(財)茨城県サッカー協会の競技運営もスムーズに実施された。

60歳以上の選手が参加する本大会は、期間中ピッチの内外で積極的に交流が図られ、各チームとも親睦が深まり充実した大会となった。今回の最高齢者は86歳の選手の参加があった。

6. 第17回全国高等学校定時制通信制サッカー大会

開催期間：8月10日(金)～14日(火)

会場：清水ナショナルトレセン, 蛇塚グラウンド, 中島人工芝グラウンド
日本平運動公園球技場, 清水総合グラウンド

決勝：8月14日(火) 日本平運動公園球技場

大宮中央高等学校 1-2(1-2) 北豊島高等学校

優勝：北豊島高等学校 (東京)

準優勝：大宮中央高等学校 (埼玉)

第3位：科学技術学園高等学校刈谷 (愛知)

博多青松高等学校 (福岡)

最優秀選手：南 大喜（北豊島）

今年度も静岡市清水総合グラウンドを中心に大会は行われ、決勝は日本平運動公園球技場を使用し、全て天然芝のグラウンドで熱戦が繰り広げられた。

今大会のベスト4には東京の北豊島、埼玉の大宮中央、愛知の科技高刈谷、福岡の博多青松が残った。前年ベスト4で涙を飲んだ北豊島は準決勝では科技高刈谷と対戦し2-1と接戦をものにして粘り強く勝ち上がった。もう一方の対戦は博多青松と大宮中央であったが、10名で連戦を戦い抜いてきた博多青松の粘りも実らず4-1で大宮中央が決勝へ進出した。

決勝戦は前半開始早々に北豊島がドリブルの中央突破から先制点をあげる展開。しかし大宮中央もすぐさま反撃に転じ、5分にはサイドからのクロスボールをうまく収めて同点ゴールを決める。その後は一進一退の攻防が続くが14分に北豊島はゴール前の混戦からこぼれ球を決めて勝ち越し点をあげる。そのまま前半は終了し、後半は大宮中央が積極的に同点を狙うが北豊島も粘り強く守る展開。結局試合はそのまま終了し北豊島高校が初優勝を遂げた。

7. J A全農杯チビリンピック 小学生選抜8人制サッカー大会

開催期間：5月4日(金・祝)～5日(土・祝)

開催会場：神奈川／横浜市・日産スタジアム、日産フィールド小机

決 勝：東京ヴェルディ1969 ジュニア 4-0 (1-0、2-0、1-0) アンフィニ MAKI. FC U-12

優 勝：東京ヴェルディ1969 ジュニア (関東・東京)

準優勝：アンフィニ MAKI. FC U-12 (北海道)

第3位：高田フットボールクラブ (関西・奈良)

唐津フットボールクラブ (九州・佐賀)

チビリンピックが開催されて29回、全国大会となり8人制を導入してから5度目となった本大会は、地域予選を勝ち抜いた9チームが参加し熱戦を繰り広げた。3ピリオド制を導入して3回目となり、8人制での戦術が定着したためかレベルが向上してきた。

予選ブロックを勝ち抜いた上位4チームにより決勝トーナメントが実施され、準決勝は2試合とも接戦であった。ワイルドカードで準決勝進出したアンフィニは唐津に逆転して勝利を得た。ヴェルディと高田の試合は、より白熱した展開となった。平均して身長差が頭1つあるものの、GKの好セーブとボールを持ったヴェルディ選手1人に全員5年生の高田FCは2～3人がついて1・2ピリオドは守ったが、3ピリオドでヴェルディが得点し決勝へ進出した。

決勝は日産スタジアムで行われ、接戦であったが、ヴェルディが得点を重ね見事優勝した。

8. J F A地域ガールズ・エイト(U-12)大会

北海道

開催日時：8月4日(土)～5日(日)

会 場：東大沼多目的グラウンドサッカー場

参 加：16チーム

東 北

開催日時：11月3日(土)～4日(日)

会 場：秋田／TDK秋田総合スポーツセンターサッカー場

参 加：16チーム

関 東

開催日時：8月25日(土)～26日(日)

会 場：山梨／御勅使サッカー場 他

参 加：27チーム

北信越

開催日時：10月20日(土)～21日(日)

会 場：富山／南総合運動公園

参 加：20チーム

東 海

開催日時：11月3日(土)～4日(日)

会 場：岐阜／長良川球技メドウ

参 加：12 チーム

関 西

開催日時：8月18日(土)～19日(日)

会 場：兵庫／三木総合防災公園

参 加：16 チーム

中 国

開催日時：12月8日(土)～9日(日)

会 場：広島／広域公園第1球技場 他

参 加：19 チーム

四 国

開催日時：11月24日(土)～25日(日)

会 場：高知／野市ふれあい広場

参 加：8 チーム

九 州

開催日時：12月1日(土)～2日(日)

会 場：宮崎／綾町錦原運動公園サッカー場 他

参 加：16 チーム

3 国際競技会（国内開催・派遣）

1. F I F Aクラブワールドカップ ジャパン 2007

開催期間：12月7日(金)～16日(日)

会 場：愛知／豊田スタジアム、東京／国立競技場、神奈川／横浜国際総合競技場

テレビ放送：日本テレビ放送網株式会社により、全試合を独占生放送

試合結果

【M1】1回戦（開幕戦）

開催日時：12月7日(金)19:45

会 場：東京／国立競技場

対 戦：セパハン(ACL2位) 3-1(2-0) ワイタケレ・ユナイテッド(OFC)

入場者数：24,788人

視 聴 率：7.5%(瞬間最大10.9%)

【M2】準々決勝

開催日時：12月9日(日)14:45

会 場：東京／国立競技場

対 戦：エトワール・サヘル(CAF) 1-0(0-0) パチューカ(CONCACAF)

入場者数：34,934人

視 聴 率：5.4%(瞬間最大7.7%)

【M3】準々決勝

開催日時：12月10日(月)19:30

会 場：愛知／豊田スタジアム

対 戦：セパハン(ACL2位) 1-3(0-1) 浦和レッズ(AFC)

入場者数：33,263人

視 聴 率：16.6%(瞬間最大24.0%)

【M4】準決勝

開催日時：12月12日(水)19:30

会 場：東京／国立競技場

対 戦：エトワール・サヘル(CAF) 0-1(0-1) ボカ・ジュニアーズ(CONMEBOL)

入場者数：37,255人

視 聴 率：8.8%(瞬間最大13.5%)

【M5】準決勝

開催日時：12月13日(木)19:30

会 場：神奈川／横浜国際総合競技場

対 戦：浦和レッズ(AFC) 0-1(0-0) ACミラン(UEFA)

入場者数：67,005人

視 聴 率：23.1%(瞬間最大33.2%)

【M6】3位決定戦

開催日時：12月16日(日)16:00

会 場：神奈川／横浜国際総合競技場

対 戦：エトワール・サヘル(CAF) 2-2(1-1) 浦和レッズ(AFC)

PK 2-4

入場者数：53,363人

視 聴 率：14.6%(瞬間最大24.6%)

【M7】決勝

開催日時：12月16日(日)19:30

会 場：神奈川／横浜国際総合競技場

対 戦：ボカ・ジュニアーズ(CONMEBOL) 2-4(1-1) ACミラン(UEFA)

入場者数：68,263人

視 聴 率：12.9%(瞬間最大20.1%)

2. AFCチャンピオンズリーグ 2007

グループステージ

開催日時：2007年3月7日(水) 19:30

会場：埼玉／埼玉スタジアム 2002

対戦：グループE 第1戦

浦和レッズ 3-0(2-0) Persik Kediri (インドネシア)

入場者数：31,303人

開催日時：2007年3月7日(水) 15:30

会場：インドネシア／Gajayana スタジアム

対戦：グループF 第1戦

Arema Malang (インドネシア) 1-3(1-1) 川崎フロンターレ

入場者数：30,000人

開催日時：2007年3月21日(水) 20:00

会場：オーストラリア／Aussie スタジアム

対戦：グループE 第2戦

Sydney FC (オーストラリア) 2-2(2-1) 浦和レッズ

入場者数：21,000人

開催日時：2007年3月21日(水) 14:00

会場：神奈川／等々力陸上競技場

対戦：グループF 第2戦

川崎フロンターレ 1-1(0-1) Bangkok University (タイ)

入場者数：10,816人

開催日時：4月11日(水) 19:30

会場：埼玉／埼玉スタジアム 2002

対戦：グループE 第3節

浦和レッズ 1-0(1-0) 上海申花 (中国)

入場者数：28,828人

開催日時：4月11日(水) 19:00

会場：韓国／Gwangyang Football Stadium

対戦：グループF 第3節

全南ドラゴンズ (韓国) 1-3(0-1) 川崎フロンターレ

入場者数：5,703人

開催日時：4月25日(水) 16:00

会場：中国／Yuan Shen Stadium

対戦：グループE 第4節

上海申花 (中国) 0-0(0-0) 浦和レッズ

入場者数：6,000人

開催日時：4月25日(水) 19:00

会場：神奈川／等々力陸上競技場

対戦：グループF 第4節

川崎フロンターレ 3-0(1-0) 全南ドラゴンズ (韓国)

入場者数：10,070人

開催日時：5月9日(水) 15:30

会 場：インドネシア/Solo Stadium
対 戦：グループE 第5節
Persik Kediri (インドネシア) 3-3(2-1) 浦和レッズ
入場者数：7,000人

開催日時：5月9日(水) 19:00
会 場：神奈川/等々力陸上競技場
対 戦：グループF 第5節
川崎フロンターレ 3-0(1-0) Arema Malang (インドネシア)
入場者数：9,453人

開催日時：5月23日(水) 19:30
会 場：埼玉/埼玉スタジアム2002
対 戦：グループE 第6節
浦和レッズ 0-0(0-0) シドニーFC(オーストラリア)
入場者数：44,793人

開催日時：5月23日(水) 18:00
会 場：タイ/Royal Thai Army スタジアム
対 戦：グループF 第6節
Bangkok University FC(タイ) 1-2(1-1) 川崎フロンターレ
入場者数：700人

※両クラブともにノックアウトステージへの進出が決定した。

ノックアウトステージ

<準々決勝>

開催日時：9月19日(水) 19:30
会 場：埼玉/埼玉スタジアム2002
対 戦：準々決勝 第1戦
浦和レッズ 2-1(1-0) 全北現代(韓国)
入場者数：33,103人

開催日時：9月19日(水) 18:30
会 場：イラン
対 戦：準々決勝 第1戦
セパハン(イラン) 0-0(0-0) 川崎フロンターレ
入場者数：25,000人

開催日時：9月26日(水) 19:00
会 場：韓国
対 戦：準々決勝 第2戦
全北現代(韓国) 0-2(0-1) 浦和レッズ
入場者数：31,000人

開催日時：9月26日(水) 19:00
会 場：神奈川/等々力陸上競技場
対 戦：準々決勝 第2戦
川崎フロンターレ 0-0(0-0、PK4-5) セパハン(イラン)
入場者数：13,507人

<準決勝>

開催日時：10月3日(水) 19:00

会 場：韓国
対 戦：準決勝 第1戦
城南一和(韓国) 2-2(1-0) 浦和レッズ
入場者数：17,000人

開催日時：10月24日(水) 19:30
会 場：埼玉/埼玉スタジアム2002
対 戦：準決勝 第2戦
浦和レッズ 2-2(1-0,1-2,PK5-3) 城南一和(韓国)
入場者数：51,651人

<決 勝>
開催日時：11月7日(水) 16:00
会 場：イラン/Foolad Shahr スタジアム
対 戦：決勝 第1戦
セパハン(イラン) 1-1(0-1) 浦和レッズ
入場者数：25,000人

開催日時：11月14日(水) 19:20
会 場：埼玉/埼玉スタジアム2002
対 戦：決勝 第2戦
浦和レッズ 2-0(1-0) セパハン(イラン)
入場者数：59,034人 ※AFCチャンピオンズリーグ新記録：過去の記録は55,000人

浦和レッズの優勝に伴い、2007年12月7日(木)から16日(日)にかけて開催される「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップジャパン2007」に、AFC代表として同クラブ及び準優勝クラブであるセパハンの出場が決定した。また浦和レッズは、来年開催される「AFC チャンピオンズリーグ2008」ノックアウトステージからの出場が確定した。

3. A3 チャンピオンズカップ 2007

開催日時：6月7日(木) 21:30キックオフ
会 場：中国/山東スポーツセンタースタジアム
対 戦：浦和レッズ 3-4 山東魯能(中国)
入場者数：31,000人

期 日：6月10日(日) 17:04キックオフ
会 場：中国/山東スポーツセンタースタジアム
対 戦：浦和レッズ 1-0 城南一和(韓国)
入場者数：15,000人

期 日：6月13日(水) 19:00キックオフ
会 場：中国/山東スポーツセンタースタジアム
対 戦：浦和レッズ 1-3 上海申花(中国)
入場者数：31,000人

優 勝：上海申花(中国)
準優勝：山東魯能(中国)
第3位：浦和レッズ
第4位：城南一和(韓国)

中国・韓国・日本3ヶ国のリーグ王者などによる「A3 チャンピオンズカップ 2007」は6月13日(水)に大会最終日を迎え、昨年度Jリーグチャンピオンの浦和レッズは上海申花(中国)に1-3と敗れ、通算1勝2敗(勝点3、得失点差-2)で第3位に終わった。

4. 第15回日・韓・中ジュニア交流競技会

期間・会場：8月23日(木)～28日(火) 中国/桂林市
参加国：日本(ガンバ大阪ユース/大阪府)・韓国・中国・桂林(開催地)
<対戦結果>
第1戦：8月24日(金) ガンバ大阪ユース 1-4(1-2) 韓国代表
第2戦：8月26日(日) ガンバ大阪ユース 2-2(1-0) 桂林市代表
第3戦：8月27日(月) ガンバ大阪ユース 1-1(1-1) 中国代表

5. 日本高校選抜欧州遠征

遠征期間：2008年3月15日(土)～26日(水)
開催場所：スイス/ベリンツォーナ
遠征チーム：日本高校選抜チーム
大会名：第68回ベリンツォーナ国際ユースサッカー大会
大会結果：優勝 Sporting Lisbon(ポルトガル)
準優勝 Basel(スイス)
第3位 Team Ticino(スイス)

<予選リーグ>

第1戦 日本高校選抜 3-1 FC Zurich(スイス)
第2戦 日本高校選抜 2-0 AS Roma(イタリア)
第3戦 日本高校選抜 0-3 Sporting Lisbon(ポルトガル)

<決勝トーナメント>

準決勝 日本高校選抜 2-2(PK3-4) Basel(スイス)
3位決定戦 日本高校選抜 2-2(PK4-5) Team Ticino(スイス)

第86回全国高校サッカー選手権大会から選出された18名の選手がスイス/ベリンツォーナで開催された第68回国際ユースサッカー大会に参加した。遠征に先立ち、日本国内で選考合宿・強化合宿・直前合宿を行い、ヨーロッパに入ってからドイツ/レバークーゼンで調整合宿を張り万全の体制で臨んだ。予選リーグを2勝1敗で勝ち抜き、準決勝PK戦で敗退。3位決定戦も同じくPK戦により敗退し4位という成績を収めた。

6. 高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 優勝チーム海外遠征

遠征チーム：流通経済大学附属柏高等学校
遠征期間：2008年3月14日(金)～25日(火)
開催場所：アメリカ/ダラス
大会名：第29回ダラスカップ
大会結果：優勝 Liverpool FC
準優勝 Tigres
第3位 CF Monterray, Sport Lisboa e Benfica

<予選リーグ>

第1戦 流通経済大学附属柏高等学校 0-2 Tigres (メキシコ)
第2戦 流通経済大学附属柏高等学校 2-1 Slavija (ボスニアヘルツェゴビナ)
第3戦 流通経済大学附属柏高等学校 0-8 Liverpool(イングランド)

高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会の優勝チームとして、アメリカ/ダラスにて開催された第29回ダラスカップに参加した。予選リーグ初戦を1勝2敗という成績で決勝トーナメントには出場できなかったが、現地のコーディネーターにより3試合の親善試合を行い、ホームステイによる滞在という貴重な経験をして無事帰国の途についた。

高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 準優勝チーム海外遠征

遠征チーム：サンフレッチェ広島ユース
遠征期間：2008年3月17日(月)～26日(水)
開催場所：ドイツ/ラオプハイム
大会名：第45回SBCカップ
大会結果：優勝 Skoda Xanthi(ギリシア)
準優勝 TSV 1860 Munchen(ドイツ)
第3位 Fenerbahce SK(トルコ)

<予選リーグ>

第1戦 サンフレッチェ広島ユース 2-0 FV Olympia Laupheim
第2戦 サンフレッチェ広島ユース 0-1 TSV1860 Munchen
第3戦 サンフレッチェ広島ユース 0-1 FC Twente
7・8位決定戦 サンフレッチェ広島ユース 3-0 Hertha BSC Berlin

高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会の準優勝チームとして、ドイツ・ラオプハイムにて開催された第45回SBCカップに参加した。予選リーグ初戦を2-0と勝利したサンフレッチェ広島だが、第2、3戦と敗れてしまい、順位決定戦にまわることとなった。順位決定戦では3-0と勝利し、7位という成績を収めて帰国した。

7. マンチェスターユナイテッド・プレミアカップ2007

参加チーム：ガンバ大阪ジュニアユース(JFAプレミアカップ2007 優勝)
開催期間：8月1日(水)～4日(土)
開催場所：イギリス/マンチェスター

<予選リーグ>

第1戦 ガンバ大阪ジュニアユース 0-3 Colo Colo(チリ)
第2戦 ガンバ大阪ジュニアユース 0-0 Bukit Jalil Sports School(マレーシア)
第3戦 ガンバ大阪ジュニアユース 1-6 Hertha BSC(ドイツ)
第4戦 ガンバ大阪ジュニアユース 0-4 FC Barcelona(スペイン)

<順位決定戦>

第1戦 ガンバ大阪ジュニアユース 0-1 Shan Dong Luneng FC (中国)
第2戦 ガンバ大阪ジュニアユース 1-3 Chunnam Dragons (韓国)

JFAプレミアカップ2007 優勝チームとして、イギリス/マンチェスターにて開催されたマンチェスターユナイテッド・プレミアカップ2007に参加した。予選リーグ3敗1引分けによりDグループ4位となり、順位決定戦に回ることとなった。順位決定戦の結果、ガンバ大阪ジュニアユースは16位、フェアプレー賞を受賞した。

【大会結果】

優勝 FC BARCELONA (スペイン)
準優勝 SAO PAULO (ブラジル)
第3位 KRYLIA SOVETOV (ロシア)
第4位 HERTHA BERLIN BSC (ドイツ)
第5位 FC BASEL 1893 (スイス)
第6位 AUSTRIA WIEN (オーストリア)
第7位 ATLAS FC (メキシコ)
第8位 MANCHESTER UNITED (イギリス)
第9位 AS ROMA (イタリア)
第10位 ORLANDO PIRATES (南アフリカ)
第11位 EVERTON FC (イギリス)
第12位 COLO COLO (チリ)
第13位 REAL SO CAL (アメリカ)
第14位 SHANDONG LUNENG FC (中国)

第15位	CHUNNAM DRAGONS FC (韓国)
第16位	ガンバ大阪ジュニアユース (日本)
第17位	CENTRAL UNITED (ニュージーランド)
第18位	EAST BENGAL FC (インド)
第19位	ASSUMPTION COLLEGE THONBURI (タイ)
第20位	BUKIT JALIL SPORTS SCHOOL (マレーシア)

8. 2002 F I F A ワールドカップ記念 第1回日韓ユース親善フェスティバル

開催期間：2008年3月25日(火)～29日(土)

開催場所：韓国／ウルサン

チーム：日韓双方よりU-12/U-15/U-18の各カテゴリー2チームずつ

U-18 代表

ガンバ大阪ユース (クラブユース選手権優勝チーム)

市立船橋高校 (インターハイ優勝チーム)

U-15 代表

ガンバ大阪ジュニアユース (高円宮杯U-15 優勝チーム)

東京ヴェルディジュニアユース (高円宮杯U-15 準優勝チーム)

U-12 代表

東京ヴェルディジュニア (全日本少年サッカー大会優勝チーム)

アンフィニ MAKI. FC U-12 (ちびりんびっく準優勝チーム)

2002 F I F A ワールドカップの記念事業として日韓両国の親善とユース育成を目的として、第1回日韓ユース親善フェスティバルが韓国／ウルサンにて開催された。

韓国サッカー協会及び主管となったウルサンサッカー協会の方々のご尽力により大会が執り行われた。各カテゴリーで日本のチームが1位の成績を収めた。また、大会期間を通じて韓国側のもてなしを感じ選手同士の交流も生まれ、友好的な雰囲気での帰国の途についた。

来年は日本での開催予定。

Ⅲ 指導普及事業

1. ナショナルトレセンU-12 [地域開催]

- [北海道] 期 間：10月26日(金)～29日(月)
場 所：栗山町広場ふじスポーツ広場
参加者：選手48名、指導者講習会受講者38名
- [東 北] 期 間：10月 5日(金)～8日(月・祝)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：選手74名、指導者講習会受講者70名
- [関 東] 期 間：12月21日(金)～24日(月・祝)
場 所：茨城/鹿島ハイツ
参加者：選手126名、指導者講習会受講者175名
- [北信越] 期 間：10月 5日(金)～8日(月・祝)
場 所：福井/テクノポート
参加者：選手44名、指導者講習会受講者31名
- [東 海] 期 間：10月 5日(金)～8日(月・祝)
場 所：静岡/つま恋
参加者：選手64名、指導者講習会受講者73名
- [関 西] 期 間：12月23日(日)～26日(水)
場 所：滋賀/ビックレイク
参加者：選手88名、指導者講習会受講者71名
- [中 国] 期 間：12月25日(火)～28日(金)
場 所：広島/ビッグアーチ
参加者：選手44名、指導者講習会受講者73名
- [四 国] 期 間：12月21日(金)～24日(月・祝)
場 所：香川/瀬戸大橋記念公園
参加者：選手50名、指導者講習会受講者69名
- [九 州] 期 間：12月25日(火)～28日(金)
場 所：熊本/大津町運動公園
参加者：選手84名、指導者講習会受講者94名

2. ナショナルトレセンU-14 [3地域開催/同時開催]

前期 [東日本]

- 期 間：5月16日(水)～20日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：選手44名、指導者講習会受講者19名

[中日本]

- 期 間：5月16日(水)～20日(日)
場 所：静岡/つま恋
参加者：選手44名、指導者講習会受講者24名

[西日本]

- 期 間：5月16日(水)～20日(日)
場 所：熊本/大津町運動公園

参加者：選手 44 名、指導者講習会受講者 9 名

後期 [東日本]

期 間：11 月 21 日(水)～25 日(日)

場 所：福島／J ヴィレッジ

参加者：選手 49 名

[中日本]

期 間：11 月 21 日(水)～25 日(日)

場 所：滋賀／ビックレイク

参加者：選手 48 名

[西日本]

期 間：11 月 21 日(水)～25 日(日)

場 所：熊本／大津町運動公園

参加者：選手 48 名

3. ナショナルトレーニングキャンプU-16

前期 [東日本]

期 間：8 月 29 日(水)～9 月 2 日(日)

場 所：福島／J ヴィレッジ

参加者：選手 41 名、指導者講習会受講者 13 名

[西日本]

期 間：8 月 29 日(水)～9 月 2 日(日)

場 所：熊本／大津町運動公園

参加者：選手 37 名、指導者講習会受講者 11 名

後期 [東日本]

期 間：11 月 21 日(水)～25(日)

場 所：福島／J ヴィレッジ

参加者：選手 36 名、指導者講習会受講者 30 名

[西日本]

期 間：11 月 21 日(水)～25(日)

場 所：兵庫／アスコザパークTANBA

参加者：選手 37 名、指導者講習会受講者 26 名

4. 地域トレーニングキャンプU-17

[北海道] 期 間：11 月 1 日(木)～3 日(土)
場 所：札幌アミューズメントパーク
参加者：選手 20 名

期 間：11 月 23 日(金)～24 日(土)
場 所：札幌アミューズメントパーク
参加者：選手 16 名

[東 北] 期 間：11 月 16 日(金)～18 日(日)
場 所：杜のひろば
参加者：選手 30 名

[関 東] 期 間：9 月 18 日(火)～20 日(木)
場 所：東京ヴェルディ 1969 グラウンド
参加者：選手 23 名

[北信越] 期 間：7月10日(火)～12日(木)
場 所：新潟聖籠スポーツセンター アルヴィレッジ
参加者：18名

[東 海] 期 間：11月23日(金)～25日(日)
場 所：時之栖
参加者：15名

[関 西] 期 間：11月19日(月)
場 所：万博大阪グラウンド
参加者：24名

期 間：12月17日(月)
場 所：時之栖
参加者：16名

[中 国] 期 間：11月24日(土)～25日(日)
場 所：広島青少年文化センター
参加者：36名

[四 国] 期 間：12月8日(土)～9日(日)
場 所：緑ヶ丘サッカー場
参加者：21名

[九 州] 期 間：11月17日(土)～18日(日)
場 所：ますの井
参加者：18名

期 間：2008年3月1日(土)～2日(日)
場 所：遊学の里
参加者：18名

5. U-17 地域対抗戦 2007

国体U-16化に伴い発生した課題である、国体後の継続した強化に対し、本活動を実施することでU-17年代の機会を新たに創出する趣旨で、2007年度新たに開催した。

期 間：12月18日(火)～20日(木)
場 所：静岡/時之栖スポーツセンター
参加者：選手174名

6. ナショナルトレセン女子U-15

期 間：12月26日(水)～29日(土)
場 所：福島/J ヴィレッジ
参加者：選手 165名(北海道14名/東北14名/関東22名/北信越14名/東海18名/関西16名/中国14名/四国14名/九州18名/J F Aアカデミー21名)
指導者講習会受講者 59名

7. 都道府県トレセンスタッフ研修会

9 地域

都道府県のトレセン活動に関わる指導者のレベルアップを目的に、ナショナルトレセンメニューの落とし込み、講義や指導実践を内容とした9地域毎の研修会を実施した。

8. 47 F Aユースダイレクター研修会

J F A 47 F Aユースダイレクター研修①／アカデミー研修

期 間：6月24日(日)～26日(火)

場 所：福島／J ヴィレッジ

内 容：アカデミーコンセプトを中心とした研修
指導実践、ディスカッション等

参加者：49名

J F A 47 F Aユースダイレクター研修②／ユース育成

期 間：12月13日(木)～15日(土)

場 所：J F Aハウス

内 容：ユース育成をテーマにした研修
講義、ディスカッション等

参加者：60名

9. 地域トレセン支援

強化育成資金 2007年度よりCHQから技術部に担当変更
9地域・47都道府県に各100万円

U16 地区トレセンリーグ	継続3年目：17都道府県 F A
U16 地域リーグ	継続3年目：6地域 F A
9地域トレセンスタッフ研修会	継続3年目：9地域 F A
9地域G Kキャンプ	新規：5地域 F A

10. 地域女子トレセンコーチ研修会

期 間：6月1日(金)～3日(日)

場 所：福島／J ヴィレッジ

参加者：23名

11. 地域トレセン(トレーニングセンター)

9地域

4月1日～2008年3月31日、9地域で各地域技術委員会・女子委員会を運営主体として、ナショナルトレセンコーチと協力のうえ、選手の発掘・育成、強化指導指針に基づいた選手の一貫指導、指導者育成、情報伝達、他の年代との交流等の活動を中心にトレセンが開設、運営された。

12. 都道府県トレセン(トレーニングセンター)

47都道府県

4月1日～2008年3月31日、47都道府県で各都道府県技術委員会・女子委員会を運営主体として、ナショナルトレセンコーチと協力のうえ、選手の発掘・育成、強化指導指針に基づいた選手の一貫指導、指導者育成、情報伝達、他の年代との交流等の活動を中心にトレセンが開設、運営された。

13. U-18/U-15 G Kトレーニングキャンプ

期 間：10月19日(金)～21日(日)

場 所：福島／J ヴィレッジ

参加者：U18-11名、U15-10名 計21名

14. JFAエリートプログラム

①トレーニングキャンプ

期 間：6月27日(水)～7月1日(日)

場 所：神奈川／平塚市、静岡／御殿場市・袋井市・磐田市

参加者：U14-22名、U13-22名 計44名

②海外遠征 (U-14 JOC 日韓競技力向上スポーツ交流事業)

期 間：8月22日(水)～28日(火)

場 所：韓国／坡州 (パジュ) ナショナルトレーニングセンター

参加者：20名

③国内遠征 (U-13 JOC 日韓競技力向上スポーツ交流事業)

期 間：11月28日(木)～12月2日(日)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：U14-20名 U13-20名 計40名

④国内大会 (U-13 ジュビロカップ)

期 間：12月27日(木)～30日(日)

場 所：静岡／掛川市

参加者：20名

15. なでしこチャレンジプロジェクト

①トレーニングキャンプ

期 間：2007年3月30日(金)～4月3日(火)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：23名

※4月1日(日)～2日(月)で指導者講習会を並行開催 参加者17名

②トレーニングキャンプ

期 間：2008年2月4日(月)～7日(木)

場 所：静岡／磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ、磐田グランドホテル

参加者：22名

※2月4日(月)～5日(火)で指導者講習会を並行開催 参加者25名

16. スーパー少女プロジェクト

①トレーニングキャンプ

期 間：8月3日(金)～5日(日)

場 所：北海道／札幌サッカーアミューズメントパーク

参加者：GK 14名

②トレーニングキャンプ

期 間：9月28日(金)～30日(日)

場 所：兵庫／アスコザパークTANBA

参加者：GK 11名

③セレクションキャンプ

期 間：11月22日(木)～24日(土)

場 所：静岡／Jステップ

参加者：GK 27名

④トレーニングキャンプ

期 間：2008年1月25日(金)～27日(日)
場 所：愛媛／グリーンフィールド新居浜
参加者：GK 10名

⑤トレーニングキャンプ

期 間：2008年2月8日(金)～10日(日)
場 所：滋賀／野洲川歴史公園サッカー場 ビッグレイク
参加者：GK 13名

⑥トレーニングキャンプ

期 間：2008年3月7日(金)～9日(日)
場 所：福島／Jヴィレッジ
参加者：GK 14名

17. U-15 女子チーム創出制度

継続(3年目)認定 30チーム

18. JFAアカデミー福島

期 間：4月～2008年3月

1期生男子中学2年 16名、女子中学2年8名、中学3年5名、高校1年5名、高校2年5名、2期生男子中学1年15名、女子中学1年5名の計59名が在籍。トレーニング、JFAカリキュラムを行った。

19. JFAアカデミー福島 平成20年度入学生選考試験

【男子】志願者数：685名

1次 合格者数：204名

8月17日(金) 東京／三菱養和会 巣鴨スポーツセンター
8月18日(土) 東京／東京ヴェルディ1969
8月19日(日) 東京／東京ヴェルディ1969
8月21日(火) 福島／JFAアカデミー福島 広野グラウンド
8月21日(火) 滋賀／ビッグレイク 野洲川歴史公園サッカー場
8月23日(木) 静岡／Jステップ
8月23日(木) 熊本／大津町運動公園

2次 合格者数：65名

9月8日(土) 東京／東京ヴェルディ1969
9月9日(日) 東京／東京ヴェルディ1969
9月22日(土) 福島／Jヴィレッジ

3次 合格者数：33名

10月13日(土)～14日(日) 茨城／鹿島ハイツ スポーツプラザ

最終 合格者数：15名

11月9日(金)～11日(日) 福島／Jヴィレッジ

【女子】志願者数：140名

1次 合格者数：46名

9月1日(土) 東京／東京ヴェルディ1969
9月2日(日) 福島／Jヴィレッジ
9月8日(土) 滋賀／ビッグレイク 野洲川歴史公園サッカー場

2次 合格者数：24名

10月19日(金)～21日(日) 福島/Jヴィレッジ
 最終 合格者数：6名
 11月9日(金)～11日(日) 福島/Jヴィレッジ

20. JFA・Jリーグ 特別指定選手制度

21. 女子：特別指定選手制度

22. 全国技術委員長会議

期 日：2008年2月16日(土)～17日(日)
 場 所：JFAハウス
 参加者：47都道府県FA 技術委員長

23. 公認S級コーチ養成コース

短期講習会①	8月25日(土)～30日(金)	福島/Jヴィレッジ
集中講習会①	9月3日(月)～6日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会②	9月10日(月)～13日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会③	9月18日(火)～20日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会④	9月25日(火)～27日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会⑤	10月1日(月)～4日(木)	三菱養和・JISS・JFA
短期講習会②	10月9日(火)～12日(金)	福島/Jヴィレッジ
集中講習会⑥	10月15日(月)～18日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会⑦	10月22日(月)～25日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会⑧	10月29日(月)～11月1日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会⑨	11月5日(月)～8日(木)	三菱養和・JISS・JFA
集中講習会⑩	11月12日(月)～15日(木)	三菱養和・JISS・JFA
最終試験	11月26日(月)～29日(木)	福島/Jヴィレッジ
インターシップ	12月1日(金)～2008年3月31日(月)	海外クラブ2週間・Jクラブ1週間

24. 公認A級コーチ養成講習会(3コース：6泊7日×2)

第1コース	前期	6月23日(月)～29日(日)	29名	福島/Jヴィレッジ
	後期	12月3日(月)～9日(日)		
第2コース	前期	7月15日(日)～21日(土)	31名	静岡/時之栖
	後期	11月12日(月)～18日(日)		
第3コース	前期	7月16日(月)～22日(日)	29名	福島/Jヴィレッジ
	後期	12月16日(日)～21日(金)		

25. 公認A級コーチU-12養成講習会

前期 期 間：6月18日(月)～22(金)
 場 所：福島/Jヴィレッジ
 参加者：19名
 後期 期 間：11月2日(金)～5(月)
 場 所：福島/Jヴィレッジ
 参加者：19名

26. 公認B級コーチ養成コース(専門12コース：5泊6日×2、共通3コース：5泊6日×1)
 (専門科目)

第1コース	前期	7月2日(月)～7日(土)	26名	北海道/七飯町
	後期	10月15日(月)～20日(土)		

第2コース	前期	7月17日(火)～22日(日)	31名	福島/Jヴィレッジ
	後期	11月13日(火)～18日(日)		福島/Jヴィレッジ
第3コース	前期	7月1日(日)～6日(金)	27名	茨城/鹿島ハイツ
	後期	12月6日(木)～11日(火)		茨城/鹿島ハイツ
第4コース	前期	12月3日(月)～8日(土)	34名	茨城/鹿島ハイツ
	後期	2008年1月15日(火)～20日(日)		茨城/鹿島ハイツ
第5コース	前期	7月17日(火)～22日(日)	31名	新潟/アルビレックス
	後期	12月3日(月)～8日(土)		新潟/アルビレックス
第6コース	前期	7月6日(金)～11日(水)	31名	静岡/時之栖
	後期	12月16日(日)～20日(木)		静岡/時之栖
第7コース	前期	7月15日(日)～20日(金)	30名	兵庫/淡路島
	後期	12月3日(月)～8日(土)		兵庫/淡路島
第8コース	前期	7月23日(月)～28日(土)	32名	広島/千代田
	後期	12月12日(水)～17日(月)		広島/広島スタジアム
第9コース	前期	7月17日(火)～22日(日)	30名	高知/春野
	後期	12月10日(月)～15日(土)		高知/春野
第10コース	前期	7月25日(木)～30日(月)	34名	鹿児島/薩摩町
	後期	12月5日(水)～10日(月)		鹿児島/薩摩町
第11コース	前期	7月16日(月)～21日(土)	32名	静岡/Jステップ
	後期	2008年1月15日(火)～20日(日)		静岡/時之栖
第12コース	前期	12月9日(日)～14日(金)	36名	静岡/時之栖
	後期	2008年1月8日(火)～13日(日)		静岡/時之栖

(共通科目)

Eラーニングコース 7月～11月 各自PCで受講 12月に実技試験(1泊2日)

集合講習コース 11月23日(金)～28日(水)

静岡/時之栖

27. 公認C級コーチ養成講習会

47 都道府県

4月～2008年3月

28. 公認D級コーチ養成講習会

47 都道府県

4月～2008年3月

29. 公認ゴールキーパーA級コーチ養成講習会(平成19年度)

前期 期 間：2008年1月15日(火)～20日(日)

場 所：静岡/Jステップ

参加者：11名

30. 公認ゴールキーパーB級コーチ養成講習会

期 間：2008年1月23日(水)～27日(日)

場 所：鹿児島/薩摩町

参加者：9名

31. 公認ゴールキーパーC級コーチ養成講習会

第1コース 期 間：7月6日(金)～8日(日)

場 所：福島/Jヴィレッジ

参加者：27名

第2コース 期 間：7月6日(金)～8日(日)

場 所：福島/Jヴィレッジ

- 参加者：30名
 第3コース 期 間：10月6日(土)～8日(月・祝)
 場 所：静岡／つま恋
 参加者：29名
 第4コース 期 間：2008年1月11日(金)～13日(日)
 場 所：茨城／鹿島ハイツ
 参加者：30名
 第5コース 期 間：2008年1月11日(金)～13日(日)
 場 所：茨城／鹿島ハイツ
 参加者：29名
 第6コース 期 間：2008年1月11日(金)～13日(日)
 場 所：兵庫／アスコザパークTANBA
 参加者：29名

32. 公認キッズリーダー養成講習会 47 都道府県
 4月～2008年3月
33. 公認S級コーチリフレッシュ研修会 JFAハウス
 第1コース 11月12日(月)
 第2コース 12月11日(火)
 第3コース 2008年1月21日(月)
34. 公認A・B級コーチリフレッシュ研修会 9 地域
 4月～2008年3月
35. 公認ゴールキーパーコーチリフレッシュ研修会
 期 間：12月1日(土)～2日(日)
 場 所：千葉／日本エアロビセンター
 期 間：12月1日(土)～2日(日)
 場 所：兵庫／アスコザパークTANBA
36. 公認指導者海外研修会
 大 会：FIFA U-17ワールドカップ 韓国 2007
 期 間：8月18日(土)～26日(日)
 場 所：韓国／光陽市・高陽市
 参加者：12名
 大 会：FIFA女子ワールドカップ中国 2007
 期 間：9月13日(木)～19日(水)
 場 所：中国／上海・杭州
 参加者：15名
 大 会：コパ・チーバス (メキシコ)
 期 間：2008年1月25日～2月1日
 場 所：メキシコ／グアダハラ
 参加者：12名

37. 公認A級インストラクター研修会

前期 期 間：5月7日(土)～9日(月)
場 所：新潟/JAPANサッカーカレッジ
参加者：6名
後期 期 間：11月5日(月)
場 所：JFAハウス
参加者：6名

38. 公認B級インストラクター研修会

前期 期 間：5月25日(金)～27日(日)
場 所：静岡/Jステップ
参加者：30名
後期 期 間：9月29日(土)～30日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：28名

39. 公認47FAチーフインストラクター研修会

第1コース

前期 期 間：6月1日(金)～3日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：48名
後期 期 間：10月20日(土)～21日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：48名

第2コース

前期 期 間：6月8日(金)～10日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：39名
後期 期 間：10月27日(土)～28日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：39名

40. 公認キッズリーダーインストラクター研修会

期 間：5月11日(水)～23日(金)
場 所：静岡/Jステップ
参加者：80名

41. 公認指導者国内研修会

全日本少年大会	8月10日(金)	東京/西が丘
全日本女子ユース(U-15)選手権大会	8月25日(土)	福島/Jヴィレッジ
仙台カップ	9月1日(土)～2日(日)	仙台/アテックススタジアム
高円宮杯全日本ユース(U-18)	10月8日(月・祝)	埼玉/埼玉スタジアム
高円宮杯全日本ユース(U-15)	12月29日(土)	東京/国立競技場
ナショナルトレセンU-12・14・16・女子U-15	随時	
SBSカップ	8月11日(土)～12日(日)	静岡/草薙・藤枝

42. 第41回・第42回サッカードクターセミナー

第41回 期 間：9月29日(土)～30(日)
場 所：神奈川／ホテルKSP・しんよこフットボールパーク
参加者：84名

第42回 期 間：2008年3月1日(土)～2日(日)
場 所：埼玉／浦和東武ホテル・埼玉スタジアム2002
参加者：66名

43. 日本代表メディカルチェック

実施せず

44. アスレティックトレーナー研修会

期 日：2008年1月10日(木)
場 所：JFAハウス
参加者：136名

45. フィジカルフィットネスプロジェクト

Jクラブフィジカル・コンディショニング担当コーチ研修会議

期 日：12月10日(月)
場 所：JFAハウス
参加者：42名

46. 1級審判員研修会／1級審判員強化研修会

1級審判員研修会

第1回 期 間：7月21日(土)～22日(日)／7月28日(土)～29日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：1級審判員122名

第2回 期 間：2008年2月1日(金)～3日(日)
場 所：神奈川／横浜市スポーツ医科学センター
参加者：1級審判員111名

1級審判員強化研修会

使用大会：SBSカップ国際ユースサッカー
期 間：8月11日(土)～14日(火)
場 所：静岡
参加者：7名

使用大会：第31回全国地域リーグ決勝大会
期 間：11月23日(金)～25日(日)
場 所：長野、広島、高知
参加者：9名

JFL担当審判員研修会

第1回 期 日：5月4日(金・祝) (主審のみ)
場 所：JFAハウス
参加者：20名

第2回 期 間：7月21日(土)～22日(日)／7月28日(土)～29日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：28名

第3回 期 日：9月24日(月・祝)
場 所：JFAハウス
参加者：20名

第4回 期 日：2008年3月8日(土)～9日(日)
場 所：神奈川／横浜市スポーツ医科学センター
参加者：24名

47. 女子1級審判員研修会/女子1級審判員強化研修会

女子1級審判員研修会

第1回 期 間：6月16日(土)～17日(日)

場 所：JFAハウス

参加者：23名

第2回 期 間：2008年3月14日(金)～16日(日)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：28名

女子1級審判員強化研修会

使用大会：なでしこスーパーカップ2007

期 間：4月22日(日)

場 所：東京／駒沢競技場

参加者：21名

使用大会：第22回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

期 間：8月10日(金)～13日(月)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：14名

使用大会：第29回全日本女子サッカー選手権大会

期 間：12月28日(金)～30日(日)

場 所：東京

参加者：8名

48. 1級審判員認定審査

[第1次審査] 使用大会：各地域社会人・大学リーグ

期 間：4月～6月

場 所：各地

参加者：35名

[第2次審査] 使用大会：第31回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

期 間：7月28日(土)～8月1日(水)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：25名

[第3次審査] 使用大会：関東・関西社会人リーグ、関東・関西学生リーグ

期 間：9月中旬～10月上旬

場 所：関東・関西

参加者：17名

49. 女子1級審判員認定審査

[第1次審査] 使用大会：第22回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大阪予選

期 間：5月上旬

場 所：関西

参加者：10名

[第2次審査] 使用大会：第38回全国中学校サッカー大会

期 間：8月20日(月)～24日(金)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：6名
[第3次審査] 使用大会：第16回全日本大学女子サッカー選手権大会
期 間：12月24日(月・祝)～27日(木)
場 所：兵庫／神戸市
参加者：6名

50. 2級審判員指導育成講習会

使用大会：第28回全国教員サッカー選手権大会
期 間：8月2日(木)～4日(土)
場 所：兵庫
参加者：2級審判員10名

使用大会：第22回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会
期 間：8月10日(金)～13日(月)
場 所：福島／Jヴィレッジ
参加者：2級審判員14名

51. 2級審判員(女子)指導育成講習会

使用大会：第16回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
期 間：7月28日(土)～8月1日(水)
場 所：静岡／磐田市
参加者：7名

52. 1級審判インストラクター研修会

第1回 期 間：7月8日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：39名
第2回 期 間：2008年1月25日(金)～27日(日)
場 所：福島／Jヴィレッジ
参加者：46名

53. JFA審判アセッサー研修会

第1回 期 日：4月1日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：32名
第2回 期 日：9月17日(月・祝)
場 所：JFAハウス
参加者：37名

54. 1級審判インストラクター・JFA審判アセッサー認定講習会

使用大会：第86回全国高等学校サッカー選手権大会 他
期 間：2008年1月
場 所：千葉、東京、神奈川
参加者：10名

55. フットサル1級審判員研修会

期 間：2008年1月26日(土)～27日(日)

場 所：福島／Jヴィレッジ
参 加 者：25名

56. フットサル1級審判員強化研修会

使用大会：第13回全日本フットサル選手権大会
期 間：2008年2月28日(木)～3月2日(日)
場 所：兵庫／神戸、高知／春野
参 加 者：12名

57. フットサル1級審判員認定審査

使用大会：第23回全国選抜フットサル大会
期 間：7月12日(木)～15日(日)
場 所：鹿児島
参 加 者：11名

58. フットサル2級審判員強化研修会

使用大会：第13回全日本ユース(U-15)フットサル大会
期 間：2008年1月11日(金)～13日(日)
場 所：福岡
参 加 者：9名

59. フットサル1級審判インストラクター更新講習会

期 間：5月6日(日)
場 所：大阪
参 加 者：8名

60. フットサル1級審判インストラクター認定講習会

期 日：5月4日(金)～5日(土)
場 所：大阪
参 加 者：3名

61. フットサル2級審判インストラクター更新講習会

期 日：6月～2008年3月
場 所：各地
参 加 者：60名

62. フットサル2級審判インストラクター認定講習会

第1回 期 日：8月11日(土)～12日(日)
場 所：大阪
参 加 者：2名
第2回 期 日：10月20日(土)～21日(日)
場 所：東京
参 加 者：5名

63. ビーチサッカー審判員研修会

期 日：10月17日(水)～21日(日)
場 所：沖縄／宜野湾市
参加者：11名

64. 全国審判委員長会議

期 日：6月9日(土)～10日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：47都道府県FA 審判委員長

65. 2008年国際審判員候補者メディカルチェック

期 間：8月中旬～9月上旬
場 所：神奈川／横浜市スポーツ医科学センター
参加者：2008年国際審判員候補者28名

66. 審判関係海外研修

AFC主催国際エリート審判員研修会 2008年1月	マレーシア
AFC主催審判エリートインストラクター・アセッサー研修会 2008年1月	マレーシア

67. トップレフェリー育成プロジェクト

スペシャルレフェリー／トレーニングキャンプ 通年(1泊2日／21回、日帰り／6回)	静岡/Jステップ 他
JFAレフェリーカレッジ2007	
定期講習(通年、各学年2週毎 2泊3日で開催)	JFAハウス 他
集中講習 6月30日(土)～7月4日(水)(2年生のみ:総理大臣杯)	大阪 他
7月28日(土)～8月2日(木)(1年生のみ:高校総体)	佐賀
8月22日(水)～26日(日)(2年生と1年生1名)	静岡
9月15日(土)～17日(月・祝)(1年生のみ)	静岡
12月25日(火)～28日(金)(1年生のみ)	茨城
JFAレフェリーカレッジ2008	
定期講習(通年、各学年2週毎 2泊3日で開催)	JFAハウス 他
集中講習 2008年3月19日(木)～23日(日)(1年生のみ)	福岡
2008年3月12日(水)～16日(日)(2年生のみ)	愛知

68. 審判トレーニングセンター

中央トレーニングセンター	8月29日(金)～31日(日)	福島/Jウイレッジ
	11月22日(土)～24日(月・祝)	福島/Jウイレッジ
地域トレーニングセンター	4月～7月、9月～12月	各地域
都道府県トレーニングセンター	通年	各都道府県

69. 全国専務理事会議

第1回 期 日：6月30日(土)～7月1日(日)
場 所：JFAハウス
参加者：47都道府県FA 専務理事

第2回 期 日：12月16日(日)

場 所：神奈川／横浜市スポーツ医科学センター
参加者：47 都道府県F A 専務理事

70. AFCプロリーグプロジェクト
- | | | |
|--------------------|---------------|---------|
| 第3回AFCプロリーグ特別委員会 | 4月13日(金) | AFC |
| AFCプロリーグ プレゼンテーション | 5月8日(水) | AFC |
| AFC加盟協会インスペクション | 4月～11月 | 21加盟協会 |
| 第4回AFCプロリーグ特別委員会 | 7月27日(金) | インドネシア |
| 第5回AFCプロリーグ特別委員会 | 11月28日(水) | オーストラリア |
| 第6回AFCプロリーグ特別委員会 | 2008年2月29日(金) | AFC |
71. JFAキッズ(U-6/U-8/U-10)サッカーフェスティバル2007
47都道府県各地にて開催
72. JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル2007 ユニクロサッカーキッズ!
9会場にて開催
73. JFAレディース／ガールズサッカーフェスティバル2007
47都道府県各地にて開催
74. JFAファミリーフットサルフェスティバル2007 with KIRIN
47都道府県各地にて開催
75. JFAファミリーフットサルフェスティバル2007 with KIRIN スペシャルステージ
12会場にて開催

IV 各種申請

1 海外遠征

(社)日本プロサッカーリーグ

チー ム 鹿島アントラーズユース (第2種)

遠征期間 5月28日(月)～6月3日(木)

遠 征 先 中国 上海

チー ム U-15 Jリーグ選抜 (第2種)

遠征期間 8月20日(月)～30日(木)

遠 征 先 ドイツ ハイデ

チー ム U-15 Jリーグ選抜 (第2種)

遠征期間 8月20日(月)～30日(木)

遠 征 先 ブラジル ヘイクレオ

全日本大学サッカー連盟

チー ム 全日本大学選抜チーム (第1種)

遠征期間 6月15日(金)～6月21日(木)

遠 征 先 タイ バンコク

チー ム 全日本大学選抜チーム (第1種)

遠征期間 2008年3月7日(金)～15日(土)

遠 征 先 オランダ ザイスト

(財)北海道サッカー協会

チー ム 旭川地区選抜(U-18) (第2種)

遠征期間 8月30日(木)～9月3日(月)

遠 征 先 韓国 水原

チー ム 旭川地区選抜(U-15) (第3種)

遠征期間 8月30日(木)～9月3日(月)

遠 征 先 韓国 水原

チー ム 旭川地区選抜(U-12) (第4種)

遠征期間 8月30日(木)～9月3日(月)

遠 征 先 韓国 水原

チー ム A. F. C. (フットサル)

遠征期間 12月21日(金)～23日(日)

遠 征 先 台湾 台北

チー ム D. C. A s a h i k a w a F u s a l C l u b (フットサル)

遠征期間 12月21日(金)～23日(日)

遠 征 先 台湾 台北

チー ム コンサドーレ札幌 (第1種)

遠征期間 2008年1月21日(月)～2月13日(水)

遠 征 先 アメリカ合衆国 グアム

(社)宮城県サッカー協会

チー ム 常盤木学園高等学校サッカー部 (女子)

遠征期間 7月8日(日)～23日(月)

遠 征 先 アメリカ合衆国 ミネアポリス

チ ー ム 仙台育英学高校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2008年3月13日(木)～25日(火)

遠 征 先 チリ サンチャゴ

(NPO)山形県サッカー協会

チ ー ム 山形県U-15選抜チーム (第3種)

遠征期間 8月20日(月)～23日(木)

遠 征 先 韓国 全州

(財)福島県サッカー協会

チ ー ム いわきトレセンU-13 (第3種)

遠征期間 8月3日(金)～7日(火)

遠 征 先 韓国 蔚山

チ ー ム J F Aアカデミー福島 (女子)

遠征期間 2008年2月24日(日)～3月5日(水)

遠 征 先 アメリカ合衆国 フロリダ

チ ー ム J F Aアカデミー福島 (第3種)

遠征期間 2008年3月16日(日)～28日(金)

遠 征 先 フランス パリ

チ ー ム 福島県トレセン (U-14) (第3種)

遠征期間 2008年3月21日(金)～30日(日)

遠 征 先 フランス マルセイユ

関東サッカー協会

チ ー ム 関東大学選抜チーム (第1種)

遠征期間 7月28日(土)～8月2日(木)

遠 征 先 韓国 ソウル

(財)茨城県サッカー協会

チ ー ム 流通経済大学 (第1種)

遠征期間 5月21日(月)～6月2日(土)

遠 征 先 イタリア クレーマ

チ ー ム 茨城トレセン (U-14) (第3種)

遠征期間 8月16日(木)～25日(土)

遠 征 先 オランダ フンデロー、イタリア イモラ

チ ー ム 鹿島アントラーズノルテジュニアユース (第3種)

遠征期間 8月20日(月)～30日(木)

遠 征 先 ブラジル リオデジャネイロ

チ ー ム 鹿島アントラーズジュニアユース (第3種)

遠征期間 8月20日(月)～30日(木)

遠 征 先 ブラジル リオデジャネイロ

チ ー ム 鹿島アントラーズユース (第2種)

遠征期間 2008年3月12日(水)～20日(木)

遠 征 先 イタリア ミラノ・トリノ

チー ム F C常総アイデンティ (第3種)
遠征期間 2008年3月26日(木)～4月3日(木)
遠 征 先 オランダ ソエスト

(社)栃木県サッカー協会

チー ム 栃木県選抜 (第4種)
遠征期間 8月19日(日)～22日(水)
遠 征 先 韓国 ソウル

(社)群馬県サッカー協会

チー ム 前橋育英高校 (第2種)
遠征期間 10月11日(木)～14日(日)
遠 征 先 中国 大連

チー ム F Cおおたジュニアユース (第3種)
遠征期間 2008年3月30日(日)～4月5日(土)
遠 征 先 アメリカ合衆国 ロサンゼルス

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズ (第1種)
遠征期間 5月23日(水)～5月28日(月)
遠 征 先 中国 香港

チー ム さいたま市高校選抜サッカー選手団 (第2種)
遠征期間 7月24日(火)～8月1日(水)
遠 征 先 オーストラリア ゴールドコースト

チー ム 尚美学園大学 (第1種)
遠征期間 7月28日(土)～8月1日(水)
遠 征 先 韓国 ソウル

チー ム 武蔵丘短期大学シエンシア (女子)
遠征期間 8月3日(金)～14日(火)
遠 征 先 イギリス ロンドン

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズジュニアユース (第2種)
遠征期間 8月8日(水)～17日(金)
遠 征 先 スペイン ビジャレアル

チー ム 浦和レッドダイヤモンドズジュニアユース (第3種)
遠征期間 8月21日(火)～29日(水)
遠 征 先 ドイツ ミュンヘン

チー ム 大宮アルディージャジュニアユースチーム (第3種)
遠征期間 8月21日(火)～30日(木)
遠 征 先 オランダ シッタード/ヘレーン

チー ム 坂戸ディプロマッツFC (第3種)
遠征期間 11月30日(金)～12月9日(日)
遠 征 先 シンガポール ウェストコースト

チー ム 大宮アルディージャ (第1種)

遠征期間 2008年1月29日(火)～2月12日(火)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チーム 浦和レッドダイヤモンドズ (第1種)
遠征期間 2008年2月11日(月)～24日(日)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チーム 浦和東高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2008年3月25日(火)～4月2日(水)
遠征先 イングランド マンチェスター

(社)千葉県サッカー協会

チーム 船橋市立船橋高校 (第2種)
遠征期間 5月19日(土)～29日(火)
遠征先 デンマーク/オランダ オーデンセン/ファルセフェルト

チーム 松戸MACS (第5種)
遠征期間 8月4日(土)～7日(火)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チーム 船橋市立船橋高校 (第2種)
遠征期間 8月27日(月)～9月5日(水)
遠征先 イタリア サンジョルジョ デラ リッチインベルダ (ポルデノーネ)

チーム ジェフユナイテッド市原・千葉U-19 (第2種)
遠征期間 9月2日(日)～11日(火)
遠征先 イタリア トリノ

チーム 柏レイソル (第1種)
遠征期間 2008年1月26日(土)～2月2日(土)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チーム ジェフユナイテッド市原・千葉 (第1種)
遠征期間 2008年2月2日(土)～17日(日)
遠征先 トルコ アンタルヤ

チーム ジェフユナイテッド市原・千葉U-18 (第2種)
遠征期間 2008年2月23日(土)～3月6日(木)
遠征先 イタリア アルコ

チーム 柏レイソルU-18 (第2種)
遠征期間 2008年3月14日(金)～25日(金)
遠征先 スペイン バルセロナ

チーム 柏レイソルU-15 (第3種)
遠征期間 2008年3月16日(金)～25日(火)
遠征先 フランス パリ ・ スペイン オビエド

チーム 柏イーグルスTOR'82 (第3種)
遠征期間 2008年3月21日(金)～4月4日(金)
遠征先 アルゼンチン ブエノスアイレス

(財)東京都サッカー協会

チー ム CASCABEL TOKYO (フットサル)
遠征期間 2007年3月28日(水)～4月8日(日)
遠征先 ブラジル サンパウロ

チー ム FC東京U-15 深川 (第3種)
遠征期間 5月24日(木)～30日(水)
遠征先 フランス パリ

チー ム U-15 むさし (第3種)
遠征期間 6月10日(日)～20日(水)
遠征先 イタリア フィレンツェ

チー ム 東京ヴェルディ 1969 ジュニア (第4種)
遠征期間 6月27日(水)～7月3日(火)
遠征先 フランス リヨン

チー ム 慶應義塾体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 6月29日(金)～7月2日(月)
遠征先 韓国 ソウル

チー ム 東京ヴェルディ 1969 ジュニアユース (第3種)
遠征期間 7月18日(水)～8月1日(水)
遠征先 ブラジル ロンドリーナ

チー ム 慶應義塾体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2007年8月2日(木)～11日(土)
遠征先 オーストラリア シドニー

チー ム FC新宿内藤 (第4種)
遠征期間 8月4日(土)～7日(火)
遠征先 韓国 ソウル

チー ム 東京ヴェルディ 1969 ジュニア (第4種)
遠征期間 8月15日(水)～27日(月)
遠征先 ブラジル サンパウロ

チー ム FC東京U-18 (第2種)
遠征期間 年8月20日(月)～23日(木)
遠征先 韓国 釜山

チー ム ASVペスカドーラ町田 (フットサル)
遠征期間 8月21日(火)～28日(火)
遠征先 ポルトガル リスボン

チー ム 三菱養和サッカークラブユース (第2種)
遠征期間 8月23日(木)～29日(水)
遠征先 韓国 蔚山

チー ム 八王子代表U-15 (第3種)
遠征期間 8月24日(金)～27日(月)
遠征先 韓国 始興

チー ム 東京都専門学校サッカー連盟選抜チーム (第1種)

遠征期間 11月16日(金)～19日(月)
遠征先 韓国 ソウル

チーム 東京ヴェルディユース (第2種)
遠征期間 2008年1月11日(金)～22日(火)
遠征先 スペイン・バルセロナ / フランス・マルセイユ

チーム FC東京 (第1種)
遠征期間 2008年1月23日(水)～2月1日(金)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チーム 國學院体育連合会蹴球部 (第1種)
遠征期間 2008年3月3日(月)～8日(土)
遠征先 カンボジア プノンペン

チーム 東海大学菅生高等学校 (第2種)
遠征期間 2008年3月16日(日)～24日(月)
遠征先 スペイン バルセロナ

チーム 駒澤大学体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2008年3月17日(月)～26日(水)
遠征先 イタリア・パルマ フランス・マルセイユ

チーム 修徳高等学校 (第2種)
遠征期間 2008年3月20日(木)～30日(日)
遠征先 オランダ ハーレム

チーム 日テレ・ベレーザ (女子)
遠征期間 2008年3月21日(金)～29日(土)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チーム 東京都中体連選抜U-14 (第3種)
遠征期間 2008年3月27日(木)～31日(月)
遠征先 韓国 京畿道・ソウル

チーム バディサッカークラブ (第4種)
遠征期間 2008年3月28日(金)～31日(月)
遠征先 韓国 ソウル

チーム FC東京U-15むさし (第3種)
遠征期間 2008年3月31日(月)～4月7日(月)
遠征先 メキシコ グアダハラ

チーム 府中アスレティックフットボールクラブ (フットサル)
遠征期間 2008年4月22日(火)～28日(月)
遠征先 ロシア ノヴィーウンゴレイ

チーム FUN Ladies (女子)
遠征期間 2008年4月23日(水)～29日(火)
遠征先 ポルトガル ラゴア

チーム FC東京U-15深川 (第3種)
遠征期間 2008年5月8日(木)～14日(水)

遠 征 先 フランス パリ

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム スカイブルーサッカースポーツ少年団 (第4種)

遠征期間 7月14日(土)～16日(月)

遠 征 先 韓国 保寧

チ ー ム 横浜少年選抜サッカーチーム (第4種)

遠征期間 8月6日(月)～9日(木)

遠 征 先 韓国 仁川

チ ー ム 東海大学体育会サッカー部 (第1種)

遠征期間 8月10日(金)～16日(木)

遠 征 先 韓国 ソウル

チ ー ム 横浜FCユース (第2種)

遠征期間 8月22日(水)～27日(月)

遠 征 先 韓国 ソウル

チ ー ム 川崎フロンターレU-18 (第2種)

遠征期間 8月22日(水)～24日(金)

遠 征 先 中国 杭州

チ ー ム 横浜マリノスユース (第2種)

遠征期間 8月23日(木)～26日(日)

遠 征 先 韓国 ソウル

チ ー ム 川崎フロンターレU-14 (第3種)

遠征期間 8月23日(木)～31日(金)

遠 征 先 オーストラリア ゴールドコースト

チ ー ム 神奈川県U-16選抜チーム (第2種)

遠征期間 8月24日(金)～28日(火)

遠 征 先 韓国 水原

チ ー ム 横浜FC (第1種)

遠征期間 2008年1月19日(土)～26日(日)

遠 征 先 アメリカ合衆国 グアム

チ ー ム 東海大学体育会サッカー部 (第1種)

遠征期間 2008年3月7日(金)～17日(月)

遠 征 先 イングランド リリシヤル

チ ー ム 桐光学園高等学校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2008年3月13日(木)～26日(水)

遠 征 先 イタリア ローマ・ピテルボ

チ ー ム 横浜F・マリノスJY追浜 (第3種)

遠征期間 2008年3月14日(金)～27日(木)

遠 征 先 スペイン ヴァレンシア・イビサ・バルセロナ

チ ー ム 横浜F・マリノスプライマリー (第4種)

遠征期間 2008年3月18日(火)～26日(水)

遠征先 オランダ ファルケンブルグ・ロッテルダム・シッタード

チーム 横浜F・マリノスプライマリー追浜 (第4種)

遠征期間 2008年3月19日(水)～26日(水)

遠征先 フランス オルヴォ

チーム 県立湘南高等学校 (第2種)

遠征期間 2008年3月26日(水)～4月5日(土)

遠征先 スペイン ビルバオ・サン・サンティスバスチャン・バルセロナ

チーム 横浜市立東高校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2008年3月26日(水)～4月3日(木)

遠征先 スペイン パレンシア・マドリード・バレンシア・バルセロナ

チーム 県立城山高校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2008年3月27日(木)～31日(月)

遠征先 韓国 ソウル

チーム 相模原セレソン2007 (第4種)

遠征期間 2008年3月28日(金)～31日(月)

遠征先 韓国 ソウル

チーム 中野島FC (第4種)

遠征期間 2008年3月28日(金)～31日(月)

遠征先 韓国 ソウル

(社)山梨県サッカー協会

チーム ヴァンフォーレ甲府 (第1種)

遠征期間 7月23日(月)～30日(月)

遠征先 韓国 ソウル

(社)長野県サッカー協会

チーム 長野県中学選抜U-14 (第3種)

遠征期間 8月25日(土)～9月4日(火)

遠征先 スペイン/フランス バルセロナ/エクサンプロバンス/マコン

チーム 大原学園JaSRAサッカークラブ (第1種)

遠征期間 11月23日(金)～12月2日(日)

遠征先 ルーマニア ブカレスト

チーム 松商学園高等学校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2008年3月18日(火)～4月1日(火)

遠征先 ブラジル リオデジャネイロ・ボルタレドンド他

チーム U-16長野県高校選抜 (第2種)

遠征期間 2008年3月20日(木)～28日(金)

遠征先 ドイツ ミュンヘン

(社)新潟県サッカー協会

チーム 新潟県選抜 U-14 (第3種)

遠征期間 8月20日(月)～23日(木)

遠征先 韓国 ソウル/水原/光陽

チー ム アルビレックス新潟 (第1種)
遠征期間 2008年2月2日(土)～16日(土)
遠 征 先 アメリカ合衆国 グアム

(社)富山県サッカー協会

チー ム 富山県立伏木高等学校 (第2種)
遠征期間 2008年3月16日(日)～21日(金)
遠 征 先 韓国 ソウル

(社)石川県サッカー協会

チー ム 石川県シニアサッカー連盟 (シニア)
遠征期間 5月25日(金)～28日(月)
遠 征 先 韓国 全羅北道

チー ム 石川県サッカー国体少年選抜 (第2種)
遠征期間 7月21日(土)～30日(月)
遠 征 先 ブラジル サンカエターノ

チー ム FC. TONジュニアユース (第3種)
遠征期間 2008年3月27日(木)～3月30日(日)
遠 征 先 中国 上海

(財)静岡県サッカー協会

チー ム 細江ジュニアフットボールクラブ (第4種)
遠征期間 6月30日(土)～7月9日(月)
遠 征 先 ニュージーランド アシュバートン

チー ム 清水エスパルス (第1種)
遠征期間 7月11日(水)～22日(日)
遠 征 先 韓国 釜山、光陽、ソウル

チー ム 掛川高校選抜チーム (第2種)
遠征期間 7月29日(日)～8月1日(水)
遠 征 先 韓国 ソウル

チー ム 静岡県立浜松東高校 (第2種)
遠征期間 7月31日(火)～8月3日(金)
遠 征 先 韓国 ソウル

チー ム 浜松県立浜松南高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 8月12日(日)～15日(水)
遠 征 先 韓国 ソウル

チー ム 静岡県西部支部 袋井サッカー協会高校選抜 (第2種)
遠征期間 8月15日(水)～19日(日)
遠 征 先 韓国 ソウル

チー ム 磐田トレーニングセンター選抜チーム (第4種)
遠征期間 8月16日(木)～19日(日)
遠 征 先 韓国 釜山

チー ム 三島トレセン (第3種)
遠征期間 8月17日(金)～29日(水)

遠征先 ブラジル サンベルナルド

チーム 静岡県クラブユース連盟 (U-15) 選抜 (第2種)
遠征期間 8月19日(日)～29日(水)
遠征先 ブラジル サンパウロ

チーム 静岡県立藤枝東高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 8月20日(月)～23日(木)
遠征先 韓国 ソウル

チーム 静岡県ジュニアユース選抜 (U-14) (第3種)
遠征期間 8月21日(火)～26日(日)
遠征先 中国 上海/杭州

チーム 静岡県立吉田高等学校 (第2種)
遠征期間 8月27日(月)～30日(木)
遠征先 韓国 ソウル

チーム 静岡トレーニングセンターU-12 (第4種)
遠征期間 9月13日(木)～18日(火)
遠征先 韓国 蔚山

チーム 静岡フットボールクラブ (第1種)
遠征期間 11月5日(月)～9日(金)
遠征先 韓国 ソウル

チーム 藤枝明誠高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 12月22日(土)～24日(月)
遠征先 中国 上海

チーム 静岡県女子U18 (女子)
遠征期間 2008年3月18日(火)～22日(土)
遠征先 中国 上海

チーム 静岡県西部高校選抜 (第2種)
遠征期間 2008年3月20日(木)～28日(金)
遠征先 スペイン マドリード

チーム NPO藤枝東FC Jr. ユース (第3種)
遠征期間 2008年3月21日(金)～28日(金)
遠征先 フランス パリ

チーム 静岡県立藤枝北高等学校 (第2種)
遠征期間 2008年3月22日(土)～30日(日)
遠征先 オーストラリア ブリスベン

チーム U-16 静岡県選抜 (第2種)
遠征期間 2008年3月23日(日)～31日(月)
遠征先 イタリア ローマ

チーム T&Tサッカークラブ (第3種)
遠征期間 2008年3月24日(月)～26日(水)
遠征先 韓国 ソウル

チー ム 沼津トレセン (沼津選抜チーム) (第4種)
遠征期間 2008年3月29日(土)～4月4日(金)
遠征先 イタリア サルソマジョーレ

チー ム 富士市高校トレセン (第2種)
遠征期間 2008年3月30日(日)～4月2日(水)
遠征先 韓国 ソウル

チー ム 静岡県立清水東高校 (第2種)
遠征期間 2008年3月31日(月)～4月3日(木)
遠征先 韓国 ソウル

(財)愛知県サッカー協会

チー ム 名古屋オーシャンズ (フットサル)
遠征期間 4月2日(月)～4月10日(火)
遠征先 ポルトガル ポルティマン

チー ム 名古屋オーシャンズ (フットサル)
遠征期間 6月1日(金)～6月5日(火)
遠征先 ロシア ノヴヴェイ ウンゴレイ

チー ム 名古屋グランパスエイトU15 (第3種)
遠征期間 8月15日(水)～25日(土)
遠征先 オランダ シッタード

チー ム 愛知フットボールクラブ (第2種)
遠征期間 8月18日(土)～21日(火)
遠征先 韓国 ソウル/利川

チー ム 愛知フットボールクラブ (第2種)
遠征期間 8月22日(水)～28日(火)
遠征先 タイ バンコク

チー ム 名古屋グランパスエイトU-18 (第2種)
遠征期間 2008年3月18日(火)～27日(木)
遠征先 イタリア トリノ

チー ム シルフィールドフットボールクラブ&セントラル豊橋 (第3種)
遠征期間 2008年3月25日(火)～4月2日(水)
遠征先 オランダ ロッテルダム

チー ム Football Club ERDE (第3種)
遠征期間 2008年3月27日(木)～29日(土)
遠征先 韓国 東豆川

(財)岐阜県サッカー協会

チー ム 岐阜県サッカー協会ジュニアユーストレーニングセンターU-14(第3種)
遠征期間 8月21日(火)～25日(土)
遠征先 大韓民国 ソウル

(社)滋賀県サッカー協会

チー ム 滋賀県立野洲高等学校サッカー部 (第2種)

遠征期間 7月26日(木)～8月3日(金)
遠征先 ドイツ ヒルデン

チーム びわこ成蹊スポーツ大学 (第1種)
遠征期間 9月3日(月)～6日(木)
遠征先 韓国 ソウル

チーム 滋賀県トレセンU-14 チーム (第3種)
遠征期間 2008年3月20日(木)～31日(月)
遠征先 ブラジル サンパウロ

チーム 滋賀県トレセンU12 (第4種)
遠征期間 2008年3月21日(金)～25日(火)
遠征先 中国 上海

チーム びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部 (第1種)
遠征期間 2008年3月21日(金)～28日(金)
遠征先 スペイン バルセロナ

(社)京都府サッカー協会

チーム 京都パープルサンガU-15 (第3種)
遠征期間 8月27日(月)～30日(木)
遠征先 韓国 龍仁

チーム U-13 京都府代表チーム (第3種)
遠征期間 2008年3月24日(月)～4月2日(水)
遠征先 フランス パリ

チーム 京都サンガF.C. U15 (第3種)
遠征期間 2008年3月30日(日)～4月6日(火)
遠征先 スペイン バルセロナ

チーム 京都少年団選抜チーム (第4種)
遠征期間 2008年4月3日(木)～6日(日)
遠征先 韓国 ソウル・龍仁

(社)大阪府サッカー協会

チーム 大阪女子選抜U-18 (女子)
遠征期間 7月4日(水)～9日(月)
遠征先 韓国 安山

チーム 大阪府U-16選抜 (第2・3種)
遠征期間 7月22日(日)～26日(木)
遠征先 韓国 蔚山

チーム 豊中FC U-15 (第3種)
遠征期間 8月9日(木)～16日(木)
遠征先 ドイツ ミュンヘン

チーム シュライカー大阪 (フットサル)
遠征期間 8月15日(水)～20日(月)
遠征先 台湾 タイペイ

チー ム 此花学院高等学校 (第2種)
遠征期間 8月20日(月)～24日(金)
遠征先 韓国 ソウル

チー ム 大阪府トレセンU-12 (第4種)
遠征期間 11月1日(木)～7日(水)
遠征先 韓国 南海郡

チー ム STAYCOOL FC (第4種)
遠征期間 11月26日(月)～12月1日(土)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チー ム 河内長野市選抜 (第4種)
遠征期間 12月21日(金)～24日(月)
遠征先 韓国 ソウル

チー ム ガンバ大阪 (第1種)
遠征期間 2008年1月31日(火)～2月9日(土)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チー ム ガンバ大阪 (第1種)
遠征期間 2008年2月12日(火)～25日(月)
遠征先 アメリカ合衆国 ハワイ

チー ム 大阪学院大学体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2008年3月17日(月)～20日(木)
遠征先 韓国 ソウル

(社)兵庫県サッカー協会

チー ム 滝川第二高校 Bチーム (第2種)
遠征期間 2007年3月30日(土)～4月10日(火)
遠征先 アメリカ合衆国 ダラス

チー ム INACレオネッサ (第5種)
遠征期間 8月21日(火)～27日(月)
遠征先 中国 上海

チー ム ヴィッセル神戸 (第1種)
遠征期間 8月21日(火)～23日(木)
遠征先 中国 香港

チー ム ヴィッセル神戸ジュニア (第4種)
遠征期間 12月15日(土)～18日(火)
遠征先 マレーシア クアラルンプール

チー ム ヴィッセル神戸 (第1種)
遠征期間 2008年1月31日(木)～2月14日(木)
遠征先 アメリカ合衆国 グアム

チー ム 神戸市U-13選抜チーム (第4種)
遠征期間 2008年3月26日(水)～30日(日)
遠征先 中国 上海

(社)奈良県サッカー協会

チー ム 天理大学サッカー部 (第1種)
遠征期間 8月17日(金)～20日(日)
遠 征 先 台湾 台北

チー ム 奈良県トレーニングセンターU-14 (第3種)
遠征期間 2008年3月20日(木)～4月1日(火)
遠 征 先 ブラジル サンパウロ

チー ム 奈良市立一条高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2008年3月20日(水)～29日(土)
遠 征 先 スペイン バルセロナ

(財)広島県サッカー協会

チー ム 広島県選抜チーム(国体成年男子) (第1種)
遠征期間 8月5日(日)～8日(水)
遠 征 先 韓国 ソウル

チー ム サンフレッチェ広島 (第1種)
遠征期間 2008年2月1日(金)～15日(金)
遠 征 先 トルコ アンタルヤ

チー ム 広島県高校選抜チーム (第2種)
遠征期間 2008年3月21日(金)～24日(月)
遠 征 先 韓国 ソウル

チー ム 広島県立広島観音高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2008年3月25日(火)～28日(金)
遠 征 先 中国 大連

(社)山口県サッカー協会

チー ム 岩国F Aトレセン U-12、U-11 (第4種)
遠征期間 7月21日(土)～24日(火)
遠 征 先 韓国 蔚山広域市

チー ム 岩国F Aジュニアユーストレセン (第3種)
遠征期間 7月30日(月)～8月3日(金)
遠 征 先 韓国 蔚山

チー ム カバジェロス岩国 (シニア)
遠征期間 2008年5月16日(金)～18日(日)
遠 征 先 韓国 蔚山広域市

(社)徳島県サッカー協会

チー ム 徳島県トレセンサッカー (第4種)
遠征期間 2008年3月27日(木)～31日(月)
遠 征 先 韓国 ソウル

(社)愛媛県サッカー協会

チー ム 今越フットボールクラブ (第3、4種)
遠征期間 2007年3月26日(月)～4月2日(月)
遠 征 先 オランダ シッタード

- (社)高知県サッカー協会
チー ム 高知FC (第4種)
遠征期間 8月23日(木)～29日(水)
遠 征 先 韓国 釜山
- (社)福岡県サッカー協会
チー ム 筑後トレセン U-14・15 (第3種)
遠征期間 8月14日(火)～16日(木)
遠 征 先 韓国 釜山
- チー ム 九州国際大学付属高等学校 (第2種)
遠征期間 8月20日(月)～25日(土)
遠 征 先 韓国 釜山
- (社)佐賀県サッカー協会
チー ム サガン鳥栖U-18 (第2種)
遠征期間 2008年3月29日(土)～4月1日(火)
遠 征 先 韓国 釜山
- (社)長崎県サッカー協会
チー ム 島原市中学生サッカー選抜チーム(U-15) (第3種)
遠征期間 8月13日(月)～16日(木)
遠 征 先 韓国 安東
- (社)熊本県サッカー協会
チー ム 熊本トレセンU-13 (第3種)
遠征期間 8月22日(水)～24日(金)
遠 征 先 韓国 大邱
- チー ム 熊本ルーテル学院サッカー部 (第2・3種)
遠征期間 8月31日(金)～9月1日(日)
遠 征 先 韓国 釜山
- チー ム ロアッサ熊本(J2) (第1種)
遠征期間 2008年2月23日(土)～25日(月)
遠 征 先 韓国 金海
- (社)大分県サッカー協会
チー ム 大分トリニータU-18 (第2種)
遠征期間 2008年3月22日(土)～29日(土)
遠 征 先 韓国 蔚山
- (社)宮崎県サッカー協会
チー ム 鵬翔高等学校 (第2種)
遠征期間 8月28日(火)～9月2日(日)
遠 征 先 韓国 ソウル
- (社)鹿児島県サッカー協会
チー ム 大隈地区トレセン選抜 (第4種)
遠征期間 8月17日(金)～20日(月)
遠 征 先 韓国 釜山

2 国際競技会（有料・無料）・名義使用あり

(社)宮城県サッカー協会

大会名 第5回仙台カップ国際ユースサッカー大会
主 催 (財)日本サッカー協会、(社)宮城県サッカー協会、仙台市 他
主 管 仙台カップ国際ユースサッカー大会実行委員会
後 援 外務省、文部科学省、ブラジル大使館、フランス大使館 他
協 賛 河北新聞社 他
期 日 8月29日(水)～9月2日(日)
会 場 仙台スタジアム
参加チーム U-18 ブラジル代表、U-18 フランス代表、U-18 日本代表、U-18 東北代表
入場料 前売1日券 S席 2,000円
自由席(一般)1,000円、(中学生)500円、(小学生以下)無料
前売ナイター券自由席(一般)500円、(中学生)300円、(小学生以下)無料
当日1日券 S席 2,500円
自由席(一般)1,500円、(中学生)1,000円、(小学生以下)無料
前売ナイター券自由席(一般)1,000円、(中学生)800円、(小学生以下)無料

(財)東京都サッカー協会

大会名 すかいらくグループリーグ ジョナサンステージ
～Futsal League For Working Lady～
主 催 フジテレビジョン、(財)東京都サッカー協会
後 援 (財)日本サッカー協会
協 賛 すかいらくグループ
期 日 2008年1月20日(日)
会 場 東京ビッグサイト 西3ホール
参加チーム 6チーム
試合の種類 全席指定4,000円 ピッチサイド席3,000円

大会名 2008 東京国際ユース(U-14)サッカー大会
主 催 (財)東京都サッカー協会、東京都
主 管 2008 東京国際ユース(U-14)サッカー大会実行委員会
後 援 (財)日本サッカー協会、多摩市、多摩市教育委員会、稲城市、
稲城市教育委員会、八王子市、(財)東京都体育協会、東京都中学校体育連盟、東京
私立中学高等学校協会、(財)東京都スポーツ文化事業団
期 日 2008年4月26日(土)～28日(月)
会 場 多摩市立陸上競技場、稲城中央後援総合グラウンド、味の素スタジアム、
アミノバイタルフィールド
参加チーム ベルリン市選抜AB(ドイツ)、ジャカルタ市選抜AB(インドネシア)、
ロンドン市選抜AB(イギリス)、モスクワ市選抜AB(ロシア)、
ニューサウスウェールズ州選抜AB(オーストラリア)、
パリ市選抜AB(フランス)、サンパウロ市選抜AB(ブラジル)、
ソウル市AB(大韓民国)、東京都選抜AB
入場料 無料

(財)静岡県サッカー協会

大会名 第21回全国少年少女草サッカー大会
主 催 (財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、朝日新聞社、静岡市、
全国少年少女草サッカー大会組織委員会
主 管 全国少年少女草サッカー大会実行委員会
特別協賛 第一三共製薬(株)
後 援 文部科学省、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、由比町教育委員会、

富士川市教育委員会、静岡市議会、(財)静岡市体育協会、清水区連合体育会、静岡朝日テレビ、朝日学生新聞社、日刊スポーツ新聞社
期 日 8月17日(金)～21日(火)
会 場 日本平運動公園球技場、静岡市内小・中学校
参加チーム 香港少年選抜(中国)、国内少年少女チーム 計288チーム
入場料 無料

大会名 第21回全国少年少女草サッカー大会
主 催 (財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、朝日新聞社、静岡市
主 管 全国少年少女草サッカー大会実行委員会
特別協賛 第一三共製薬(株)
後 援 文部科学省、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、由比町教育委員会、富士川市教育委員会、静岡市議会、(財)静岡市体育協会、清水区連合体育会、静岡朝日テレビ、朝日学生新聞社、日刊スポーツ新聞社

期 日 8月17日(金)～21日(火)
会 場 日本平運動公園競技場、清水総合運動場
参加チーム 香港少年選抜(中国)、国内少年少女チーム 計288チーム
入場料 無料

大会名 2007 S B S カップ国際ユースサッカー
主 催 (財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、静岡新聞社、静岡放送
主 管 (財)静岡県サッカー協会、静岡新聞社、静岡放送
後 援 外務省、文部科学省、アメリカ大使館、ウクライナ大使館、静岡県、静岡県教育委員会、(財)静岡県国際交流協会、開催各市、開催各市教育委員会、開催各市国際交流協会、T B S、(社)静岡県サッカーを愛する会

協 賛 プーマ・ジャパン(株)
期 日 8月11日(土)～14日(火)
会 場 草薙陸上競技場、藤枝運動公園サッカー場、小笠山総合運動公園エコパスタジアム
参加チーム U-18 アメリカ代表、U-18 ウクライナ代表、U-18 日本代表、静岡ユース
入場料 前売 一般1,300円、高校生600円、中学生300円、小学生200円
当日 一般1,500円、高校生800円、中学生500円、小学生300円

大会名 第8回静岡世界サッカー大会
主 催 第8回静岡世界サッカー大会実行委員会((財)静岡県サッカー協会、静岡県、(社)静岡県サッカーを愛する会)

主 管 (財)静岡県サッカー協会4種少年委員会
後 援 (財)日本サッカー協会、外務省、関係各国大使館、ウクライナ大使館、静岡県教育委員会、(財)静岡体育協会、(財)静岡県国際交流協会、報道機関各社他

協 賛 アディダス・ジャパン(株)、日本航空、スルガ銀行 他

期 日 8月22日(水)～28日(火)
会 場 小笠山総合運動公園エコパスタジアム
参加チーム アヤックス(オランダ)、ウェストハム・ユナイテッド(イングランド)、エストゥデアンス・デ・ラ・プラタ(アルゼンチン)、パチューカ(メキシコ)、横浜F・マリノスプライマリー、福岡県選抜、静岡県選抜A・B
入場料 無料

(財)愛知県サッカー協会

大会名 第8回豊田国際ユース(U-16)サッカー大会
主 催 (財)日本サッカー協会、(財)愛知県サッカー協会、豊田市、豊田市教育委員会、中日新聞社、東海テレビ放送、名古屋グランパスエイト、(株)豊田スタジアム
主 管 西三河サッカー協会、豊田市サッカー協会、(財)豊田市体育協会

後 援 外務省、アラブ首長国連邦大使館、オーストラリア大使館、アメリカ大使館、大韓民国大使館、愛知県、愛知県教育委員会、(社)日本プロサッカーリーグ、豊橋市・岡崎市・豊川市・碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・蒲郡市・新城市、知立市・高浜市・田原市・中津川市・三好町 各教育委員会、名古屋市鉄道、愛知環状鉄道

協 賛 アラブ首長国連邦大使館、オーストラリア大使館、アメリカ合衆国大使館、大韓民国大使館

期 日 8月9日(木)～12日(日)

会 場 豊田市運動公園球戯場、豊田スタジアム

参加チーム アラブ首長国連邦 U-16 代表チーム、アメリカ合衆国 U-16 代表チーム、オーストラリア U-16 代表チーム、大韓民国 U-16 代表チーム、日本 U-16 代表チーム他、国内 2 チーム

入場料 前売り 予選リーグ 高校生以上 500 円、小中学生以下 無料
順位決定戦 高校生以上 1,000 円、小中学生以下 500 円

当 日 予選リーグ 高校生以上 700 円、小中学生以下 無料
順位決定戦 高校生以上 1,200 円、小中学生以下 700 円

(財)岡山県サッカー協会

大会名 晴れの国 岡山国際ユースサッカー2007

主 催 (財)岡山県サッカー協会、山陽放送、山陽新聞

主 管 岡山国際ユースサッカー大会実行委員会

後 援 (財)日本サッカー協会、岡山県高等学校体育連盟

協 賛 (株)三輪、(株)アシックス、ユニバーサルホテル

期 日 8月14日(火)～16日(木)

会 場 岡山桃太郎スタジアム 他

参加チーム グルノーブルフット 38 ユース U-17(フランス)、ヨン・イン FC(大韓民国)、作陽高等学校 他、国内 5 チーム

入場料 一般 1,000 円、高校生 700 円、小・中学生 500 円 (前売・当日共)

(財)広島県サッカー協会

大会名 フットサル・イタリアチャレンジ 2007 in 広島

主 催 (財)広島県サッカー協会、フットサル・イタリアチャレンジ 2007 in 広島実行委員会

主 管 (財)広島県サッカー協会フットサル委員会

後 援 (財)日本サッカー協会

協 賛 県内企業各社

期 日 6月1日(金)

会 場 広島県立総合体育館・小アリーナ

参加チーム A. S. D. COARORVIETO(イタリア)、広島 F・DO

入場料 一般 500 円、小・中・高 100 円

大会名 平和祈念 広島国際ユースサッカー2007 Balcom BMW CUP

主 催 (財)広島県サッカー協会、中国放送、中国新聞社、ひろしま P ステーション

主 管 (財)広島県サッカー協会 2 種委員会

後 援 (財)日本サッカー協会、広島市、広島市教育委員会、広島県教育委員会、広島県体育協会、(財)広島市スポーツ協会、広島日伯協会、広島日仏協会

特別協賛 (株)バルコムモーターズ

協 賛 (株)アシックス 他

期 日 8月10日(金)～13日(月)

会 場 広島スタジアム、広島広域公園球技場

参加チーム グルノーブルフット 38 ユース U-17(フランス)、コリンチャンス U-16(ブラジル)、サンフレッチェ広島ユース、広島高校選抜

入場料 前売り 大人 1,000 円、高校生 700 円、中学生 500 円、小学生 300 円

当日 大人 1,200 円、高校生 1,000 円、中学生 800 円、小学生 400 円

九州サッカー協会

大会名 2008 サニックス杯国際ユースサッカー大会
主 催 九州サッカー協会、(財)サニックススポーツ振興財団
共 催 (財)日本サッカー協会
主 管 (社)福岡県サッカー協会、宗像市サッカー協会、
サニックス杯国際ユースサッカー大会実行委員
後 援 福岡県、福岡県教育委員会、(財)福岡県体育協会、宗像市、
宗像市教育委員会、宗像市体育協会、青少年アンビシャス運動推進本部、
西日本新聞社
期 日 2008 年 3 月 20 日(木)～3 月 23 日(日)
会 場 グローバルアリーナ
参加チーム 中国代表U-16、韓国代表U-16、日本代表U-16、福岡県選抜U-16、アビスパ福岡
ユース、東京ヴェルディユース、FC東京ユース、青森山田高校、作陽高校、星稜
高校、大津高校、鵬翔高校、鹿児島実業高校、東海大第五高校、福岡県高校サッカ
ー新人大会優勝校、九州高校サッカー新人大会優勝校 計 16 チーム
試合の種類 無料試合

3 国際競技会（有料・無料）・名義使用なし

(社)千葉県サッカー協会

大会名： 第17回コミュニティワールドカップサッカー in 八千代
主 催： (社)千葉県サッカー協会
主 管： 八千代市、八千代市教育委員会、八千代市サッカー協会、
(社)千葉県サッカー協会、
第17回コミュニティワールドカップサッカー in 八千代実行委員会
後 援： 八千代市体育協会
期 日： 12月22日(土)～25日(火)
会 場： 八千代市総合運動公園多目的広場、市内中学校グラウンド
参加チーム： 仁川市萬壽中学校(大韓民国)、カンポグランデ市選抜(ブラジル)、
東京朝鮮選抜、帯広トレセンU-14、青森県トレセンU-14、新潟県選抜、
暁星中学校、桐蔭学院中学校、横浜FC鶴見ジュニアユース、
清水FCジュニアユース、宮崎県選抜、沖縄県島尻U-14選抜、南総選抜、
柏ジュニアユース選抜、習志野市選抜、八千代市選抜

(財)東京都サッカー協会

大会名： 第45回早稲田大学・高麗大学定期戦
主 催： (財)東京都サッカー協会
主 管： 早稲田大学ア式蹴球部
期 日： 7月26日(木)
会 場： 国立競技場
参加チーム： 高麗大学(大韓民国)、早稲田大学

大会名： カイザースラウテルン市/文京区親善試合
主 催： (財)東京都サッカー協会
主 管： 文京区少年サッカーチーム姉妹都市交流事業委員会、
文京区少年サッカー大会運営委員会
期 日： 7月28日(土)
会 場： 東京大学御殿下グラウンド
参加チーム： カイザースラウテルン市少年サッカーチーム、文京区少年サッカーチーム

大会名： 2008年日韓親善少年サッカー新宿
主 催： (財)東京都サッカー協会、新宿区サッカー協会
主 管： 新宿区少年サッカー連盟
後 援： 新宿区教育委員会
期 日： 2008年1月19日(土)～20日(日)
会 場： 新宿区落合中央公園競技場
参加チーム： ハレルヤ幼少年サッカークラブ(大韓民国)、新宿区FA少年連盟チーム

(社)神奈川県サッカー協会

大会名： 高麗杯 第7回 ジュニアサッカー選手権大会
主 催： (社)神奈川県サッカー協会
主 管： 高麗杯 大会実行委員会
後 援： 横浜市、横浜市教育委員会、在日本大韓民国民団神奈川県本部、
在日朝鮮人神奈川県体育協会
期 日： 9月16日(日)～17日(月)
会 場： 日産フィールド小机
参加チーム： 5チーム
試合の種類： 無料試合

(財)静岡県サッカー協会

大会名： A. S. D. ローマ JAPAN TOUR 2007
主 催： (財)静岡県サッカー協会、静岡県フットサル連盟
主 管： (財)静岡県サッカー協会東部支部、静岡県フットサル連盟
後 援： スポーツ報知、イタリア大使館、イタリア政府観光局、イタリア文化会館
協 賛： ヒューマン・アカデミー、FIATAUTO JAPAN、SAMURAIJAPAN、
(株)エス・ティー・ワールド
期 日： 8月28日(火)
会 場： 東レ三島工場体育館
参加チーム： A. S. D. ローマ(イタリア)、イカイフットサルクラブ
入場料： 無料

(財)愛知県サッカー協会

大会名： 名古屋オーシャンズ国際マッチ
主 催： (財)愛知県サッカー協会
主 管： 大洋薬品フットサルクラブ(株)
期 日： 8月30日(木)
会 場： パークアリーナ小牧
参加チーム： A. S. D. ローマ(イタリア)、名古屋オーシャンズ
入場料： 無料

(社)三重県サッカー協会

大会名： オーストラリア代表チーム VS 名古屋オーシャンズ 親善試合
主 催： フットサル事前キャンプ受入実行委員会、(社)三重県サッカー協会
期 日： 5月9日(水)
会 場： 三重県営サンアリーナ
参加チーム： オーストラリアフットサル代表チーム、名古屋オーシャンズ
入場料： 無料

(社)京都府サッカー協会

大会名： 第24回日韓親善少年サッカー大会
主 催： (社)京都府サッカー協会
主 管： (社)京都府サッカー協会4種委員会、京都サッカースポーツ少年団連盟
後 援： 京都府、京都市、京都新聞社、KBS京都
協 賛： 韓国京都青年会議所
期 日： 7月22日(日)
会 場： 京都市宝ヶ池球技場
参加チーム： ソウル蚕田(チャムジャン)初等学校(大韓民国)、京都少年団選抜

大会名： 2007KYOTO U-12 国際サッカー大会
主 催： (社)京都府サッカー協会
主 管： (社)京都府サッカー協会4種委員会 京都サッカースポーツ少年団連盟
期 日： 10月6日(土)～8日(月)
会 場： 京都府立山城総合運動公園・太陽が丘 サンガタウン城陽 下鳥羽公園球技場
参加チーム： 8チーム
試合の種類： 無料試合

(社)大阪府サッカー協会

大会名： 高槻グリーンライオンズカップ”2007”
主 催： (社)大阪府サッカー協会、(財)高槻市体育協会、高槻市サッカー連盟
主 管： (財)高槻市都市交流協会
後 援： 高槻市、高槻市教育委員会
協 賛： 高槻グリーンライオンズクラブ
期 日： 9月22日(土)～24日(日)

会 場： 高槻市立スポーツセンター内陸上競技場 他
参加チーム： オーストラリア少年チーム、市内小学生チーム 5 チーム

大会名： 日韓社会人親善サッカー大会
主 催： (社)大阪府サッカー協会
主 管： 大阪府社会人サッカー連盟
期 日： 11 月 24 日(土)～25 日(日)
会 場： 万博・大阪サッカーグラウンド 他
参加チーム： 韓国国民生活体育全国蹴球連合会社会人優勝チーム、大阪国体選抜、
スーパーリーグ I 優勝チーム

(財)岡山県サッカー協会

大会名： 2007 ガーナ・岡山国際親善試合
主 催： (財)岡山県サッカー協会
主 管： 2007 ガーナ・岡山国際親善試合実行委員会
期 日： 8 月 9 日(木)
会 場： 岡山県総合グラウンド(桃太郎スタジアム)
参加チーム： U-17 ガーナ代表チーム、ファジアーノ岡山
入場料： 無料

大会名： 倉敷国際ジュニアサッカー大会
主 催： (財)岡山県サッカー協会、
「ひと、輝く、スポーツフェスティバル in 倉敷実行委員会」
主 管： 倉敷市体育協会サッカー部
期 日： 10 月 27 日(土)～28 日(日)
会 場： 倉敷市水島緑地福田公園陸上競技場
参加チーム： 大韓民国選抜、中華人民共和国選抜、タイ選抜、倉敷選抜、岡山県選抜

大会名： 晴れの国 岡山KOREA・JAPANシニアサッカーWING CUP
主 催： (財)岡山県サッカー協会
共 催： 在日本大韓体育会 中国本部
特別協賛： ウインググループ
協 賛： 栄光グループ
期 日： 12 月 15 日(土)～16 日(日)
会 場： 岡山県補助陸上競技場
参加チーム： 4 チーム
試合の種類： 無料試合

(社)長崎県サッカー協会

大会名： 青少年日蘭交流事業(少年サッカー)
主 催： (社)長崎県サッカー協会、平戸市
主 管： 青少年日蘭交流事業(少年サッカー)実行委員会
期 日： 8 月 19 日(日)
会 場： 平戸市総合運動公園
参加チーム： VVS B(オランダ)、平戸市内 6 中学選抜サッカーチーム

4 国内競技会（有料・無料）・名義使用あり

日本クラブユースサッカー連盟

大会名：第4回JCYインター・シティー・カップ（U-15）inHIDA2007
主催：日本クラブユースサッカー連盟
JCYインター・シティー・カップ大会実行委員会
主管：（財）岐阜県サッカー協会
後援：（財）日本サッカー協会、（社）日本プロサッカーリーグ
協力：岐阜県飛騨市
協賛：（株）モルテン、緑風リゾートひだ流葉
運営協力：（株）ジャパン・スポーツ・プロモーション
期日：8月6日（月）～8月9日（木）
会場：古川町ふれあい広場、杉崎公園
参加チーム：16チーム（北信越3、東海5、関西8）
試合の種類：無料試合

日本フットサル連盟

大会名：第3回日本フットサル施設連盟選手権大会
主催：日本フットサル施設連盟
共催：iza、TVナビ、産経新聞
後援：（財）日本サッカー協会、日本フットサル連盟
協賛：アコム（株）、日本スポーツコート（株）、ピープルソフトウェア（株）
期日：9月2日（日）
会場：マグフットサルクラブ
参加チーム：関東・東海・関西から各2チーム、東北・中四国・九州から各1チーム
計9チーム
試合の種類：無料試合

全国社会人サッカー連盟

大会名：第9回東日本社会人サッカー大会
主催：全国社会人サッカー連盟
主管：（社）宮城県サッカー協会、宮城県社会人サッカー連盟
後援：（財）日本サッカー協会
期日：2008年7月19日（土）～21日（月・祝）
会場：宮城／仙台市
参加チーム：6チーム
試合の種類：無料試合

大会名：第28回西日本社会人サッカー大会
主催：全国社会人サッカー連盟
主管：開催府県サッカー協会、開催府県社会人サッカー連盟
後援：（財）日本サッカー協会
期日：2009年2月20日（金）～22日（日）
会場：四国
参加チーム：8チーム
試合の種類：無料試合

（財）北海道サッカー協会

大会名：2007北海道国際ユースサッカー大会
主催：（財）日本サッカー協会、（財）北海道サッカー協会、札幌市
主管：（財）北海道サッカー協会国際ユースプロジェクト委員会
後援：北海道、北海道教育委員会、（財）北海道体育協会、札幌市教育委員会
期日：8月16日（木）～19日（日）

会 場：札幌厚別公園競技場、札幌サッカーアミューズメントパーク
参加チーム：ミュンヘン 1860 F C U-16(ドイツ)、サンパウロU-16 (ブラジル)、ソウル特別市U-16(韓国)、日本代表U-16、北海道代表U-16、北海道選抜U-16
試合の種類：無料試合

(社)岩手県サッカー協会

大会名：2007 P U M A C U P いわて国際ユース大会
主催：(社)岩手県サッカー協会
主管：(社)岩手県サッカー協会2種委員会
後援：(財)日本サッカー協会
協賛：プーマジャパン(株)、プーマアパレルジャパン(株)
期 日：7月14日(土)～16日(月)
会 場：盛岡南公園球技場
参加チーム：岩手県国体選抜(U-16)、岩手県高校選抜(U-17)、秋田県国体選抜(U-16)、F. C. アトラス(メキシコ)
試合の種類：無料試合

(財)福島県サッカー協会

大会名：第4回全国ガールズ8 (U-12) サッカーフェスティバル
～J ヴィレッジなでしこカップ～
主催：(財)福島県電源地域振興財団、(株)日本フットボールヴィレッジ
主管：(財)福島県サッカー協会
後援：(財)日本サッカー協会、福島県
期 日：2008年2月9日(土)～11日(月)
会 場：J ヴィレッジ
参加チーム：32チーム予定
試合の種類：無料試合

(財)埼玉県サッカー協会

大会名：2007 P U M A C U P 第11回埼玉国際ユース
主催：(財)埼玉県サッカー協会
主管：(財)埼玉県サッカー協会
後援：(財)日本サッカー協会
協賛：プーマジャパン(株)、プーマアパレルジャパン(株)
期 日：7月21日(土)～23日(月)
会 場：埼玉スタジアム2002第2・3グラウンド、さいたま市駒場スタジアム
参加チーム：埼玉県選抜(2チーム予定)、F. C. アトラスU-16(メキシコ)
試合の種類：無料試合

大会名：2002 F I F A ワールドカップ™記念事業
埼玉国際ジュニアサッカー大会2007
主催：(財)埼玉国際ジュニアサッカー大会2007実行委員会(埼玉県、(財)埼玉県サッカー協会、さいたま市、川口市、草加市、越谷市、新座市、幸手市、(財)埼玉県公園緑地協会)
主管：埼玉県サッカー協会第4種連絡協議会
協賛：プーマジャパン(株)、三国コカコーラボトリング(株)、赤城乳業(株)、J A グループさいたま、(株)セブン&アイH L D G S、日本マクドナルド(株)、(株)インデックス・コミュニケーションズ、太平ビル管理(株)、(株)フォトクリエイト、(株)共同写真企画、埼玉トヨペット(株)、中村電設工業(株)、(株)富士薬品、本田技研工業(株)埼玉製作所、(株)しまむら、(株)与野フードセンター、東京電力(株)埼玉支店、(株)サイカン、N T T 東日本、埼玉高速鉄道(株)、マルキュー(株)、(株)ハイディ日高、さいたまコープ
特別協力：浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャ、大宮アルディージャ後援会

協 力： 東武鉄道(株)、西武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、埼玉新都市交通(株)
後 援： 外務省、文部科学省、(財)日本サッカー協会、海外参加国大使館、埼玉県教育委員会、(財)埼玉県国際交流協会、協力市町村等、県政記者クラブ加盟各社
期 日： 7月25日(水)～29日(日)
会 場： 埼玉スタジアム2002 他
参加チーム： 40 チーム (海外8チーム、埼玉県外24チーム、埼玉県内8チーム)
試合の種類： 無料試合

大会名： 第14回熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ“2008”」
主 催： (財)日本サッカー協会、(財)埼玉県サッカー協会、熊谷市、熊谷市教育委員会
主 管： 熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ」実行委員会
後 援： 毎日新聞社、埼玉県、(財)埼玉県体育協会 他
期 日： 2008年3月25日(火)～29日(土)
会 場： 熊谷市利根川総合運動公園サッカー場、熊谷市妻沼運動公園
参加チーム： 48 チーム予定
試合の種類： 無料試合

(社)千葉県サッカー協会

大会名： すかいらくグループリーグ1stステージ
主 催： フジテレビジョン
主 管： (社)千葉県サッカー協会
後 援： (財)日本サッカー協会
期 日： 5月12日(土)
会 場： 幕張イベントアリーナ
参加チーム： 4 チーム
試合の種類： 全席指定4,000円

(財)東京都サッカー協会

大会名： スフィアリーグ2007 1stステージ
主 催： (財)東京都サッカー協会、スフィアリーグ事務局(フジテレビ)
後 援： (財)日本サッカー協会、サンケイスポーツ
協 賛： すかいらくグループ
期 日： 5月4日(金・祝)
会 場： 有明コロシアム
参加チーム： 11 チーム
試合の種類： 全席指定3,000円

大会名： スフィアリーグ2007 冒険王すかいらくグループCUP
主 催： (財)東京都サッカー協会、スフィアリーグ事務局(フジテレビジョン)
後 援： (財)日本サッカー協会
協 賛： すかいらくグループ
期 日： 7月16日(月)・21日(土)、8月5日(日)・15日(日)：予選
8月26日(日)：決勝
会 場： お台場冒険ランド内特設フットサルコート
参加チーム： 16 チーム
試合の種類： 全席指定3,000円(消費税、冒険王入場料込み)※決勝戦のみ

大会名： すかいらくグループ冒険王CUP
主 催： (財)東京都サッカー協会、フジテレビジョン
後 援： (財)日本サッカー協会
協 賛： すかいらくグループ

期 日： 7月27日(金)・28日(土)：予選、8月2日(木)：決勝
8月9日(木)・11日(土)：予選、8月14日(火)：決勝
会 場： お台場冒険ランド内特設フットサルコート
参加チーム： 48 チーム
試合の種類： 全席指定 2,500 円(消費税、冒険王入場料込み)※決勝のみ

大会名： すかいらくグループリーグ～Futsal League For Working Lady～
主 催： (財)東京都サッカー協会、フジテレビジョン
後 援： (財)日本サッカー協会
協 賛： すかいらくグループ
期 日： 8月13日(月)・21日(火)
会 場： お台場冒険ランド内特設フットサルコート
参加チーム： 8 チーム
試合の種類： 全席指定 3,000 円(消費税、冒険王入場料込み)

大会名： すかいらくグループリーグ 夢庵ステージ
～Futsal League For Working Lady～
主 催： (財)東京都サッカー協会、フジテレビジョン
後 援： (財)日本サッカー協会
協 賛： すかいらくグループ
期 日： 2008年3月12日(水)
会 場： 駒沢体育館
参加チーム： 4 チーム
試合の種類： 全席指定 4,000 円

大会名： すかいらくグループリーグ 決勝大会
～Futsal League For Working Lady～
主 催： (財)東京都サッカー協会、フジテレビジョン
後 援： (財)日本サッカー協会
協 賛： すかいらくグループ
期 日： 2008年4月6日(日)
会 場： 有明コロシアム
参加チーム： 8 チーム
試合の種類： 全席指定 4,000 円

(社)神奈川県サッカー協会

大会名： ザ・ビーチ 2007
主 催： ザ・ビーチ実行委員会、(財)藤沢市スポーツ振興財団
主 管： ザ・ビーチ実行委員会
後 援： (財)日本サッカー協会、(社)神奈川県サッカー協会
協 賛： 資生堂 他
期 日： 5月4日(金)～7月29日(日) ※大会： 7月28日(土)
会 場： 藤沢市鵜沼海岸
参加チーム： 28 チーム(大会時)
試合の種類： 無料試合

(社)新潟県サッカー協会

大会名： 第11回国際ユースサッカーIN新潟
主 催： (財)日本サッカー協会、北信越サッカー協会、(社)新潟県サッカー協会
共 催： 新潟県、新潟市、新発田市、聖籠町、新潟日報社、(株)アルビレックス新潟
主 管： 国際ユースサッカーIN新潟実行委員会
後 援： 開催地体育協会
協 賛： キリンビバレッジ(株)、(株)モルテン

期 日： 7月13日(金)～16日(日)
会 場： 東北電力ビックスワンススタジアム、新発田市五十公野公園競技場、スポアイランド聖籠、新潟市陸上競技場
参加チーム： ペルーU-17 代表、ハンガリーU-17 代表、ニュージーランドU-17 代表、
U-17 日本代表、アルビレックス新潟ユースU-17、新潟国体少年選抜
試合の種類： 無料試合

(社)富山県サッカー協会

大会名： 第4回アジアユースサッカーinTOYAMA2007
主 催： (社)富山県サッカー協会、アジアユースサッカーinTOYAMA 実行委員会
後 援： (財)日本サッカー協会、(財)富山県体育協会、富山県教育委員会、
富山市教育委員会、(株)モルテン
期 日： 7月21日(土)～23日(月)
会 場： 富山県岩瀬スポーツ公園サッカー・ラグビー場
参加チーム： U-16 富山県選抜、韓国ウジョブ高校、横浜FCユース
試合の種類： 無料試合

(財)岐阜県サッカー協会

大会名： 第4回ぎふ国際ユースサッカー大会
主 催： (財)岐阜県サッカー協会、中日新聞社、東海テレビ放送
主 管： (財)岐阜県サッカー協会
後 援： (財)日本サッカー協会、岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県イベント・スポーツ
振興事業団、岐阜市、岐阜市教育委員会、岐阜市体育協会
協 賛： 西濃運輸、田口福寿会
期 日： 8月7日(火)
会 場： 岐阜長良川球技メドウ
参加チーム： U-16 オーストラリア代表、U-16 岐阜県選抜
試合の種類： 前売 高校生以上 800 円、当日 高校生以上 1,000 円

(社)福岡県サッカー協会

大会名： 第12回北九州市長杯争奪 北九州招待サッカー大会
主 催： (社)福岡県サッカー協会、北九州市サッカー協会
主 管： 北九州招待サッカー大会実行委員会、アビスパ福岡、
NPO 法人北九州フットボールクラブ
後 援： (財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、
北九州商工会議所、(財)北九州活性化協議会、(社)北九州青年会議所、
(社)北九州青年経営者会議、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、
西日本新聞社、日刊スポーツ新聞社、スポーツニッポン新聞社、
NHK 北九州放送局、RKB 毎日放送、九州朝日放送、TNC テレビ西日本、
FBS 福岡放送、TVQ 九州放送、九州旅客鉄道(株)
期 日： 2008年2月10日(日)～11日(月)
会 場： 北九州市鞆ヶ谷競技場
参加チーム： アビスパ福岡、フアジアーノ岡山、ニューウェーブ北九州、北九州大学選抜
試合の種類： 無料試合

(社)熊本県サッカー協会

大会名： 平成20年度第1回オールジュニア(U-12)ビーチサッカー大会IN熊本芦北
主 催： (社)熊本県サッカー協会、熊本県芦北町
主 管： (社)熊本県サッカー協会、
オールジュニア(U-12)ビーチサッカー大会実行委員会
後 援： 総務省、文部科学省、(財)地域活性化センター、(財)日本サッカー協会、熊本県、
熊本県教育委員会、芦北町教育委員会、熊本県体育協会
期 日： 2008年3月

会 場：熊本県芦北町御立岬海水浴場(特設ビーチサッカー場)
参加チーム：18 チーム
試合の種類：無料試合

5 国内競技会（有料・無料）・名義使用なし

日本フットサル連盟

大会名： デウソン神戸 プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)兵庫県サッカー協会
主管： NPO法人兵庫県フットサル連盟、デウソン神戸(株)
後援： 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、神戸市体育協会
協賛： DUERO
期日： 5月20日(日)
会場： ワールド記念ホール
参加チーム： デウソン神戸、静岡県選抜
試合の種類： 大人 1,000円 小中高生 500円

大会名： 湘南ベルマーレフットサルクラブ プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)神奈川県サッカー協会、(財)小田原市体育協会
主管： 神奈川県フットサル連盟、小田原市サッカー協会、NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブ
期日： 5月27日(日)
会場： 小田原アリーナ
参加チーム： 湘南ベルマーレフットサルクラブ、高槻松原FC
試合の種類： 無料試合

大会名： 名古屋オーシャンズ プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(財)愛知県サッカー協会
主管： 大洋薬品フットサルクラブ(株)
期日： 6月30日(土)
会場： パークアリーナ小牧
参加チーム： 名古屋オーシャンズ、愛知県選抜
試合の種類： 無料試合

大会名： バルドラール浦安フットボールサラ プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)千葉県サッカー協会、千葉県フットサル連盟
主管： 浦安市サッカー協会、バルドラール浦安フットボールサラ
期日： 7月5日(木)
会場： 浦安市総合体育館
参加チーム： バルドラール浦安フットボールサラ、
GINZA de FUTSAL/BOTSUWANAF CMEGURO
試合の種類： 無料試合

大会名： 名古屋オーシャンズ プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(財)愛知県サッカー協会
主管： 大洋薬品フットサルクラブ(株)
期日： 7月14日(土)
会場： パークアリーナ小牧
参加チーム： 名古屋オーシャンズ、シュライカー大阪
試合の種類： 無料試合

大会名： バサジィ大分 プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)大分県サッカー協会
主管： 大分県フットサル連盟、(株)大分スポーツプロジェクト
期日： 7月14日(土)
会場： 大分県総合体育館
参加チーム： バサジィ大分、ACVペスカドーラ町田

試合の種類： 無料試合

大会名： シュライカー大阪 プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)大阪府サッカー協会
主管： 大阪府フットサル連盟、ハマダ(株)
期日： 7月20日(金)
会場： 大阪市立中央体育館
参加チーム： シュライカー大阪、デウソン神戸
試合の種類： 無料試合

大会名： バルドラール浦安フットボールサラ プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)千葉県サッカー協会、千葉県フットサル連盟
主管： 浦安市サッカー協会、バルドラール浦安フットボールサラ
期日： 7月20日(金)
会場： 浦安市総合体育館
参加チーム： バルドラール浦安フットボールサラ、ASVペスカドーラ町田
試合の種類： 無料試合

大会名： ステラミーゴいわて花巻 プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)岩手県サッカー協会
主管： 岩手県フットサル連盟、花巻市サッカー協会、(株)ステラミーゴスポレクコム
後援： 岩手県教育委員会
協賛： (株)モルテン
期日： 7月21日(土)
会場： 花巻市総合体育館
参加チーム： ステラミーゴいわて花巻 他
試合の種類： 高校生以上1,000円 小中学生500円

大会名： ASVペスカドーラ町田 プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(財)東京都サッカー協会、東京都フットサル連盟
主管： 町田市サッカー協会、(株)CASCAVEL FUTSAL CLUBE
期日： 7月30日(月)
会場： 町田市総合体育館
参加チーム： ASVペスカドーラ町田 他
試合の種類： 無料試合

大会名： デウソン神戸 プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)兵庫県サッカー協会
主管： NPO法人兵庫県フットサル連盟、デウソン神戸(株)
後援： 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、神戸市体育協会
協賛： DUERO
期日： 8月5日(日)
会場： グリーンアリーナ神戸
参加チーム： デウソン神戸、兵庫県選抜
試合の種類： 大人1,000円 小中高生500円

大会名： シュライカー大阪 プレマッチ
主催： 日本フットサル連盟、(社)大阪府サッカー協会
主管： 大阪府フットサル連盟、ハマダ(株)
期日： 8月5日(日)
会場： 舞洲アリーナ
参加チーム： シュライカー大阪、名古屋オーシャンズ
試合の種類： 無料試合

大会名：ASVペスカドーラ町田 プレマッチ
主催：日本フットサル連盟、(財)東京都サッカー協会、東京都フットサル連盟
主管：町田市サッカー協会、(株)CASCAVEL FUTSAL CLUBE
期日：8月13日(月)
会場：町田市総合体育館
参加チーム：ASVペスカドーラ町田 他
試合の種類：無料試合

大会名：湘南ベルマーレフットサルクラブ プレマッチ
主催：日本フットサル連盟、(社)神奈川県サッカー協会、(財)小田原市体育協会
主管：神奈川県フットサル連盟、小田原市サッカー協会、NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブ
期日：8月15日(水)
会場：小田原アリーナ
参加チーム：湘南ベルマーレフットサルクラブ 他
試合の種類：無料試合

大会名：ステラミーゴいわて花巻 プレマッチ
主催：日本フットサル連盟、(社)岩手県サッカー協会
主管：岩手県フットサル連盟、花巻市サッカー協会、(株)ステラミーゴスポレクコム
後援：岩手県教育委員会
協賛：(株)モルテン
期日：8月18日(土)
会場：花巻市総合体育館
参加チーム：ステラミーゴいわて花巻、ASVペスカドーラ町田
試合の種類：高校生以上1,000円 小中学生500円

大会名：バサジィ大分 プレマッチ
主催：日本フットサル連盟、(社)大分県サッカー協会
主管：大分県フットサル連盟、(株)大分スポーツプロジェクト
期日：8月26日(日)
会場：B-Con Plaza
参加チーム：バサジィ大分、シュライカー大阪
試合の種類：1,000円(予定)

(社)岩手県サッカー協会

大会名：Fリーグプレ大会
主催：(社)岩手県サッカー協会、日本フットサル連盟
主管：花巻市サッカー協会、岩手県フットサル連盟、(株)ステラミーゴスポレクコム
後援：岩手県、岩手県教育委員会、岩手日報社、読売新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、放置新聞東北支局、岩手日日新聞社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日放送
協賛：PENALTY
期日：7月21日(土)、8月18日(土)
会場：花巻市総合体育館
参加チーム：ステラミーゴいわて花巻、青森・秋田選抜、ペスカドーラ町田
試合の種類：前売・当日 高校生以上1,000円 小中学生500円

大会名：2007 FUTSAL APPI CUP
主催：(社)岩手県サッカー協会、テレビ岩手
主管：(社)岩手県サッカー協会フットサル委員会
後援：日本フットサル連盟、青森県サッカー協会、秋田県サッカー協会、岩手県、岩手

県教育委員会、岩手県体育協会、八幡平市、八幡平市教育委員会、八幡平市体育協会、紫波町、紫波町体育協会、紫波町教育委員会、岩手日報社、エフエム岩手

協 賛： 安比高原
期 日： 9月29日(土)～30日(日)：予選大会
12月22日(土)～23日(日)：決勝大会
会 場： 安比高原特設ピッチ(予選)、サンビレッジ紫波(決勝)
参加チーム： 予選大会 70 チーム、決勝大会 32 チーム(シード2・予選30)
試合の種類： 無料試合

(財)茨城県サッカー協会

大会名： ソウル大学・筑波大学 交流試合
主 催： (財)茨城県サッカー協会
主 管： 筑波大学蹴球部
期 日： 8月8日(水)・12日(日)
会 場： 筑波大学第一サッカー場
参加チーム： ソウル大学、筑波大学
試合の種類： 無料試合

(社)群馬県サッカー協会

大会名： 新春ドリームマッチ群馬2008
主 催： 群馬県サッカー協会
主 管： 新春ドリームマッチ2008 実行委員会
後 援： 群馬県、群馬県教育委員会
協 賛： プーマジャパン
期 日： 2008年1月12日(土)
会 場： 群馬県立サッカー・ラグビー場
参加チーム： 群馬県出身Jリーガー、ザスパ草津
試合の種類： 前売 スタンド2,000円/芝生大人1,000円 高校800円 小中300円
当日 スタンド2,500円/芝生大人1,500円 高校1,000円 小中500円

(社)千葉県サッカー協会

大会名： デュッセルドルフ市選抜U-17 国際親善試合
主 催： (社)千葉県サッカー協会
主 管： (社)千葉県サッカー協会
後 援： 成田市、市原市、習志野市
期 日： 7月11日(水)～19日(木)
会 場： 成田市中台運動公園、市原スポレクパーク、フクダ電子アリーナ、習志野市秋津運動公園
参加チーム： デュッセルドルフ市選抜U-17、千葉県国体少年選抜、成田市中学校選抜、市原市高校選抜、市立習志野高校
試合の種類： 無料試合

(財)東京都サッカー協会

大会名： 第58回早慶サッカー定期戦
主 催： (財)東京都サッカー協会
主 管： 早稲田大学ア式蹴球部、慶應義塾大学体育会サッカー部
後 援： 朝日新聞社
期 日： 6月22日(金)
会 場： 国立競技場
参加チーム： 早稲田大学ア式蹴球部、慶應義塾大学体育会サッカー部
試合の種類： 前売900円 当日1,000円 ※小学生以下無料

大会名： 第49回中央大学・筑波大学サッカー定期戦

主 催：(財)東京都サッカー協会
主 管：中央大学、筑波大学
期 日：6月23日(土)
会 場：国立スポーツ科学センター西が丘サッカー場
参加チーム：中央大学学友会サッカー部、筑波大学蹴球部、及びそのOB
試合の種類：当日600円

大会名：第18回イギョラ杯国際親善ユースサッカー(THE 18th IGYORA CUP)
主 催：(財)東京都サッカー協会
主 管：第18回イギョラ杯実行委員会、東京朝鮮中高級学校サッカー部OB会
後 援：日朝友好促進東京都議会議員連盟、東京都教育委員会 他
協 賛：(株)ヤナガワ、大都販売(株)、(株)徐々苑、ミズノ(株) 他
期 日：2008年3月22日(土)～24日(月)
会 場：東京朝鮮高校グラウンド、朝鮮大学グラウンド 他
参加チーム：東京朝鮮高校 他15チーム
試合の種類：無料試合

(社)神奈川県サッカー協会

大会名：第1回マリノスタウン完成記念大会(TOGETHER TO THE FUTURE)
主 催：横浜マリノス(株)
主 管：(社)横浜サッカー協会
後 援：(社)神奈川県サッカー協会
期 日：4月1日(日)～2008年4月3日(火)
会 場：マリノスタウン内人工芝、横浜みなとみらいスポーツパーク
参加チーム：盛岡商業高校、青森山田高校、清水商業高校、星稜高校、鹿児島実業高校、
鵬翔高校、桐光学園高校、横浜F・マリノスユース
試合の種類：無料試合

大会名：2008横浜F・マリノスカップ U17
主 催：横浜マリノス(株)
主 管：(社)横浜サッカー協会
後 援：(社)神奈川県サッカー協会
協 賛：クラブオフィシャルパートナー、クラブオフィシャルスポンサー数社
期 日：2008年3月20日(木)～30日(日)
会 場：マリノスタウン、しんよこフットボールパーク、日産フィールド小机
参加チーム：青森山田高校、星稜高校、滋賀県立野洲高校、東福岡高校、
静岡県立藤枝東高校、柏レイソルユース、日大藤沢高校、
横浜F・マリノスユース 計8チーム
試合の種類：無料試合

(社)長野県サッカー協会

大会名：第34回北信越フットボールリーグ 松本山雅FCホームゲーム
主 催：北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー連盟
主 管：第34回北信越フットボールリーグ運営委員会、松本山雅FC
期 日：2008年4月13日(日)、5月11日(日)・25日(日)、
6月8日(日)・29日(日)、7月13日(日)、8月3日(日)
会 場：松本平広域公園総合球技場(アルウィン)
参加チーム：松本山雅FC、長野パルセイロ、JAPAN. S. C、ツエーゲン金沢、
フェルヴォローザ石川、白山FC、ヴァリエンテ富山、グランセナ新潟、
サウルコス福井
試合の種類：前売 高校生以上500円、高校生未満無料
当日 高校生以上600円、高校生未満無料

大会名：第34回北信越フットボールリーグAC長野パルセイロホームゲーム
主催：北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー連盟
主管：第34回北信越フットボールリーグ運営委員会、AC長野パルセイロ
期日：2008年4月13日(日)、5月11日(日)・25日(日)、6月29日(日)、
7月13日(日)、8月2日(土)、9月7日(日)

会場：南長野運動公園総合球技場

参加チーム：グランセナ新潟、フェルヴォローザ石川、白山FC、サウルコス福井、JAPAN.
S. C、ツエーゲン金沢、松本山雅FC、ヴァリエンテ富山

試合の種類：前売 高校生以上500円、中学生以下200円
当日 高校生以上500円、中学生以下200円

(社)石川県サッカー協会

大会名：第33回北信越フットボールリーグ ツエーゲン金沢ホームゲーム

主催：北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー連盟

主管：第33回北信越フットボールリーグ運営委員会 ツエーゲン金沢

期日：4月8日(日)・15日(日)、5月13日(日)・20日(日)
6月3日(日)・17日(日)、7月1日(日)

会場：金沢市民サッカー場、津幡運動公園陸上競技場

参加チーム：フェルヴォローザ石川・白山FC(石川)、FC.上田ジェンシャン(長野)松本山
雅FC(長野)、AC長野パルセイロ(長野)、ヴァリエンテ富山新潟経営大学(新
潟)、JAPANサッカーカレッジ(新潟)

試合の種類：前売・当日500円(高校生以下は無料)

大会名：第34回北信越フットボールリーグツエーゲン金沢ホームゲーム

主催：北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー連盟

主管：第34回北信越フットボールリーグ運営委員会、
有限責任中間法人石川フットボールクラブ

期日：2008年4月13日(日)、5月11日(日)・25日(日)、6月1日(日)
6月29日(日)、7月13日(日)・26日(土)、9月7日(日)

会場：西部緑地公園陸上競技場、金沢市民サッカー場、津幡運動公園陸上競技場、物見
山陸上競技場

参加チーム：フェルヴォローザ石川、白山FC、JAPANサッカーカレッジ、
グランセナ新潟、AC長野パルセイロ、松本山雅FC、サウルコス福井、
ヴァリエンテ富山

試合の種類：前売 大学生以上800円、高校生以下無料
当日 大学生以上1,000円、高校生以下無料

大会名：第33回北信越フットボールリーグ
フェルヴォローザ石川・白山FCホームゲーム

主催：北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー協会

主管：第33回北信越フットボールリーグ運営委員会、
フェルヴォローザ石川・白山FC

期日：5月20日(日)・26日(土)・27日(日)、6月24日(日)
7月1日(日)・8日(日)

会場：金沢市民サッカー場、松任総合運動公園陸上競技場

参加チーム：AC長野パルセイロ(長野)、JAPANサッカーカレッジ(新潟)、FC上田ジェン
シャン(長野)、新潟経営大学サッカー部(新潟)、ツエーゲン金沢(石川)、松
本山雅FC(長野)、ヴァリエンテ富山(富山)

試合の種類：当日500円(高校生以下無料)
シーズンパス2,500円(6試合高校生以下無料)

(財)静岡県サッカー協会

大会名：プーマカップ イン 藤枝

主 催：(財)静岡県サッカー協会、NPO藤枝東FC
主 管：NPO藤枝東FC
期 日：7月11日(水)
会 場：藤枝総合運動公園サッカー場
参加チーム：FCアトラスU-16(メキシコ)、藤枝東高等学校サッカー部
試合の種類：無料試合

大会名：袋井市・恩平区日韓スポーツ交流サッカー大会
主 催：日韓スポーツ交流事業実行委員会、(財)静岡県サッカー協会
主 管：袋井サッカー協会
後 援：袋井市、袋井市教育委員会
期 日：7月27日(金)～29日(日)
会 場：小笠山総合運動公園エコパスタジアム人工芝グラウンド
参加チーム：袋井サッカー協会選抜チーム、韓国ソウル特別市恩平区選抜チーム
試合の種類：無料試合

大会名：第23回静岡県ヤングサッカーフェスティバル
主 催：(財)静岡県サッカー協会
主 管：(財)静岡県サッカー協会西部支部
後 援：静岡県教育委員会、浜松市、浜松市教育委員会、
スポーツニッポン新聞社静岡支局
特別協賛：ヤマハ発動機(株)
協 賛：(株)ヤマハフットボールクラブ、清水エスパルス
期 日：2008年3月9日(日)
会 場：静岡県営遠州灘海浜公園球技場
参加チーム：日本高校選抜、静岡県高校選抜、ジュビロ磐田ユース、
清水エスパルスユース、静岡県U16選抜、県西部U16選抜
試合の種類：前売 一般・大学1,000円 中・高校600円 小学生300円
親子ペア1,200円
当日 一般・大学1,200円 中・高校800円 小学生500円

大会名：家康公記念杯第5回清水スーパーシニアサッカー大会
主 催：(財)静岡県サッカー協会、NPO法人清水サッカー協会
主 管：中東部支部シニア委員会、NPO法人清水サッカー協会シニア委員会
後 援：静岡市、静岡市教育委員会、静岡市国際交流協会、
笹川スポーツ財団SSFスポーツエイド事業
期 日：2008年3月21日(金)～23日(日)
会 場：清水ナショナルトレーニングセンター、清水総合運動場、
日本平運動公園球技場
参加チーム：西帰浦市イアドシニアサッカーチーム(大韓民国)、栃木大昭サッカークラブ、
NPO藤枝東FCシニア、豊田シニアFC、NPO大阪フットボールクラブ 他
(計 28チーム)
試合の種類：無料試合

(社)大阪府サッカー協会

大会名：第34回河内長野市招待少年サッカー大会
主 催：(社)大阪府サッカー協会、河内長野市サッカー連盟
主 管：河内長野市サッカー連盟ジュニア委員会
後 援：河内長野市、河内長野市教育委員会、河内長野市体育協会
期 日：7月21日(土)～22日(日)
会 場：河内長野市立赤峰市民運動広場、大師総合運動場
参加チーム：小学生36チーム(韓国2チーム)
試合の種類：無料試合

(社)山口県サッカー協会

大会名： 第3回中国フットサルリーグ柳井大会
主催： 中国サッカー協会
共催： (社)山口県サッカー協会、柳井サッカー協会
主管： 中国フットサル連盟、中国フットサルリーグ運営委員会、
山口県フットサル連盟、柳井サッカー協会
後援： 日本フットサル連盟、柳井市、柳井市教育委員会、柳井市体育協会、
SAスポーツクラブ、NPO法人YANA I スポーツ振興
協賛： (株)モルテン
期日： 10月21日(日)
会場： 柳井市体育館
参加チーム： 6チーム
試合の種類： 前売 高校生以上 1,000円 中学生以下 500円 小学生未満無料
当日 高校生以上 1,500円 中学生以下 800円 小学生未満無料

(社)高知県サッカー協会

大会名： 2008トリムカップレディースフットサル大会
主催： (社)高知県サッカー協会
主管： 高知県フットサル連盟
後援： 高知県、高知市、南国市、高知県教育委員会、(財)高知県体育協会
期日： 2008年3月28日(金)～3月30日(日)
会場： 南国市立スポーツセンター
参加チーム： 18チーム(関西6、中国5、四国3、九州2、開催地2)
試合の種類： 無料試合

(社)鹿児島県サッカー協会

大会名： 2007年度南日本招待ユースサッカー大会
主催： (社)鹿児島県サッカー協会
主管： 鹿児島県サッカー協会高校連盟
後援： 鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、
鹿児島県体育協会、南日本新聞社
期日： 12月8日(土)
会場： 鹿児島県立鴨池陸上競技場
参加チーム： 鹿児島県及び他県の第86回高校サッカー選手権大会出場チーム、
県トレセンユースチーム
試合の種類： 当日 一般 1,000円 中高生 500円 小学生・敬老パス持参者無料

大会名： 国際親善2008JRCUPちびっこサッカーフェスティバル
主催： (社)鹿児島県サッカー協会、九州旅客鉄道(株)
主管： 鹿児島県少年サッカー連盟、JR九州CUPちびっこサッカーフェスティバル
後援： 九州サッカー協会、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、
(財)鹿児島県体育協会 他
協賛： プーマ、大塚製薬(株)
期日： 2008年3月29日(土)～31日(月)
会場： 鹿児島市桜島町溶岩グラウンド
参加チーム： 63チーム(九州・山口各県)・1チーム(韓国) 計64チーム
試合の種類： 無料試合

6 名義使用

日本芝草学会

事業名：2007年度日本芝草学会春季大会
主催：日本芝草学会
共催：全国ゴルフ場関連事業協会
後援：国土交通省、東京都、立川市、昭島市、昭島市教育委員会、関東ゴルフ連盟、東日本ゴルフ場支配人会連合会、東京都ゴルフ場支配人会、(社)緑の安全推進協会、ゴルフ場防除技術研究会、(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、(社)日本公園緑地協会、(財)公園緑地管理財団
期日：6月7日(木)
会場：東京/立川グランドホテル
内容：公開シンポジウム 「スポーツのある風景ー市民生活と芝生」
栗山英樹氏、川田太郎氏、近藤三雄氏によるディスカッション他

日本フットボール学会

事業名：国際学術会議「7th World Congress on Science and Football(2011)」
主催：日本フットボール学会 The 7th WCSF2011 実行委員会
協力：(財)日本ラグビーフットボール協会、(社)日本アメリカンフットボール協会、(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、日本オーストラリアンフットボール協会
期間：2011年
会場：愛知県/名古屋大学
事業内容：本会議は、英国の著名な研究者 T.Reilly 教授らの呼びかけにより、全てのフットボールコード(サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等)に関連した最先端の科学的知見を集約し、国際的な視野でスポーツと科学を結びつけることを目的とする。
1987年リバプール大会を皮切りに4年に一度世界各地にて開催。
2011年の名古屋での開催は第7回大会となる。

(財)日本体育協会

事業名：第11回日韓青少年夏季スポーツ交流事業
主催：(財)日本体育協会
共催：(財)愛媛県体育協会、(財)福岡県体育協会、(財)日本サッカー協会、(財)日本バレーボール協会、(財)バスケットボール協会、(財)日本卓球協会、(財)日本バドミントン協会
後援：愛媛県教育委員会、福岡県教育委員会
<派遣>
派遣対象：愛媛県、福岡県の小学生(5・6年生)及び中学生 184名
(218名)各競技指導者 26名
本部役員(日本体育協会 3名、愛媛県 2名、福岡県 3名) 8名
期日：8月16日(木)~22日(水) 7日間
会場：大韓民国/全羅南道 木浦市
<受入>
受入対象：韓国の初等部、中等部(11~15歳)の生徒 184名
(218名)韓国指導者 26名
韓国本部役員 8名
期日：8月16日(木)~22日(水) 7日間
会場：愛媛県各地

環境未来カップ実行委員会

事業名：「かんきょうみらいカップ 2007」

主催：環境未来カップ実行委員会（札幌市、(財)北海道サッカー協会、北海道新聞社）

特別協力：(株)北海道フットボールクラブ

協力：札幌地区サッカー協会、札幌市サッカースポーツ少年団、札幌市環境プラザ

後援：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、札幌市教育委員会

協賛：事業内容に賛同し、協賛金や物品の提供に協力いただける各企業

会期：7月2日(月)～12月28日(金)

参加対象：札幌市内の小学生及び札幌地区サッカー協会に所属しているサッカー少年団のメンバー

日本クラブユースサッカー連盟

大会名：第4回 JCY インター・シティー・カップ(U-15) in HIDA 2007

大会主旨：日本の将来を担うユース年代の選手達のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの更なる発展を目的としている

主催：日本クラブユースサッカー連盟、
JCY インター・シティー・カップ大会実行委員（(財)岐阜県サッカー協会、
関西クラブユースサッカー連盟、東海クラブユースサッカー連盟、
北信越クラブユースサッカー連盟）

主管：(財)岐阜県サッカー協会

後援：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

協力：岐阜県飛騨市

協賛：(株)モルテン、緑風リゾートひだ流葉

運営/協力：(株)ジャパン・スポーツ・プロモーション

日程：8月6日(月)～9日(木)

会場：古川町ふれあい広場（芝生3面）、杉崎公園（芝生1面）

参加チーム数：16チーム/北信越(3)、東海(5)、関西(8)

参加資格：①今年度日本サッカー協会ならびに日本クラブユースサッカー連盟に加盟登録し、
15歳以下の健康な男子で構成されるチームであること（20歳以上の指導者もしくは引率者が同伴する事）

②同一クラブ内3種登録チーム所属選手に限り大会エントリーを認める

③参加チームは全期間必ず参加し、審判員等大会運営に協力出来るチームであること

④参加チームは北信越・東海・関西の各地域連盟より推薦を受けたチームであること

表彰：優勝チームには飛騨市長杯を授与する

優勝チーム以下第3位までにカップを授与する

その他：個人賞として最優秀選手賞、ベストGK賞、大会得点王を設定し、盾を授与する

「HIBINO CUP」(ヒビノ カップ)

主催：日比野克彦氏（アーティスト）

後援：(財)日本サッカー協会

実施内容：アートとサッカーを融合した普及型イベント

JFA 支援内容：①後援名義の使用

②JFA アンバサダー等の派遣

③都道府県サッカー協会、Jクラブへの協力依頼

④参加賞の提供

④JFA ホームページ、JFA ニュース等での告知や記事掲載

日程：7月 8日(日) 福岡/大宰府天満宮

8月 19日(日) 水戸/水戸芸術館正面広場

11月 11日(日) 金沢/金沢美術工芸大学グラウンド、体育館

12月 16日(日) 熊本/熊本城内

日本サッカーアーカイブ

- 企画制作：株式会社クラブハウス
総合プロデュース/監修：賀川 浩（日本サッカー殿堂委員会 委員）
協力：日本サッカーミュージアム
協賛：キリンビール(株)、キリンビバレッジ(株)、アディダスジャパン(株)
 (株)クレディセゾン、ソニーマーケティング(株)、(株)日本航空
 (株)ファミリーマート、(株)大和証券グループ本社
内容：ウェブサイトの機能を利用し、日本サッカーのすべてのデータを
 集約する書庫＝アーカイブを目指す。
 ・日本サッカー史（日本サッカーの歩みを年表を中心に編纂）
 ・日本サッカー人物史（人物を中心に、出来事、写真等をまとめる）
 ・バーチャルライブラリ（全国のサッカー関連書籍の目録を構築）
スケジュール：2007年9月中旬開始

(財)日本体育協会

- 事業名：平成19年度「体育の日」中央記念行事／子どもの体力向上キャンペーン
 元気アップ子どもスポーツフェスティバル
主催：文部科学省、(財)日本体育協会、(独)日本スポーツ振興センター
 (財)日本レクリエーション協会
共催：(財)日本水泳連盟、(財)日本サッカー協会、(財)日本テニス協会、
 (財)日本体操協会、(財)日本フェンシング協会
主唱：体力づくり国民会議
後援：(財)日本オリンピック委員会、東京都北区教育委員会
 東京都板橋区教育委員会
協力：(財)ミズノスポーツ振興会、大塚製薬(株)
期日：10月8日(月・祝)
会場：国立スポーツ科学センター
趣旨：本事業は、東京オリンピックの開催を記念して制定された「体育の日」の中央記念
 行事及び「子どもの体力向上キャンペーン」の中央イベントとして実施し、スポー
 ツの楽しさや喜びを体験し、健康増進と体力を向上させることで、生涯を通じた継
 続的なスポーツ活動の実践を図るとともに、子ども達が仲間や家族とのふれあいの
 中でからだを動かすことの楽しさを味わい、日常生活の中で主体的に運動・スポー
 ツに親しむ態度や習慣を身に付けていくことの重要性を広く啓発する。

(財)日本スポーツクラブ協会

- 事業名：第9回スポーツクラブセミナー 兼 第2回全国総合型スポーツクラブ・健康
 運動クラブセミナー
主催：(財)日本スポーツクラブ協会、全国スポーツクラブ連絡協議会
後援：文部科学省、厚生労働省、(財)日本体育協会、
 (財)日本レクリエーション協会、(社)全国体育指導委員連合、
 (財)日本オリンピック委員会、(財)日本体育施設協会、
 健康日本21推進全国連絡協議会、(財)健康・体力づくり事業財団、
 (財)笹川スポーツ財団、(財)日本サッカー協会、
 (社)日本プロサッカーリーグ、(社)日本グラウンド・ゴルフ協会、
 NPO法人ジュース、日本レジャー・レクリエーション学会
協賛：(財)ミズノスポーツ振興会、ミズノ(株)、明治乳業(株)
期日：11月12日(月)～13日(火)
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

趣 旨： 近年、国民の間にはスポーツや健康運動に対する関心がますます高まっているが、それらの実施率は未だ高くない状況にある。このことから、国や地方公共団体、スポーツや健康関係団体などにおいては、スポーツの面白さの体験や健康の保持増進を目的として、スポーツ活動、健康運動、栄養、サプリメント等について適切に指導・助言できる優れた指導者の養成が行われている。その一方で、国民が日常生活の中で、スポーツ活動や健康運動を定期的、継続的に実施できるよう総合型地域スポーツクラブの活性化や健康運動クラブの創設が急務となっており、また将来性のあるクラブの経営と発展のためには、評価の視点を導入することが不可欠となっている。

本セミナーでは、講演、事例、研究発表などを通じて、①スポーツクラブの評価方法や健康運動クラブの創設方法、②スポーツクラブや健康運動クラブのマネジャーの役割、③スポーツクラブや健康運動クラブのネットワーク化等についての現状と課題を明確にし、“スポーツクラブ”と“健康運動クラブ”が並列・共存し、成功を収めることができるよう具体的な方策を見つけ出すことを目的としている。

特定非営利活動法人 グローバル・スポーツ・アライアンス (G S A)

事業名：スポーツと環境フォーラム「環境におけるスポーツの役割」

～フェアプレーとエコプレーの実践、これが真のスポーツマンシップだ！～

主催：特定非営利活動法人 グローバル・スポーツ・アライアンス

後援：(財)日本サッカー協会

協力：(独)環境再生保全機構、(独)国際協力機構 (J I C A)

期 日：10月16日(火)

会 場：J I C A地球ひろば講堂 (東京都渋谷区広尾)

参加人員：200名

趣 旨：地球環境問題の根本的な問題解決のためには、モノの使い捨てではなく、豊かな自然づくりと人の付加価値による経済への移行が必要である。そのためには、物理学の知識を活かした新しい経済システムの構築と、多くの人の意識改革が欠かせない。そこで、きれいな空気や水の中でスポーツを楽しみ、日頃から環境問題を意識している世界中のスポーツ愛好会に着目し、環境問題においてスポーツが果たす役割について理解を深める。

本フォーラムでは、特にサッカー界が取り組む環境保全活動に焦点をあて、実例を挙げながら、その意義や課題について様々な視点から考察し、スポーツ界全体が、誰でも参加できる実践活動の提案・定着化を図るよう討議する。

また、スポーツ界が取り組む「環境教育」のあり方や、スポーツイベントでの「環境リーダー」育成など、未来世代に向けた社会づくりにおけるスポーツ界の役割について考察するものである。

プログラム・進行案：

はじめに「スポーツと環境について」「エコフラッグ・ムーブメントとは」

挨拶・導入講演：岡田達雄 (G S A 常任理事)

パネルディスカッション「サッカー界における環境への取り組み」

パネラー：岡田武史（元サッカー日本代表監督）、
増島みどり（スポーツライター）、
蟹瀬誠一（ジャーナリスト、明治大学教授）、
岡田達雄（G S A 常任理事）

スポーツイベントにおける環境保全活動の事例報告

J A P A N ビーチサッカーネットワーク 理事長 伊藤寛之
→ビーチサッカー界における環境対策、取り組みを発表

J リーグ 大分トリニータ・愛媛 F C
→クラブとしての環境への取り組みについて発表

日本青年団協議会

事業名：第 56 回全国青年大会

主 催：日本青年団協議会、(財)日本青年館、東京都

後 援：文部科学省、(財)日本体育協会、日本放送協会

協 賛：内閣府、農林水産省、厚生労働省、各道府県及び道府県教育委員会、
(社)中央青少年団連絡協議会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、
(財)日本陸上競技連盟、(財)日本バレーボール協会、
(財)日本バスケットボール協会、(財)日本バドミントン協会、
(財)全日本軟式野球連盟、(財)日本ソフトボール協会、(財)日本卓球協会、
(財)全日本柔道連盟、(財)全日本剣道連盟、(財)日本ボウリング協会、
(財)日本サッカー協会、特定非営利活動法人日本アマチュア演劇連盟、
(社)日本全日本合唱連盟、(財)日本将棋連盟、日本体育大学、
(財)日本レクリエーション協会、(財)あしたの日本を創る協会、江戸川区、
特定非営利活動法人テレビ日本美術家協会

期 日：11 月 9 日～12 日

会 場：国立競技場を中心に行う

趣 旨：この大会は、地域を舞台にスポーツや文化活動といった様々な活動に取り組んでいる青年たちが都道府県の代表として全国各地から集まり、日ごろの地域活動の成果を仲間たちとともに発表し、また、その技術を競い合うことによって、青年同士の友好親善を深めるとともに、スポーツや文化活動が豊かに取り組まれる健康で文化的な生活を自らの手で作り出し、さらには、青年がその中心となりながら、子どもたちやお年寄りといった多様な世代が手を取り合って暮らせるような、真に豊かな地域社会の創造を目指し開催する。

内 容：体育の部（陸上競技、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、軟式野球、ソフトボール、卓球、柔道、剣道、ボウリング、フットサル）、
芸能文化の部（演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、美術展、生活文化展、将棋）、
意見発表の部

ぴあ(株)

事 業 名：ぴあトークバトル スポーツ快樂主義 2007

～どうなる！？ F I F Aクラブワールドカップ ジャパン 2007～

主 催：びあ(株)
協 力：日本テレビ放送網(株)、(財)日本サッカー協会
開 催 日：2007年11月28日(水)
時 間：19:00～21:00
会 場：日本サッカーミュージアム 1階「ヴァーチャルスタジアム」
事業内容：12月7日(金)に開幕する「TOYOTAプレゼンツ F I F Aクラブワールドカップジャパン2007」を控え、出場チーム7チームの戦略分析や注目の一戦、注目選手、優勝予想を中心に、日本テレビサッカー解説陣がFCWCを語りつくす。
また、来場のお客様からの質問コーナー、プレゼントコーナー等織り交ぜ、お客様の満足度を高めることを目的とする。
ゲスト：武田 修宏 (財)日本サッカー協会 アンバサダー
北澤 豪 (財)日本サッカー協会 国際委員

(社)日本プロサッカーリーグ

大会名：城 彰二氏引退試合
主 催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ
主 管：(社)神奈川県サッカー協会、(社)横浜サッカー協会、
(株)横浜フリエスポーツクラブ
日 時：2008年1月27日(日) 15:00キックオフ
会 場：三ツ沢公園球技場
対戦カード：03-06 横浜FC オールスター 対 J0 Friends

キャノンカップ ジュニアサッカー実行委員会

事業名：キャノンカップ ジュニアサッカー2008
主 催：キャノンカップ ジュニアサッカー実行委員会
株式会社ニッポン放送プロジェクト
後 援：外務省、文部科学省、(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ
主 管：(社)横浜サッカー協会、(財)愛知県サッカー協会、(社)兵庫県サッカー協会
特別協賛：キャノン株式会社
期間・会場：予選 2008年5月 4日(日)～5日(月)／神奈川、
5月11日(日)／愛知、5月18日(日)／兵庫
決勝大会 6月 8日(日)／神奈川
海外遠征 7月23日(水)～30日(水)／アメリカ

事業内容：本企画は、さまざまなサッカープログラムを通じて、21世紀を担う全国の少年・少女達の健全な育成とサッカーの普及・技術の向上、さらには海外の子供達と交流を深め、国際親善を図ることを目的としたイベントである。

キリンホールディングス(株)

事業名：キリン サッカーフィールド
主 催：キリンホールディングス(株)
協 力：(財)日本サッカー協会
日 程：2008年5月～11月の土・日・祝日
会 場：北海道、宮城県、新潟県、石川県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、大阪府、香川県、広島県、福岡県の計12会場を予定
事業内容：サッカーの次世代育成活動の一環として、城彰二氏をメイン講師にしたサッカー教室を実施。
サッカー技術のみならず、知育・徳育・食育といった青少年の成長過程において必

要な要素を盛り込んだ内容とする。
誰でも応募可能なオープンキャンペーン方式により、各会場 50～100 名で実施予定。

7 標章使用

(財)北海道サッカー協会

使用目的：会旗作成のため

製作個数：5枚

(社)秋田県サッカー協会

使用目的：第62回国民体育大会サッカー競技会（成年男子）監督会議用のJFA旗

(NPO)山形県サッカー協会

使用目的：名刺作製

製作個数：1名分 100枚

(財)福島県サッカー協会

使用目的：第38回全国中学校サッカー大会掲示用のJFA旗および福島県FA旗

製作個数：各1枚

(財)茨城県サッカー協会

使用目的：名刺作製 26名分

(社)福井県サッカー協会

使用目的：審判委員会ポロシャツ

製作個数：31枚

使用目的：賞状作製

製作個数：400枚

使用目的：名刺作製

製作個数：22名分 各200枚

(社)滋賀県サッカー協会

使用目的：事務所用看板への標章使用

製作個数：2枚

使用目的：滋賀県フットサルリーグ募集チラシへの掲載のため

(財)岡山県サッカー協会

使用目的：岡山県サッカー協会公式サイト上で使用

(社)福岡県サッカー協会

使用目的：(社)福岡県サッカー協会60周年記念記録誌の表紙への掲載のため

日本フットボール学会

使用目的：2011年に日本で開催するフットボールサイエンスに関する国際学会大会告知

用WEBサイトで使用

V 社会貢献事業

1. JFAこころのプロジェクト

回数	月日	都道府県	市区町村	学校名	夢先生	学年	クラス
1	4月19日	東京都	文京区	明化小学校	前園 真聖	5	1・2
2	4月19日	東京都	品川区	浅間台小学校	羽中田 昌	6	1・2
3	4月26日	東京都	文京区	関口台町小学校	北澤 豪	5	1・2
4	4月26日	東京都	文京区	関口台町小学校	安永 聡太郎	5	2
5	5月1日	東京都	文京区	窪町小学校	渡邊 一平	6	4
6	5月7日	東京都	文京区	大塚小学校	小野寺志保／荒川恵理子	5+6	1
7	5月8日	東京都	文京区	林町小学校	高木 義成	6	1
8	5月8日	東京都	文京区	林町小学校	金澤 慎	6	2
9	5月10日	東京都	文京区	本郷小学校	川上 直子	5	1・2
10	5月22日	東京都	文京区	小日向台町小学校	水内 猛	6	2
11	5月22日	東京都	文京区	指ヶ谷小学校	前田 治	6	1・2
12	5月24日	東京都	文京区	小日向台町小学校	野田 朱美	6	1
13	5月29日	東京都	文京区	窪町小学校	東明 有美	6	3
14	5月31日	東京都	文京区	千駄木小学校	大竹 奈美	6	4
15	6月1日	東京都	文京区	駒本小学校	岩本 輝雄	5+6	1
16	6月7日	東京都	文京区	窪町小学校	宮澤 ミシェル	6	2
17	6月12日	東京都	文京区	柳町小学校	本田 泰人	5	1
18	6月14日	東京都	世田谷区	二子玉川小学校	武田 修宏	6	2
19	6月15日	東京都	千代田区	富士見小学校	中西 哲生	6	1
20	6月16日	東京都	品川区	杜松小学校	小倉 隆史	6	1
21	6月19日	東京都	品川区	第三日野小学校	安永 聡太郎	6	2
22	6月19日	東京都	品川区	第三日野小学校	三浦 泰年	6	1
23	6月21日	東京都	文京区	金富小学校	田口 禎則	6	2
24	6月21日	東京都	品川区	城南第二小学校	森崎 嘉之	6	1
25	6月22日	東京都	文京区	湯島小学校	野々村 芳和	6	1
26	6月22日	東京都	文京区	千駄木小学校	重野 弘三郎	6	3
27	6月25日	東京都	千代田区	富士見小学校	中田 一三	6	2
28	6月26日	東京都	文京区	金富小学校	高倉 麻子	6	1
29	6月26日	埼玉県	さいたま市	泰平小学校	藤本 主税	6	1
30	6月27日	東京都	文京区	本郷小学校	木村 哲昌	5	2
31	6月28日	東京都	世田谷区	二子玉川小学校	井手口 純	6	1
32	6月29日	東京都	品川区	第一日野小学校	林 一章	6	1・2
33	7月1日	東京都	世田谷区	世田谷区(日本女子体育大学)	山田 隆裕	5+6	1
34	7月3日	石川県	輪島市	大屋小学校	大竹 奈美	6	1
35	7月3日	石川県	輪島市	大屋小学校	北澤 豪	5	1
36	7月4日	石川県	輪島市	河原田小学校	北澤 豪	5+6	1
37	7月6日	東京都	文京区	窪町小学校	安永 聡太郎	6	1
38	7月9日	東京都	品川区	城南第二小学校	相馬 直樹	6	2
39	7月10日	埼玉県	さいたま市	泰平小学校	西村 卓朗	6	3
40	7月12日	東京都	文京区	根津小学校	上川 徹	6	1
41	7月19日	静岡県	熱海市	伊豆山小学校	小島 伸幸	6	1
42	8月4日			日本サッカーミュージアム	小倉 隆史		一般公募

43	8月5日			日本サッカーミュージアム	野田 朱美		一般公募
44	8月5日			日本サッカーミュージアム	永島 昭浩		一般公募
45	8月6日			日本サッカーミュージアム	前園 真聖		一般公募
46	8月6日			日本サッカーミュージアム	小島 伸幸		一般公募
47	8月7日			日本サッカーミュージアム	大竹 奈美		一般公募
48	8月8日			日本サッカーミュージアム	本田 泰人		一般公募
49	8月8日			日本サッカーミュージアム	澤登 正朗		一般公募
50	9月6日	新潟県	長岡市	新組小学校	永島 昭浩	6	1
51	9月10日	東京都	品川区	鈴ヶ森小学校	城 彰二	6	1
52	9月10日	東京都	品川区	鈴ヶ森小学校	安永聡太郎	6	2
53	9月14日	東京都	足立区	古千谷小学校	羽中田 昌	5	2
54	9月18日	東京都	足立区	古千谷小学校	井手口 純	5	1
55	9月19日	神奈川県	横浜市	池上小学校	大竹 奈美	6	1
56	9月20日	神奈川県	横浜市	榎が丘小学校	黄川田 賢司	5	3
57	9月20日	神奈川県	横浜市	榎が丘小学校	山田 隆裕	5	1
58	9月25日	東京都	品川区	八潮小学校	松原 良香	6	1
59	9月25日	東京都	品川区	八潮小学校	式田 高義	6	2
60	9月25日	神奈川県	横浜市	榎が丘小学校	前田 治	5	2
61	9月25日	神奈川県	横浜市	榎が丘小学校	下條 佳明	5	4
62	9月27日	神奈川県	横浜市	池上小学校	宮澤ミシェル	6	2
63	10月9日	東京都	品川区	小山台小学校	水内 猛	6	2
64	10月9日	東京都	品川区	小山台小学校	川上 直子	6	1
65	10月12日	東京都	品川区	八潮南小学校	加納 秀益	6	1
66	10月12日	東京都	稲城市	稲城第三小学校	山田 隆裕	6	2
67	10月12日	東京都	稲城市	稲城第三小学校	安永 聡太郎	6	1
68	10月15日	東京都	稲城市	稲城第四小学校	林 一章	6	2
69	10月15日	東京都	稲城市	稲城第四小学校	山田 隆裕	6	1
70	10月15日	山口県	宇部市	上宇部小学校	安永 聡太郎	6	1
71	10月15日	山口県	宇部市	上宇部小学校	安永 聡太郎	6	2
72	10月16日	山口県	宇部市	上宇部小学校	安永 聡太郎	6	3
73	10月16日	山口県	宇部市	上宇部小学校	安永 聡太郎	6	4
74	10月16日	東京都	世田谷区	花見堂小学校	吉澤 ひとみ	5+6	1
75	10月17日	山口県	宇部市	鶺ノ島小学校	安永 聡太郎	4	1
76	10月18日	神奈川県	横浜市	川和東小学校	井手口 純	5	5
77	10月18日	神奈川県	横浜市	川和東小学校	山田 隆裕	5	3
78	10月19日	東京都	世田谷区	玉堤小学校	トム・バイヤー	6	2
79	10月19日	東京都	品川区	後地小学校	山内 貴雄	6	1
80	10月19日	東京都	大田区	洗足池小学校	山田 隆裕	5	1
81	10月23日	福岡県	京都郡みやこ町	犀川小学校	永井智弘(福岡 SBH)	3	1
82	10月23日	神奈川県	横浜市	南舞岡小学校	大竹 奈美	6	1
83	10月23日	神奈川県	横浜市	南舞岡小学校	安永 聡太郎	6	2
84	10月26日	東京都	世田谷区	玉堤小学校	佐藤 真海	6	1
85	10月26日	東京都	稲城市	稲城第六小学校	三浦 泰年	6	1
86	10月26日	東京都	稲城市	稲城第六小学校	野田 朱美	6	2
87	10月30日	東京都	渋谷区	本町小学校	ペレザ近賀&大野	6	2
88	10月30日	東京都	渋谷区	本町小学校	ペレザ近賀&大野	6	1
89	10月30日	東京都	渋谷区	上原小学校	ペレザ酒井&伊藤	5	1

90	10月30日	東京都	渋谷区	上原小学校	ベレーザ酒井&伊藤	6	1
91	11月1日	神奈川県	横浜市	東中田小学校	木村 哲昌	6	3
92	11月1日			JFAハウス(ハマカントラベル)	安永 聡太郎		公募 36名
93	11月1日	神奈川県	横浜市	川和東小学校	前田 治	5	4
94	11月8日	茨城県	筑西市	養蚕小学校	安永 聡太郎	6	4
95	11月8日	茨城県	筑西市	養蚕小学校	上川 徹	6	1
96	11月9日	神奈川県	横浜市	富岡小学校	山田 隆裕	5	1
97	11月9日	石川県	白山市	東明小学校	東明 有美	6	1
98	11月9日	石川県	白山市	東明小学校	東明 有美	6	2
99	11月12日	東京都	稲城市	若葉台小学校	式田 高義	6	3
100	11月12日	東京都	稲城市	若葉台小学校	井手口 純	6	2
101	11月13日	東京都	渋谷区	加計塚小学校	ベレーザ澤&中地	5	1
102	11月13日	東京都	渋谷区	加計塚小学校	ベレーザ澤&中地	5	2
103	11月13日	東京都	稲城市	城山小学校	ベレーザ四方奈穂	5	1
104	11月13日	東京都	稲城市	城山小学校	ベレーザ小林弥生	5	2
105	11月13日	岐阜県	岐阜市	網代小学校	東明 有美	6	1
106	11月15日	新潟県	新発田市	本田小学校	内藤 潤	6	1
107	11月16日	東京都	大田区	洗足池小学校	安永 聡太郎	5	2
108	11月19日	神奈川県	横浜市	あざみ野第一小学校	林 一章	5	1
109	11月19日	神奈川県	横浜市	あざみ野第一小学校	大竹 奈美	5	2
110	11月19日	長野県	湊市	岡谷小学校	井手口 純	5	1
111	11月19日	長野県	湊市	岡谷小学校	山田 隆裕	6	1
112	11月20日	神奈川県	横浜市	篠原西小学校	三浦大輔(プロ野球)	5	2
113	11月20日	神奈川県	横浜市	篠原西小学校	城 彰二	5	1
114	11月21日	埼玉県	さいたま市	泰平小学校	田口 禎則	6	2
115	11月21日	埼玉県	秩父市	大滝小学校	齋藤 豪人	5	1
116	11月22日	東京都	世田谷区	多聞小学校	佐藤真海(陸上)	6	1・2
117	11月26日	山梨県	甲府市	新紺屋小学校	羽中田 昌	5	1・2
118	11月28日	埼玉県	吉川市	栄小学校	水内 猛	6	学年全員+保護者
119	11月29日	東京都	世田谷区	駒繫小学校	田中雅美(水泳)	6	2
120	11月29日	東京都	世田谷区	駒繫小学校	高木 琢也	6	1
121	11月29日	東京都	文京区	湯島小学校	野々村 芳和	6	1
122	12月3日	神奈川県	横浜市	港南台第三小学校	井手口 純	6	1
123	12月3日	神奈川県	横浜市	港南台第三小学校	中西 永輔	6	2
124	12月3日	東京都	稲城市	若葉台小学校	森崎 嘉之	6	4
125	12月3日	東京都	稲城市	若葉台小学校	山田 隆裕	6	1
126	12月6日	東京都	品川区	京陽小学校	黄川田 賢司	6	1
127	12月6日	東京都	品川区	京陽小学校	ヨーコ・ゼッターランド(バレー)	6	2
128	12月10日	神奈川県	横浜市	東品濃小学校	木村 哲昌	5	1
129	12月11日	東京都	文京区	千駄木小学校	林 一章	6	2
130	12月11日	東京都	文京区	千駄木小学校	堀池 巧	6	1
131	12月14日	東京都	渋谷区	広尾小学校	高木義成(東京ウエルディ1969)	6	1
132	12月14日	東京都	千代田区	昌平小学校	鈴木 徹	6	1
133	12月17日	神奈川県	横浜市	あざみ野第一小学校	渡邊 一平	5	4
134	12月17日	神奈川県	横浜市	あざみ野第一小学校	安永 聡太郎	5	3
135	12月17日	愛知県	刈谷市	富士松南小学校	浮氣 哲郎	6	3
136	12月18日	神奈川県	横浜市	東中田小学校	平間 智和	6	1

137	12月18日	神奈川県	横浜市	東中田小学校	山田 幸代	6	2
138	12月18日	愛知県	刈谷市	富士松南小学校	浮氣 哲郎	6	1
139	12月18日	愛知県	刈谷市	富士松南小学校	小杉 光正	6	2
140	12月21日	東京都	板橋区	高島第三小学校	井手口 純	6	2
141	12月21日	東京都	板橋区	高島第三小学校	安永 聡太郎	6	1
143	1月17日	東京都	葛飾区	本田小学校	水野 淳	6	1
144	1月18日	東京都	大田区	東蒲小学校	式田 高義	6	2
145	1月18日	東京都	大田区	東蒲小学校	平間 智和	6	1
146	1月22日	神奈川県	横浜市	本宿小学校	山田 隆裕	5	3
147	1月22日	神奈川県	横浜市	本宿小学校	安永 聡太郎	5	2
148	1月24日	富山県	射水市	作道小学校	服部 浩紀	6	1
149	1月24日	富山県	射水市	作道小学校	服部 浩紀	6	2
150	1月24日	神奈川県	横浜市	末吉小学校	林 一章	6	3
151	1月25日	北海道	岩見沢市	第一小学校	田中雅美(水泳)	6	1
152	1月25日	北海道	岩見沢市	第一小学校	田中雅美(水泳)	6	2
153	1月28日	東京都	豊島区	朝日小学校	井手口 純	6	1
154	1月29日	神奈川県	横浜市	本宿小学校	林 一章	5	1
155	1月29日	神奈川県	横浜市	末吉小学校	木村 哲昌	6	1
156	1月29日	岐阜県	岐阜市	鷺山小学校	東明 有美	6	1
157	1月29日	岐阜県	岐阜市	鷺山小学校	安永 聡太郎	6	2
158	1月30日	東京都	豊島区	朝日小学校	井手口 純	5	1
159	1月30日	福岡県	福岡市	松島小学校	塚本 秀樹	6	5
160	1月30日	福岡県	福岡市	松島小学校	塚本 秀樹	6	4
161	1月31日	東京都	渋谷区	西原小学校	黄川田 賢司	5	1
162	1月31日	東京都	渋谷区	西原小学校	中村真衣(水泳)	5	2
163	1月31日	福岡県	福岡市	松島小学校	藤崎 義孝	6	3
164	1月31日	福岡県	福岡市	松島小学校	藤崎 義孝	6	2
165	2月1日	埼玉県	さいたま市	谷田小学校	福永 泰	5	3
166	2月1日	埼玉県	さいたま市	谷田小学校	宮澤ミシェル	5	1
167	2月5日	福岡県	福岡市	松島小学校	藤崎 義孝	6	1
168	2月5日	埼玉県	さいたま市	谷田小学校	井手口 純	5	1
169	2月7日	東京都	渋谷区	西原小学校	反町 康治	5	3
170	2月7日	東京都	新宿区	淀橋第四小学校	新村 泰彦	5	1
171	2月8日	東京都	国立	国立筑波大学附属小学校	安永 聡太郎	4	3
172	2月12日	東京都	世田谷区	代沢小学校	池谷 幸雄	6	1
173	2月13日	東京都	豊島区	高松小学校	井手口 純	5	2
174	2月13日	東京都	豊島区	高松小学校	井手口 純	5	1
175	2月13日	埼玉県	さいたま市	西原小学校	加納 秀益	6	2
176	2月13日	埼玉県	さいたま市	西原小学校	齋藤 豪人	6	1
177	2月13日	北海道	室蘭市	中島小学校	城 彰二	6	1
178	2月13日	北海道	室蘭市	中島小学校	城 彰二	5	1
179	2月13日	岡山県	美作市	江見小学校	城地 泰子	6	1
180	2月14日	東京都	武蔵野市	大野田小学校	平間 智和	6	2
181	2月14日	東京都	武蔵野市	大野田小学校	松原 良香	6	1
182	2月15日	鹿児島県	薩摩川内市	東郷小学校	前園 真聖	5	1・2
183	2月15日	鹿児島県	薩摩川内市	東郷小学校	前園 真聖	6	1
184	2月18日	岡山県	美作市	美作第一小学校	本田 美登里	6	1

185	2月18日	岡山県	美作市	美作第一小学校	保手濱 理恵	6	2
186	2月18日	東京都	町田市	つくし野小学校	相根 澄	6	1・2
187	2月18日	愛知県	刈谷市	東刈谷小学校	浮氣 哲郎	6	4
188	2月19日	愛知県	刈谷市	東刈谷小学校	浮氣 哲郎	6	5
189	2月19日	愛知県	刈谷市	東刈谷小学校	酒匂 宏明	6	3
190	2月20日	岡山県	美作市	梶並小学校	ストラウド・ディビット・トクオ	5・6	1
191	2月20日	岡山県	美作市	東粟倉小学校	三輪 和幸	5・6	1
192	2月20日	千葉県	鎌ヶ谷市	東部小学校	井手口 純	6	2
193	2月20日	千葉県	鎌ヶ谷市	東部小学校	水沼 貴史	6	3
194	2月20日	千葉県	鎌ヶ谷市	東部小学校	安永 聡太郎	6	1
195	2月21日	東京都	新宿区	淀橋第四小学校	重野 弘三郎	5	2
196	2月21日	東京都	武蔵野市	大野田小学校	山口 素弘	6	3
197	2月21日	愛知県	刈谷市	東刈谷小学校	石川 高大	6	2
198	2月22日	岡山県	美作市	美作北小学校	田中 静佳	5	1
199	2月22日	岡山県	美作市	美作北小学校	安田 邦子	5	2
200	2月22日	滋賀県	守山市	守山小学校	安永 聡太郎	6	1
201	2月22日	滋賀県	守山市	守山小学校	内藤 潤	6	2
202	2月22日	滋賀県	守山市	守山小学校	廣長 優志	6	3
203	2月22日	滋賀県	守山市	守山小学校	式田 高義	6	4
204	2月22日	愛知県	刈谷市	東刈谷小学校	和多田 充寿	6	1
205	2月22日	熊本県	苓北町	坂瀬川小学校	服部 浩紀	5・6	1
206	2月25日	東京都	品川区	台場小学校	永島 昭浩	6	1
207	2月25日	東京都	品川区	台場小学校	中村真衣(水泳)	6	2
208	2月25日	静岡県	静岡市	清水小学校	久保山 由清	6	1
209	2月25日	静岡県	静岡市	清水小学校	安永 聡太郎	6	2
210	2月26日	東京都	品川区	三木小学校	中村真衣(水泳)	6	海
211	2月26日	東京都	品川区	三木小学校	安永 聡太郎	6	空
212	2月26日	山梨県	甲府市	北新小学校	木村 哲昌	6	1
213	2月26日	山梨県	甲府市	北新小学校	木村 哲昌	6	2
214	2月27日	静岡県	富士宮市	上野小学校	澤登 正朗	6	1
215	2月27日	静岡県	富士宮市	上野小学校	澤登 正朗	6	2
216	2月27日	岡山県	美作市	勝田東小学校	本田 美登里	5・6	1
217	2月28日	岡山県	美作市	土居小学校	宮間 あや	6	1
218	2月28日	岡山県	美作市	土居小学校	福元 美穂	5	1
219	2月28日	岡山県	美作市	粟井小学校	種田 佳織	4・5・6	1
220	2月28日	東京都	新宿区	戸山小学校	水野 淳	6	1
221	2月29日	東京都	御蔵島村	御蔵島小学校	前田 治	5・6	5
222	2月29日	愛知県	名古屋市	港楽小学校	藤田俊哉(グランパス)	6	3
223	2月29日	愛知県	名古屋市	港楽小学校	安永 聡太郎	6	2
224	2月29日	愛知県	名古屋市	港楽小学校	中西 哲生	6	1
225	3月3日	神奈川県	横浜市	東品濃小学校	佐伯美香(ビーチバレー)	5	3
226	3月4日	愛知県	江西市	江西小学校	岩本 輝雄	6	1
227	3月5日	神奈川県	横浜市	富岡小学校	井手口 純	5	2
228	3月5日	東京都	大田区	私立 清明学園	林 一章	6	B
229	3月5日	東京都	大田区	私立 清明学園	式田 高義	6	A
230	3月6日	静岡県	浜松市	金指小学校	山田 隆裕	5	1
231	3月6日	静岡県	浜松市	金指小学校	山田 隆裕	6	1

232	3月6日	滋賀県	守山市	吉身小学校	狩野倫久(佐川急便)	6	1
233	3月6日	滋賀県	守山市	吉身小学校	岡村政幸(佐川急便)	6	2
234	3月6日	滋賀県	守山市	吉見小学校	富山卓也(佐川急便)	6	3
235	3月6日	滋賀県	守山市	吉見小学校	植田元輝(佐川急便)	6	4
236	3月7日	埼玉県	さいたま市	西原小学校	井手口 純	6	3
237	3月7日	埼玉県	さいたま市	尾間木小学校	金子 豊	5	3
238	3月7日	埼玉県	さいたま市	尾間木小学校	高倉 麻子	5	4
239	3月7日	埼玉県	さいたま市	尾間木小学校	田口 禎則	5	2
240	3月10日	神奈川県	横浜市	末吉小学校	平間 智和	6	2
241	3月10日	神奈川県	横浜市	東品濃小学校	重田征紀(横浜FC)	5	2
242	3月11日	東京都	豊島区	千早小学校	井手口 純	6	2
243	3月11日	埼玉県	さいたま市	尾間木小学校	福永 泰	5	1
244	3月12日	東京都	文京区	湯島小学校	野々村 芳和	6	1
245	3月12日	神奈川県	横浜市	富岡小学校	平間 智和	5	3
246	3月14日	東京都	豊島区	千早小学校	井手口 純	6	1
247	3月17日	東京都	板橋区	国立筑波大学付属小学校 (桐ヶ丘特別支援校)	安永 聡太郎		

VI 検定球リスト

(社名)	(商標名)	(製造方法)	(材質)	(枚数)	(号球)
1. (株) モルテン	① モルテン	縫い	人工皮革	32	5
	② モルテン	貼り	人工皮革	32	5
	③ モルテン	縫い	人工皮革	32	4
	④ モルテン	貼り	人工皮革	32	4
	⑤ モルテン	縫い	人工皮革	32	フットサル
	⑥ アディダス	縫い	人工皮革	32	5
	⑦ アディダス	貼り	人工皮革	32	5
	⑧ アディダス	貼り	人工皮革	14	5
	⑨ アディダス	縫い	人工皮革	32	4
	⑩ アディダス	貼り	人工皮革	32	4
	⑪ アディダス	縫い	人工皮革	32	フットサル
	⑫ アディダス	貼り	人工皮革	32	フットサル
2. (株) ナイキジャパン	① ナイキ (NIKE)	縫い	人工皮革	32	5
	② ナイキ (NIKE)	縫い	人工皮革	32	4
	③ ナイキ (NIKE)	縫い	人工皮革	32	フットサル
3. (株) ミカサ	① MIKASA	縫い	人工皮革	32	5
	② MIKASA	縫い	人工皮革	32	4
	③ MIKASA	貼り	人工皮革	32	4
	④ MIKASA	縫い	人工皮革	32	フットサル
4. プーマジャパン (株)	① プーマ	縫い	人工皮革	32	5
	② プーマ	縫い	人工皮革	32	4
	③ プーマ	縫い	人工皮革	32	フットサル
	④ プーマ	縫い	人工皮革	24	5
	⑤ プーマ	縫い	人工皮革	24	4
	⑥ プーマ	縫い	人工皮革	28	5
	⑦ プーマ	縫い	人工皮革	28	4
5. (株) ROYAL	① s h a d o w	縫い	人工皮革	18	5
	② s h a d o w サッカーボール4号	縫い	人工皮革	18	4
	③ Xenon	縫い	人工皮革	18	5
	④ Meteor	縫い	人工皮革	32	フットサル
	⑤ Cosmos	縫い	人工皮革	32	フットサル

	⑥	Pro100R	縫い	人工皮革	18	5
	⑦	Pro100R サッカーボール4号	縫い	人工皮革	18	4
6.	ミズノ (株)					
	①	ミズノ	縫い	人工皮革	32	5
	②	ミズノ	縫い	人工皮革	32	4
	③	ミズノ	縫い	人工皮革	32	フットサル
7.	(株) デサント					
	①	UJS6501 (UMBRO)	縫い	人工皮革	32	フットサル
	②	UJS6502 (UMBRO)	縫い	人工皮革	32	5
	③	UJS6701 (UMBRO)	縫い	人工皮革	32	5
	④	QA-9511 TRIATOM	縫い	人工皮革	32	フットサル
8.	(株) グローバル					
	①	ウェルス (オールジャパン)	縫い	人工皮革	32	5
	②	ウェルス (オールジャパン)	縫い	人工皮革	32	4
	③	グローバル フットサル	縫い	人工皮革	32	フットサル
9.	(株) ウィンスポーツ					
	①	サッカーボール	縫い	人工皮革	32	5
	②	フットサルボール	縫い	人工皮革	32	フットサル
10.	(株) セブター					
	①	セブター	縫い	人工皮革	32	5
7.	カメイ・プロアクト (株)					
	①	FBL-003	縫い	人工皮革	32	フットサル
11.	ゼット (株)					
	①	uhlsport (ウールシュポルト)	縫い	人工皮革	32	フットサル

Ⅶ 加盟登録チーム・選手数

1 加盟登録チーム・選手数（準加盟含む）

	第1種	第2種	第3種	第4種	シニア	女子	合計
チーム	7,531	4,266	7,078	8,520	578	1,221	29,194
選手	178,566	151,848	235,089	283,719	15,185	25,297	889,704

2 フットサル個人登録選手数

	15才未満			一般			合計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
選手	65,158	4,054	69,212	49,593	8,400	57,993	127,205

VIII キャプテンズ・ミッション

2007年度 業務総括

業務全般

キャプテンズ・ミッションは全都道府県協会にて定着し、サッカーファミリー拡大に向けての施策が実施されている。都道府県内の活動のサポートと、精力的な視察や担当者との意見交換による課題の発見を行い、2008年度の活動目的に繋げた。

- 業務プラン 2010 の作成・発行を、JFA 事務局員全員の協力のもと行った。これにより、3年間の目標が明確になった。
- 全都道府県協会の法人化が完了し、常勤事務局体制が整備される等、組織体制の整備が進んだ。支部・地区／市区郡町村協会にも都道府県協会が積極的にミーティング等を働きかけ、連携が少しずつ良くなっている。
- 都道府県協会組織の充実のための基本還元金の更なる改善に努め、事務局補助についての交付金の増額を決定した。
- 2008～2010年度の各種支援制度を決定し、また2007年度決算および2008年度補助金額決定を確実に実施した。
- ミッション毎に都道府県協会担当者を集めたジョイントミーティングを開催し、他県の状況を知ることに伴う参加者の意欲向上、ノウハウの持ち帰り等に寄与し、参加者同士の横の繋がりを深めた。特に、全てのミーティングに一人ブレストからグループディスカッションを行うという手法を導入し、活発な意見交換を行うことができた。
- JFAnews を活用し、毎月2～3の活動レポートの展開を行い、情報の共有に努めた。

M 1: 「JFA メンバーシップ制度」の推進

- サッカーファミリーの定義を行い、そのコンセプトに基づき「ファン登録」について関係各所と検討し、2008年度の実施に向けて準備を進めた。また、JFA 公式 HP リニューアルとの連携、チケット販売との連動、情報提供の充実等に関する具体的なプランの素案を作成し、2008年度のトライアル実施に向けて調整を行った。
- 「JFA コミュニティ」を通じて審判・指導者登録メンバーへの情報提供を充実させるとともに、JFA コミュニティ登録推進キャンペーンを実施し、「JFA コミュニティ」登録者が14,000人増えて約30,000人となった。
- JFA 公式 HP リニューアルに向けて各登録カテゴリーへの情報提供体制を検討した。

M 2: 「JFA グリーンプロジェクト」の推進

- 芝生の有識者へのヒアリングや芝生化活動の視察・実験等を通じて、プロジェクトの推進のあり方の検討を行い、天然芝の普及に向けた冊子の作成等の準備に着手した。
- 2008年度の都道府県フットボールセンター整備推進事業について、5件の交付決定を行った。また、助成対象となるクラブハウスの整備にあたり、全国のモデルとなる様なクラブハウスの整備を行うべく、当該助成対象者との調整を開始した。

M 3: 「JFA キッズプログラム」の推進

- 都道府県の市区郡町村全域にて「JFA キッズプログラム」を展開していくことと、将来的に自主採算運営による活動へ段階的に移行していくという考え方を、ジョイントミーティング等を通じて都道府県協会担当者に広く浸透させた。
- 2007年度に引き続き、全ての都道府県協会が2008年度支援制度対象FAとして活動することとなった。
- 2008年度支援制度募集用の企画提案書フォーマットをデータ化したことにより、都道府県協会の情報を全体で比較・共有するための準備を進めた。

- ▶ Jリーグアカデミー・4種関連の各種会議やキッズ関連刊行物・各種アンケート結果の展開を通じて、「JFA キッズプログラム」の現状および方向性を広く共有し、キッズ年代から4種年代への繋がりを促進した。

M 4：中学生年代の活性化

- ▶ 「トライアルFA制度」対象FAの積極的な活動や高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権都道府県予選のリーグ戦推進等、様々な取り組みが継続され、登録チーム数が約150、登録選手数が約11,000人増加する等、この年代の活性化が図られた。
- ▶ トライアルFAの活動視察や各種会議を通じて関係者とコミュニケーションを図り、ミッション名の変更等、次のステップに向け2008年度以降の新たな方針を策定することができた。
- ▶ 2006年度末をもってトライアルFAの対象期間を終了した取り組みが、都道府県協会の自主事業として継続し行われる等、この年代の活動充実が更に進んだ。

M 5：エリート養成システムの確立

- ▶ キッズ年代のエリート選定基準を含めた「キッズエリート」のコンセプトを初めて提示し、また自主採算運営を中心とした事業マネジメントのコンセプトを具体的に提示することで、キッズエリートの活動が都道府県内の複数の拠点にて定期的に実施される様働きかけた。
- ▶ 全国的にキッズ年代のエリート活動が着実に広まっており、2008年度支援制度対象FA数は27から36に増えた。
- ▶ 2008年度支援制度募集用の企画提案書フォーマットをデータ化したことにより、都道府県協会の情報を全体で比較・共有するための準備を進めた。
- ▶ 「47FAユースダイレクター研修会」・Jリーグアカデミー・4種関連の各種会議・ジョイントミーティング等を通じて、キッズ年代とU-12年代のエリートが連携していくための方向性を示し、都道府県内にて一貫した指導体制が構築される様働きかけた。

M 6：女子サッカーの活性化

- ▶ 2008年度支援制度の主要テーマに「キッズ・4種・3種・女子の連携」を新たに加え、6協会から企画提案を受け、採用した。
- ▶ 女子の活動が活発化されており、2008年度支援制度対象数41協会73企画を採用し、予定数60企画を上回った。また、全国規模の大会（埼玉県FA「高校女子サッカーめぬまカップ」や高知県FA「トリムカップレディーズフットサル」等）の継続支援を図り、女子の競技会の充実・活性化に繋がった。
- ▶ 高校女子サッカー全国高等学校体育連盟加盟に向けた業務を行い、組織体制の整備・構築を図った。その結果、2007年度は、全国高等学校体育連盟加盟条件を満たすことができなかったが、2008年度申請に繋げることができた。

M 7：フットサルの普及推進

- ▶ 「トライアルFA」で支援した、大分県FAの「ファミリーフットサルリーグ」で使われている「朝ごはんが作戦会議になる日」を、「ファミリーフットサル」のコンセプトの確立に活かし、JFAファミリーフットサルフェスティバルの主旨に反映した。
- ▶ 体育館がフットサル競技に開放される様、体育施設・自治体向け機関誌「月刊体育施設」への連載に努め、フットサルの魅力やFリーグをPRした。また、文科省主催「生涯スポーツコンベンション2008」の分科会で、フットサル競技を通じてスポーツ振興を図るための諸施策について競技団体の立場から提唱する機会を得ることができた。
- ▶ チャレンジFAで行われている「東京都FAフットサル運営スタッフ登録制度」を見学研修会に設定し、試合会場設営方法や運営スタッフを確保する仕組みを研修し、全国から集まった担当者の活動意欲を高めた。

M 8 : リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

- CHQ 都道府県協会ミーティングをはじめとする各種会議において、都道府県協会の関係者と協議し、リーグ戦の共通理解を深め、2・3 種年代のリーグ戦実施に向けて都道府県の多くの取り組みが促進された。
- 2・3 種年代の年間・能力別リーグ戦実施に向けて検討し、支援制度の決定・展開を行った。
- M9. の支援制度（チャレンジ FA）の対象 FA として取り組みを推進した「埼玉県 4 種リーグ」について情報共有が図られ、都道府県における 4 種年代のリーグ戦実施に向け関係者の話し合いがスタートした。
- 都道府県協会にアンケートを展開し、2005 年に発行した「JFA 試合運営ガイドブック」の使用頻度や改定につき調査を行い、更なる「競技会の整備・充実」に努めた。

M 9 : 地域／都道府県協会の活性化

- 5 回目の CHQ 都道府県協会ミーティングを実施し、2・3 種年代の能力別・年間リーグの推進、フットボールセンターの整備・活用等のテーマを中心に、JFA と都道府県協会でも意義あるディスカッションを行うことができた。
- 都道府県チャートおよび都道府県協会収支状況の 2007 年度版を発行した。
- 都道府県協会の組織（支部・地区協会／市区郡町村協会）機構改革と未登録チームの登録推進（CHQ タスクフォース）に関して、2 年目の活動報告や各種会議を通じて、より一層の取り組みの必要性を認識し、2008 年度以降の支援制度の継続を決定した。
- 都道府県協会における地区／支部協会・市区郡町村協会との連結決算について、JFA の方針を策定、全国専務理事会議等で都道府県協会の関係者と議論する等、将来的に必要であることを確認した。
- 「チャレンジ FA」として取り組みを推進した「宮城県民サッカーの日」を参考に「JFA フットボールデー」の制定について検討し、展開を行った。

M10 : 中長期展望に立った方針策定と提言

- 「JFA2005 年宣言」の浸透／PR ツールについて、都道府県協会からの意見を反映し、2006 年度ツールから改善したものを制作・展開した。また、ツール活用ガイドラインの整理に着手し、現状の活用状況を考慮しながら、より効果的に各種ツールが利用される様な仕組みを検討した。
- 各種会議等にていくつかの都道府県協会によって策定された独自の目標設定を好事例として展開し、「JFA2005 年宣言」の浸透を図った。

M11 : スポーツマネジメントの強化

- JFA スポーツマネジャーズカレッジ（SMC）本講座（34 日間、10 セッション）を実施し、29 名が修了した。併せて、修了生に向けたリフレッシュ講座を京都で実施した。
- 2008 年度からの本格的な展開に向けて、愛知県と富山県で SMC サテライト講座のトライアル版（6 日間、6 セッション）を開催し、計 32 名が修了した。
- SMC の広報活動の一環として、JFAnews においてセッションのレポート等を行うとともに、SMC 紹介冊子の作成に着手した。

以上

IX 2002FIFA ワールドカップ記念事業

1. 開催地スタジアム利活用事業

平成 19 年度「開催地スタジアム利活用事業」として、次の団体に助成金の交付決定を行い、助成金を交付した。

尚、平成 20 年度以降の当事業の助成金残額についても、平成 19 年度をもって全て開催地自治体に交付した。

- | | | |
|------|------|------|
| ・札幌市 | ・宮城県 | ・茨城県 |
| ・埼玉県 | ・横浜市 | ・新潟県 |
| ・静岡県 | ・神戸市 | ・大分県 |

2. サッカー交流事業（アジアを含む）

平成 19 年度「サッカー交流事業」として、J F A が実施する次の事業を対象に助成を行った。

- ・キッズサッカー普及事業
- ・女子サッカー普及事業
- ・ファミリーフットサル普及事業

3. ミュージアム運営補助事業

平成 19 年度「ミュージアム運営補助事業」として、J F A が実施する「日本サッカーミュージアム」の運営事業を対象に助成を行った。

また、「2002FIFA ワールドカップ記念事業基金特別会計」及び「記念事業推進特別会計」の残額の全てを、平成 20 年度以降のミュージアム運営補助にあてることを目的に「ミュージアム運営補助事業等特別会計繰入金支出」として拠出した。

尚、上記 3 事業の終了、及び J F A 理事会（2007 年 12 月 7 日開催）の承認をもって、記念事業推進委員会は解散し、J F A における「2002 FIFA ワールドカップ記念事業」は終了した。

X 日本サッカーミュージアム関連事業

日本サッカーミュージアム 報告 (2007年4月1日～2008年3月31日)

〈入場者数〉 ピッチ (地下2階) 有料フロア入場者を対象

- 開館 (2003年12月12日) から2008年3月31日 (土) まで1,331営業日、219,821人の総入場者。
- 有料入場者201,196人 (91.5%)、招待者18,625人 (8.5%) にご来館いただいた。
- 一日最高入場者数は2006年2月25日 (土) の3,110人。
- 一日最低入場者数は2007年10月23日 (火) の15人。
- 招待者を含めた平均単価は410.9円 (前売り入場券含む)。

- 2007 (平成19) 年度は312営業日、35,868人 (1日平均114.9人) の総入場者。
- 有料入場者31,937人 (89.0%)、招待者3,931人 (11.0%)。
- 一日最高入場者数は2007年5月4日 (振休) の605人。
- 一日最低入場者数は2007年10月23日 (火) の15人。
- 招待者を含めた平均単価は362.2円 (前売り入場券含む)。

- 5月25日 (日) 入場者19万人達成。竹内慎太郎さん (14歳・福井県福井市)。
- 8月16日 (木) 入場者20万人達成。島田晃司さん (11歳・東京都千代田区)。
- 12月6日 (木) 入場者21万人達成。高橋幸佑さん (12歳・静岡県静岡市)。

〈特別来客〉

- 4月4日 (水) タイ スポーツ観光大臣一行。
- 4月5日 (木) 浦田啓充さいたま市技監兼都市局長、新都市まちづくり室一行。
- 4月9日 (月) ダト・ポール・モニー・サミュエル AFC 事務総長。
- 4月24日 (火) 南アフリカ共和国厚生省一行。
- 7月4日 (水) 南アフリカ共和国在日大使、外務省一行。
- 7月20日 (金) 漫画家、高橋陽一氏 (「キャプテン翼」原作者)。
- 7月25日 (水) 文京区招聘カイザースラウテルン市 (ドイツ) 訪問団一行。
- 7月26日 (木) カイザースラウテルン市長 (ドイツ)。
- 8月13日 (月) 南アフリカ共和国スポーツ議連一行。
- 8月17日 (金) 漫画家、高橋陽一氏 (「キャプテン翼」原作者)。
- 8月29日 (水) 東京都サッカー協会招聘ソウル市サッカー協会選抜チーム。
- 10月12日 (金) ヨハン・オフト元日本代表監督、清雲栄純元日本代表コーチ、佐藤福島県知事一行。
- 12月11日 (火) ラサエル (グアテマラ) FIFA 理事。
- 12月12日 (水) グロンドーナ (アルゼンチン) FIFA 副会長、レオス (パラグアイ) 南米連盟会長、フィゲレド (ウルグアイ) 南米連盟副会長、デルーカ (アルゼンチン) 南米連盟専務理事他。
- 1月21日 (月) ジョージ・ウエア氏 (バリエンテ郡山総監督、元リベリア代表選手)。
- 1月23日 (水) フィリップ・トルシエ元日本代表監督。
- 2月18日 (月) 英国議員団14名。
- 2月28日 (木) 萩原健司経済産業省政務官一行。
- 3月2日 (日) 文京区英語観光ボランティア研修19名。
- 3月24日 (月) オリベイラ鹿島アントラーズ監督。

〈運営〉

- 4月8日 (日) ロウアー (地下1階) 入場ゲート不調。10日 (火) 調整終了。
- 4月15日 (日) ロウアー (地下1階) 自動券売機不調。内部PC調整のため、当面1台にて稼動。
- 4月16日 (月) ヴァーチャルスタジアム映像装置HDDメンテナンス点検。
- 4月27日 (金) ロウアー (地下1階) 自動券売機内部PC調整終了。
- 4月28日 (土) より5月6日 (日) までゴールデンウィーク特別営業期間。Jリーグスタンプラリーを実施。5月5日 (祝) は小中学生無料とした。
- 5月16日 (水) ロウアー (地下1階) POS機不調、メンテナンス。

- 5月21日(月) ヴァーチャルスタジアム暗幕吊りバトン装置破損。
- 5月28日(月) 午前10時26分文京区一帯に停電。休館日のため動作確認を実施、支障なし。
- 5月31日(木) 予約修学旅行対応(44名)のため、10:30開館。
- 6月7日(木) FIFAワールドカップ2002記念硬貨(500円)を釣り銭として使用開始。
- 6月20日(水) 15:20頃、サーバ室にて漏電があったため、券売機事務所機器等に支障。10分後に復帰。
- 6月25日(月) ヴァーチャルスタジアム映像装置定期保守点検。ランプ交換。
- 7月2日(月) ヴァーチャルスタジアム大型スクリーン昇降ブレーキ装置交換。
- 7月9日(月) ヴァーチャルスタジアム映像、音響装置点検調整。
- 7月9日(月) 事務所移動による入場券システムネットワーク確認、調整。
- 7月16日(祝) 入場ゲートチケット詰まり。同日中にメンテナンス。
- 7月17日(火) ヴァーチャルスタジアム音響装置点検調整。
- 7月19日(木) 東京医科歯科大学横の案内看板張り替え。「キャプテン翼 GOLDEN-23」、「週刊ヤングジャンプ」持参者に割引開始。
- 7月19日(木)～20日(金) ヴァーチャルスタジアム映像プロジェクター基盤破損のため上映休止。21日(土)再開。22日(日) 午前中映像不調、午後復旧。
- 7月21日(土) より東京都交通局バス「おでかけパス2007夏」持参者に割引開始。
- 7月23日(月) 地下2階映像系機器メンテナンス調整。
- 7月24日(火) ホームページ (<http://www.11plus.jp/pdf/070716sv.pdf>) に「夏休みの課題お手伝いします」をアップ。
- 7月24日(火) 釣り銭に使用していたFIFAワールドカップ2002記念硬貨2,000枚、在庫終了。
- 7月30日(月) 地下2階ロッカールーム映像機器基盤メンテナンス調整、臨場館プログラム調整。
- 7月31日(火) ヴァーチャルスタジアム プロジェクター修繕調整。
- 8月1日(水) 自動券売機1がフリーズ。8月3日(金) 修理終了復旧。
- 8月8日(水) 入場ゲートが紙詰まり。修理後、復旧。
- 8月24日(金) 北京五輪最終予選対ベトナム戦(8/22) 応援フラッグ1万本を来場者に配付開始。
- 8月17日(金) よりピッチ(地下2階) ヒストリカルアーカイブ映像不調。
- 8月29日(水) キリンチャレンジ対カメルーン戦(8/22) 紙扇子1,500本を来場者に配付開始。
- 9月6日(木) 台風9号の影響により、17:40に閉館。
- 9月14日(金) 北京五輪最終予選対カタール戦(9/12) 応援旗、約4,000本を来場者に配付開始。
- 9月23日(日)、24日(月) 1階情報コーナーPC4台中2台が起動せず。調整中にて対応。
- 9月25日(火) 自動券売機、入場ゲート保守定期点検。
- 9月27日(木) 照明切れ多数。
- 10月2日(火) 収蔵品検索システムのハードディスク入れ替え。
- 10月23日(火) AFCチャレンジカップ(10/17)に配付したエコバック1,600個を入場者に配付開始。
- 10月30日(火) JFA MAX、PC不調。PCの交換が必要。時期については調整中。
- 11月9日(金) 地下1階ショップにて指導者登録説明会に参加していた岐阜県協会の男性(48歳)が昏倒。救急車を要請、搬送したが11日(日)朝、病院で死亡。
- 11月12日(月) ヴァーチャルスタジアム点検。
- 12月17日(月) ヴァーチャルスタジアム プロジェクター、ランプ交換。プリントクラブ プリント交換。
- 12月22日(土) より1月6日(日)まで、年末年始特別営業期間(10:00～19:00)。
- 1月7日(月)～11日(金)、1月15日(火)～21日(月)メンテナンス休館。12日(土)13日(日)、14日(祝)は営業。
- 2月3日(日) 降雪のため、開館時間を1時間短縮。18:00にて閉館。
- 3月17日(月) ヴァーチャルスタジアム映像装置定期保守メンテナンス。
- 3月22日(土) より4月6日(日)まで、春季特別営業期間。
- 3月27日(木) ピッチ(地下2階) FCWC展示中の浦和レッズユニフォームがワイヤーを切断された上、盗難にあう。

〈展示等〉

- 4月27日(金) 特別展示室内、キックターゲットをリニューアル。写真付シール機に「ALL FOR 2010！」

バージョンに変更。

- 7月14日（土）シール付写真機を地下2階より1階レストスペースに移動。
- 7月21日（土）より特別展示「みんな『キャプテン翼』だった」を開催。
- 7月24日（火）地下1階Jリーグゾーンに優勝シャレー（銀皿）レプリカを展示。
- 8月17日（金）高橋陽一氏（「キャプテン翼」原作者）よりU-22代表へ寄贈された応援パネルを1階エントランスに展示。
- 9月3日（月）鈴木章氏より、故鈴木重義（ベルリン五輪監督）氏の遺品数点を寄贈いただく。
- 10月11日（木）1階エントランスにFリーグ所属各チームのユニフォーム展示。
- 10月13日（土）1階エントランスに「天皇杯」を展示。
- 10月17日から10月26日まで1FエントランスのJリーグ展示ケースにヤマザキナビスコカップ展示。
- 10月29日（月）特別企画展「みんな『キャプテン翼』だった」撤収。
- 11月12日（月）波多江氏寄贈品、ベルリン五輪選手団ブレザー（鈴木氏寄贈）等を常設展示。
- 11月23日（祝）「FIFAクラブワールドカップ」を1階エントランスにて公開。
- 12月1日（土）特別展示室にて「FIFAクラブワールドカップジャパン2007」コーナーを開始。
- 12月22日（土）国内の各カテゴリー年度優勝チームをフューチャーした特別企画展「オールチャンピオンズ展」の開催開始。
- 1月21日（日）ヒストリーウォールに2007年の出来事追加。各所メンテナンスを実施。
- 1月26日（土）1階Jリーグ展示ケースにXEROXスーパーカップを展示。
- 2月24日（日）強風のため、1階入口前看板破損。
- 3月1日（土）ゼロックススーパーカップ（国立）にて、先着2万人に3/31まで有効の招待券を配付。
- 3月17日（月）展示品到着順に地下1階Jリーグ各クラブボックス内を2008年シーズンヴァージョンに展示内容変更開始。
- 3月17日（月）よりホームページ（<http://www.11plus.jp/>）、トップページのヒストリカルアーカイブに1936年ベルリンオリンピックからの日本代表ユニフォームを掲載。
- 3月26日（水）ピッチ（地下2階）ボールコーナー展示変更。

〈イベント等〉

- 4月1日（日）ヴァーチャルスタジアムにて「コナミ ウイニングイレブン全国決勝大会」を実施。
- 4月9日（月）ヴァーチャルスタジアムにて「2007 AFC フットサル選手権組み合わせ抽選会・記者会見」を実施。
- 6月9日（土）ヴァーチャルスタジアムにて4組目のミュージアムウエディングを行う。
- 7月23日（月）ヴァーチャルスタジアムにて「2007JOMO オールスターサッカー出場選手発表記者会見」を開催。
- 8月4日（土）より8日（水）までヴァーチャルスタジアムにて「ゆめせん夏休み特別授業」を開催。
- 9月10日（月）ヴァーチャルスタジアムにて「第4回日本サッカー殿堂掲額式典」を開催。
- 11月1日（木）こころのプロジェクト推進室と協働し、修学旅行中の浜松市立北庄内小6年を対象に4階会議室にて「ゆめせん」（安永聡太郎先生）を実施。
- 11月16日（金）～11月23日（祝）に開催される「文の京ミュージズフェスタ」（文京区シビックホール1階）にブースを出展。18日（日）の講演会（シビック小ホール）第1部に岡野館長が松永怜一（ロサンゼルス五輪野球日本代表監督）氏と対談。また、ミュージズネット各館・園のスタンプラリー等を実施。
- 11月16日（金）ヴァーチャルスタジアムにて「FIFAクラブワールドカップ2007大会プレビュー記者会見」を開催。
- 11月28日（水）ぴあトークバトル「どうなるFIFAクラブワールドカップジャパン2007」をヴァーチャルスタジアムにて開催。
- 12月7日（金）ヴァーチャルスタジアムにて「日本代表監督、日本女子代表監督就任記者会見」を開催。
- 12月19日（水）ヴァーチャルスタジアムにて「2008日本代表スケジュール等記者発表会見」を開催。
- 3月10日（月）ヴァーチャルスタジアムにて「Fリーグ2007表彰式」を開催。

- 3月24日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「Jリーグ JOMO カップ開催記者会見」を実施。

〈パブリシティ等〉

- 4月14日(土) スーパー番組収録取材。
- 4月27日(金)「週刊サッカーマガジン」キャプテンマーク撮影。
- 5月21日(月) 浦項 MBC 文化放送(韓国)取材収録。
- 6月6日(水) NHK 総合「その時 歴史は動いた」第291回メキシコ五輪 奇跡の銅メダル～日本サッカー・勝てる組織作り～にて、フェアプレーディプロマの紹介。
- 7月6日(金) 藤田俊哉選手(マスジマスタジアム)取材。
- 7月11日(水) 読売新聞夕刊に特別展「みんな『キャプテン翼』だった」紹介記事。
- 7月20日(金) 発行の夕刊フジに特別展「みんな『キャプテン翼』だった」紹介記事。
- 7月24日(火) 地下1階Jリーグゾーンに優勝シャーレ(銀皿)レプリカを展示。
- 7月28日(土) TBS「スーパーサッカー」取材収録。8月4日(土)放映。
- 8月28日(火) テレビ朝日「報道ステーション」取材収録(メキシコ五輪銅メダル)。
- 8月29日(水) YC 湯島、取材。
- 9月5日(水) 大空出版「歴史ポケットスポーツ新聞」(新書)取材。
- 9月6日(木) コクヨファニチャー、ヴァーチャルスタジアム可動席撮影。
- 9月9日(日)「東方日報」(香港)取材。
- 10月15日(月) テレビ東京「おはスタ」収録取材。11月23日(金)放映予定。
- 11月26日(月) テレビ朝日「雑学王」取材収録。
- 11月28日(水) 愛媛 FC マスコット「オ～レくん・たま媛ちゃん」取材。
- 12月17日(月) テレビ朝日「おはスタ/トムさんのサッカー研究所」収録。
- 12月29日(土) NHK 教育「ドイツ語会話」収録。宮本恒靖選手インタビュー。
- 1月26日(土) キリンチャレンジカップ 2008 日本代表対チリ代表の試合会場、国立競技場内、青山門付近にてミュージアムブース展示を行う。
- 1月22日(火) テレビ東京「おはスタ」トムさんのサッカーラボラトリー収録取材。
- 1月24日(木) Media Islands Japan ドキュメンタリー映画雑感取材収録。
- 1月30日(水) キリンチャレンジカップ 2008 日本代表対ボスニア・ヘルツェゴビナ代表の試合会場、国立競技場内、青山門付近にてミュージアムブース展示を行う。
- 2月6日(水) FIFA ワールドカップアジア 3次予選、日本代表対タイ代表の試合会場、埼玉スタジアムゴール裏ホーム側エントランスにてミュージアムブース展示を行う。
- 2月8日(金)「首都圏博物館ガイド」取材。
- 2月19日(火) テレビ東京「おはスタ」トムさんのサッカーラボラトリー収録撮影。
- 3月18日(火) テレビ東京「おはスタ」トムさんのサッカーラボラトリー収録撮影。
- 3月26日(水) 週刊サッカーマガジン撮影取材。

〈その他〉

- 4月26日(木) JFA 職員ツアーを実施。14名が参加。今後も随時実施の予定。
- 5月9日(水) 第10回アドバイザリーボードを開催。
- 5月25日(金) 第2回 JFA 職員ツアー(15:00～16:30)を実施。13名が参加。
- 6月20日(水) 平成19年度第一回文京ミューズネット全体会議に出席。11月開催予定のミューズフェスタ2007等について。
- 7月3日(火) 文京ミューズフェスタ実行委員会に出席。
- 7月7日(土)～8日(日) ミュージアム部事務スペース8階東から10階西に移動。
- 11月5日(月) ヴァーチャルスタジアムにて2007JFA クリスマスカード撮影。
- 12月3日(月) ヴァーチャルスタジアムにてJFA グリーティングカード追加撮影。
- 2月15日(金) 1階正面階段にてNTC コーチ会議出席者集合写真撮影。
- 2月19日(火) 文京区観光協会のモバイル、眼鏡などを使用した新観光ガイドアイテムの実験に協力。
- 5周年企画第1弾【入場優待企画】JFA 主催、主管試合の入場券、入場券半券持参者に、100円割引とする。また、日本サッカー後援会員(会員証の提示)も同様とする。
期間：2008(平成20)年4月1日(火)～2009(平成21)年3月31日(火)
割引：一般400円(通常500円) 小中学生 200円(通常300円)

他の割引との併用はできない。

対象入場券：2008（平成 20）年 1 月 1 日以降に開催された財団法人日本サッカー協会主催もしくは主管の有料試合・大会の入場券および半券

〈総括〉

- 昨年度に引き続き、関係各部、各所の協力もあり、運営上の大きなトラブルも無く 1 年間運営することができた。
- 入場者に関しては、65,000 人を目標数としたが、約 35,000 人とどまり、開館以来はじめて 40,000 人を割った。大きな大会もなく、特に土日祝日が伸び悩み、昨年度を下回った。一方、春秋の平日には修学旅行などの児童、生徒で賑わいをみせ、462 校 4,099 人の来館があった。少人数グループから 40 人程度の団体での来館が多く、学校単位でのリピート率が高かった。例年、一月の冬休み明けに入場者が極端に減少することから、本年度は成人の日を含む連休を除き、月末までの二週間をメンテナンス休館とした。
- ヴァーチャルスタジアムでは新コンテンツの製作は行わず、既存のプログラムを活用した。また、各種記者会見、イベントを行った。ヴァーチャルスタジアムをはじめとして、映像機器類の消耗が激しく、保守点検・機器入換費用がかさんできている。
- 特別展は、「みんな『みんなキャプテン翼』だった展」、国内各カテゴリー年度優勝チームの「オールチャンピオンズ展」、また昨年同様に「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップ ジャパン 2007 展」を実施した。
- 9 月 10 日に日本サッカー殿堂掲額式典を開催し、殿堂スペースに掲額を行った。
- 11 月に文京区、文京アカデミー主催の「文京ミュージックフェスタ 2007」に参加した。